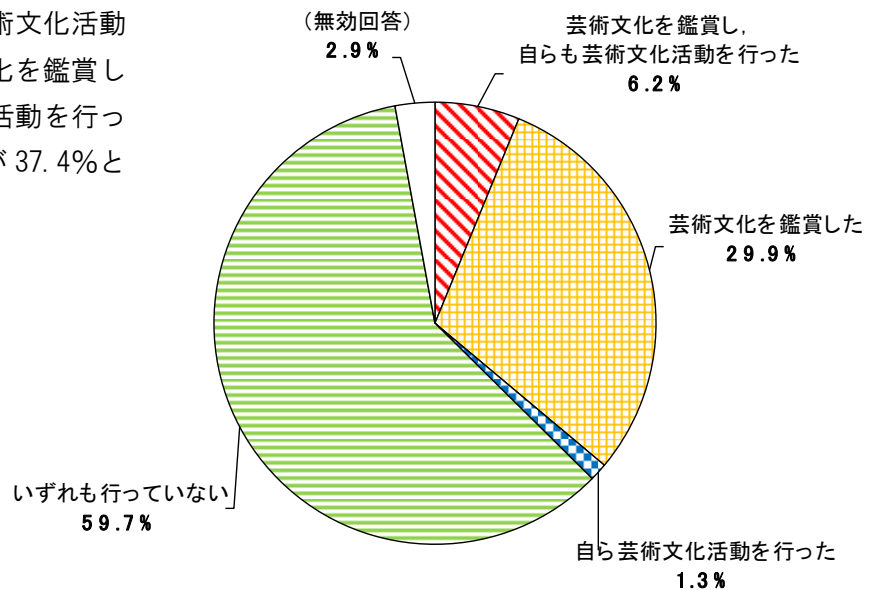


【芸術・歴史文化について】

問 46) あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。

<全体 (n=1105) >

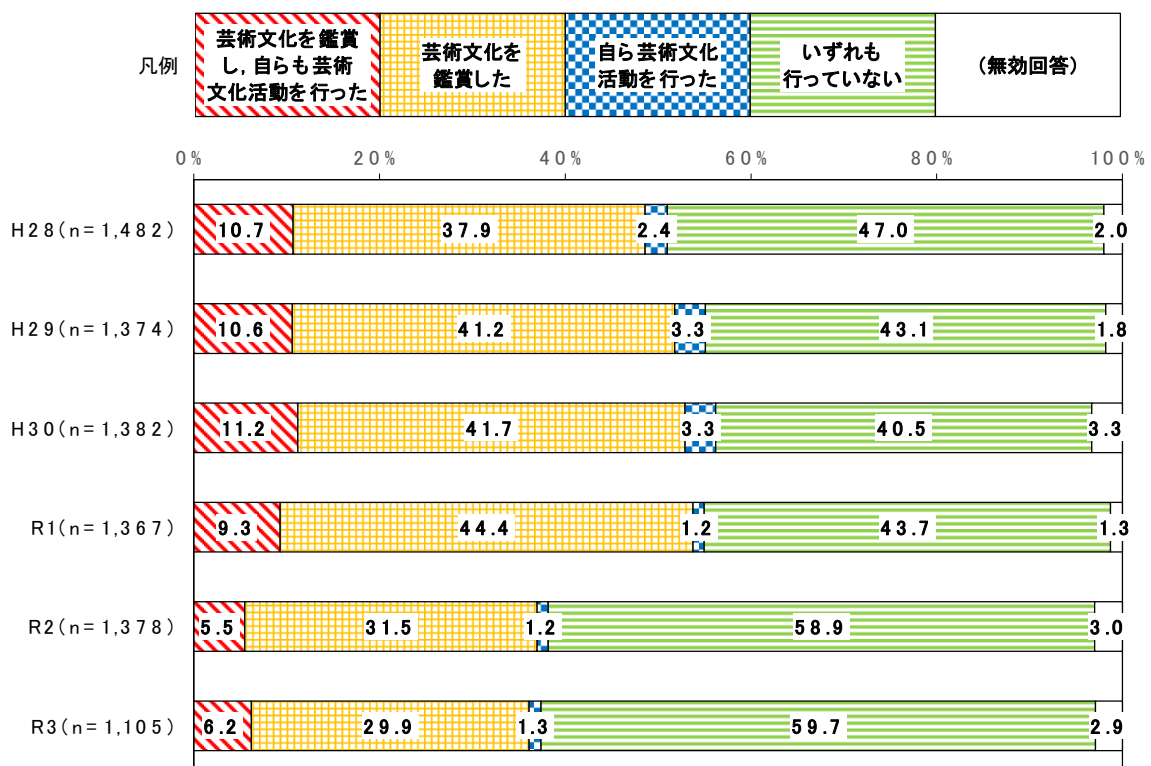
○「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」が 6.2%、「芸術文化を鑑賞した」が 29.9%、「自ら芸術文化活動を行った」が 1.3%で、これらの合計が 37.4%となっています。



<経年比較>

○「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」の合計は、平成 30 年度まで増加傾向にありましたが、令和元年度以降減少に転じ、令和 3 年度 (37.4%) は令和 2 年度 (38.2%) から 0.8 ポイント減少しています。

○一方、「既にも行っていない」は、平成 28 年度以降、減少傾向にありましたが、令和元年度以降増加に転じ、令和 3 年度 (59.7%) は令和 2 年度 (58.9%) から 0.8 ポイント増加しています。

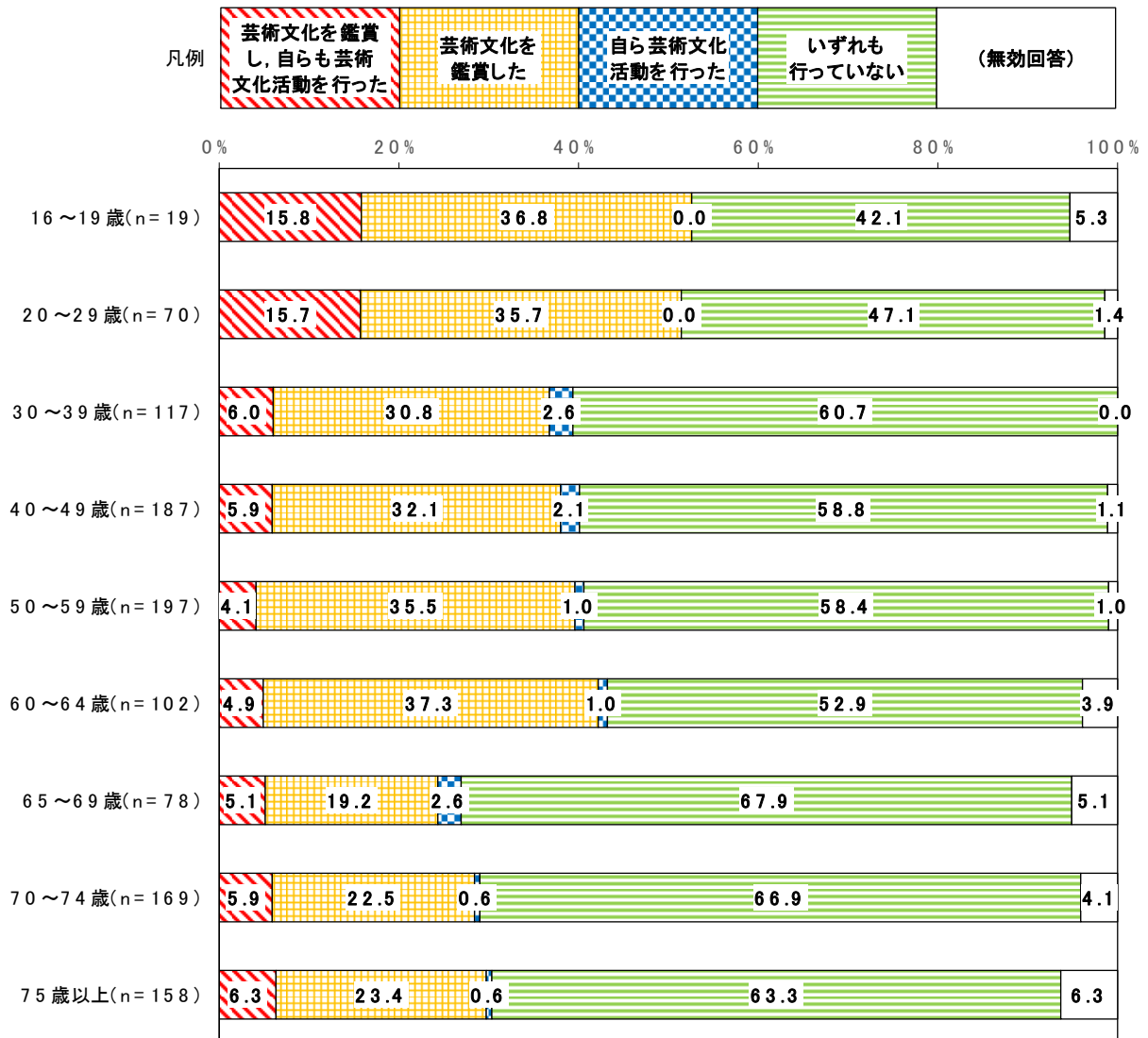


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○16～29歳で、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」の合計が50%を超えています。

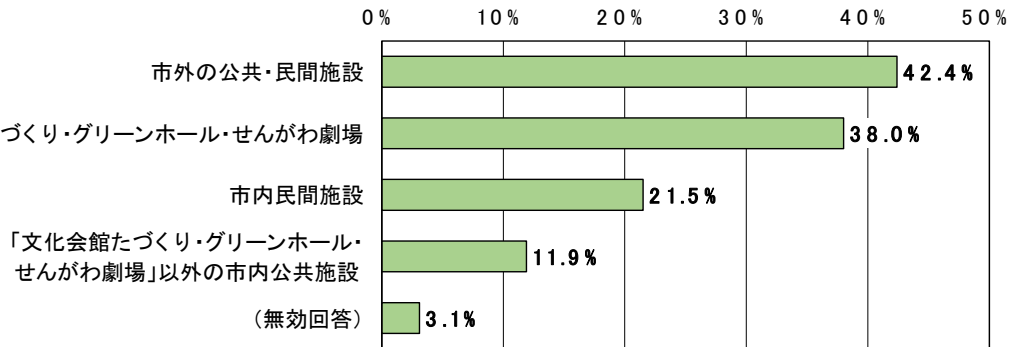
○30～64歳では、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」の合計が40%程度となっています。



問 46-1) 問 46 で「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」と回答した方にうかがいます。芸術文化を鑑賞した、または芸術文化活動を行った場所はどこですか。

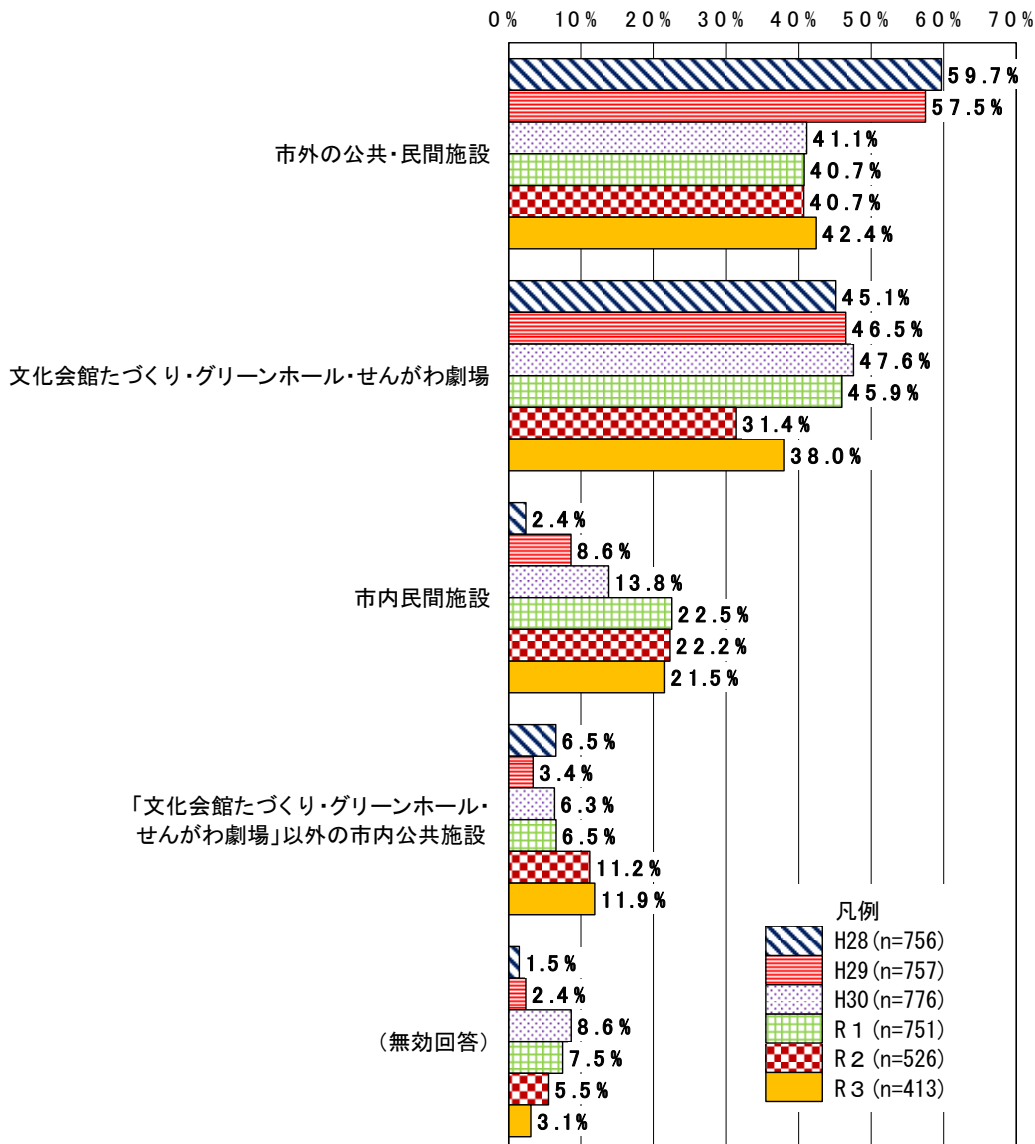
<全体 (n=413) >

○「市外の公共・民間施設」の42.4%が最も高く、次いで「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」の38.0%の順となっています。



<経年比較>

○文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場は、令和2年度(31.4%)には、令和元年度(45.9%)から大きく低下しましたが、令和3年度(38.0%)は6.6ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「市外の公共・民間施設」が高く、65歳以上では「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 413 | 10 | 36 | 46 | 75 | 80 | 44 | 21 | 49 | 48 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 市外の公共・民間施設 | 175 | 2 | 21 | 21 | 31 | 33 | 24 | 10 | 23 | 10 |
| | 42.4% | 20.0% | 58.3% | 45.7% | 41.3% | 41.3% | 54.5% | 47.6% | 46.9% | 20.8% |
| 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場 | 157 | 1 | 8 | 11 | 27 | 22 | 17 | 10 | 27 | 32 |
| | 38.0% | 10.0% | 22.2% | 23.9% | 36.0% | 27.5% | 38.6% | 47.6% | 55.1% | 66.7% |
| 市内民間施設 | 89 | 4 | 7 | 12 | 21 | 21 | 8 | 3 | 5 | 6 |
| | 21.5% | 40.0% | 19.4% | 26.1% | 28.0% | 26.3% | 18.2% | 14.3% | 10.2% | 12.5% |
| 「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」以外の市内公共施設 | 49 | 2 | 4 | 5 | 5 | 11 | 6 | 3 | 6 | 6 |
| | 11.9% | 20.0% | 11.1% | 10.9% | 6.7% | 13.8% | 13.6% | 14.3% | 12.2% | 12.5% |
| (無効回答) | 13 | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 3.1% | 10.0% | 5.6% | 4.3% | 5.3% | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 2.0% | 4.2% |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 主な市外の施設】

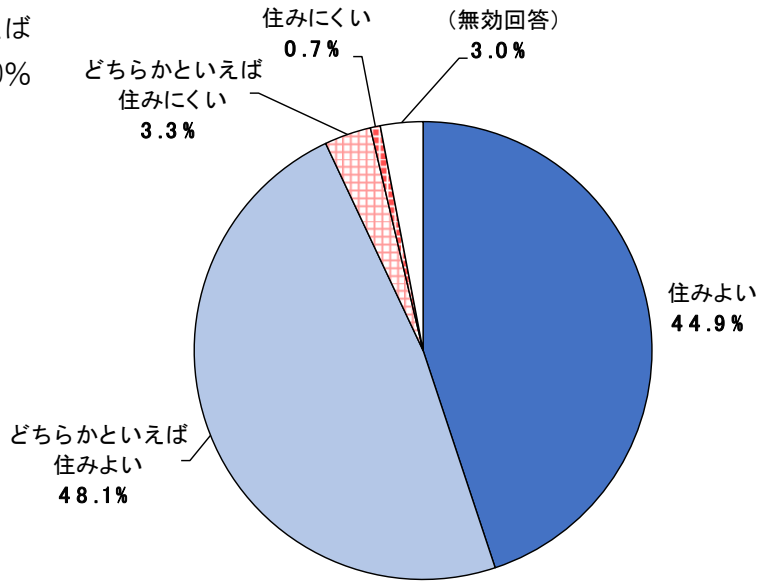
| | |
|-------------------|--------------------|
| ・ Bunkamura (渋谷区) | ・ 府中市美術館 (府中市) |
| ・ サントリーホール (港区) | ・ 東京都美術館 (台東区) |
| ・ 府中の森芸術劇場 (府中市) | ・ 東京国際フォーラム (千代田区) |

【良好な市街地について】

問 47) あなたは、調布市を住みよいまちだと思えますか。

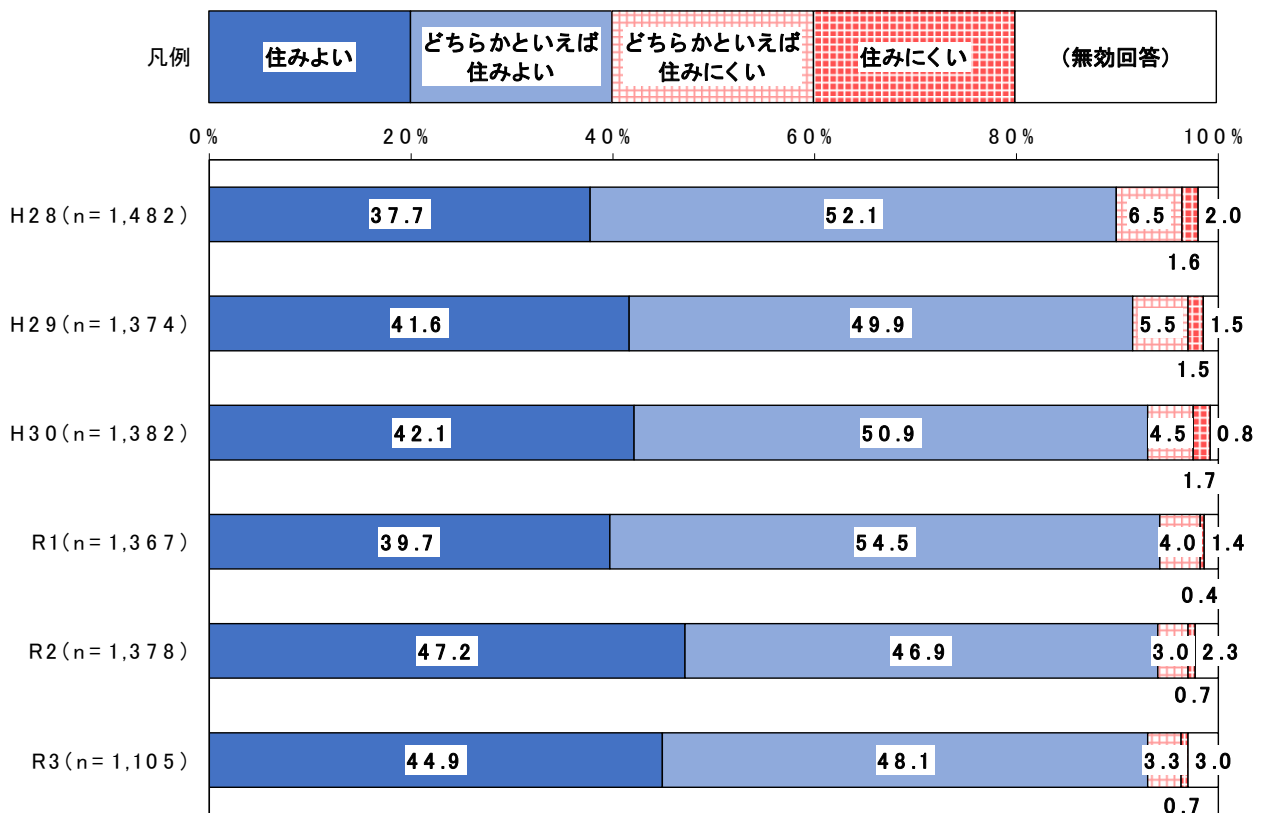
<全体 (n=1105) >

○「住みよい」は 44.9%、「どちらかといえば住みよい」は 48.1%であり、合計で 93.0%を占めています。



<経年比較>

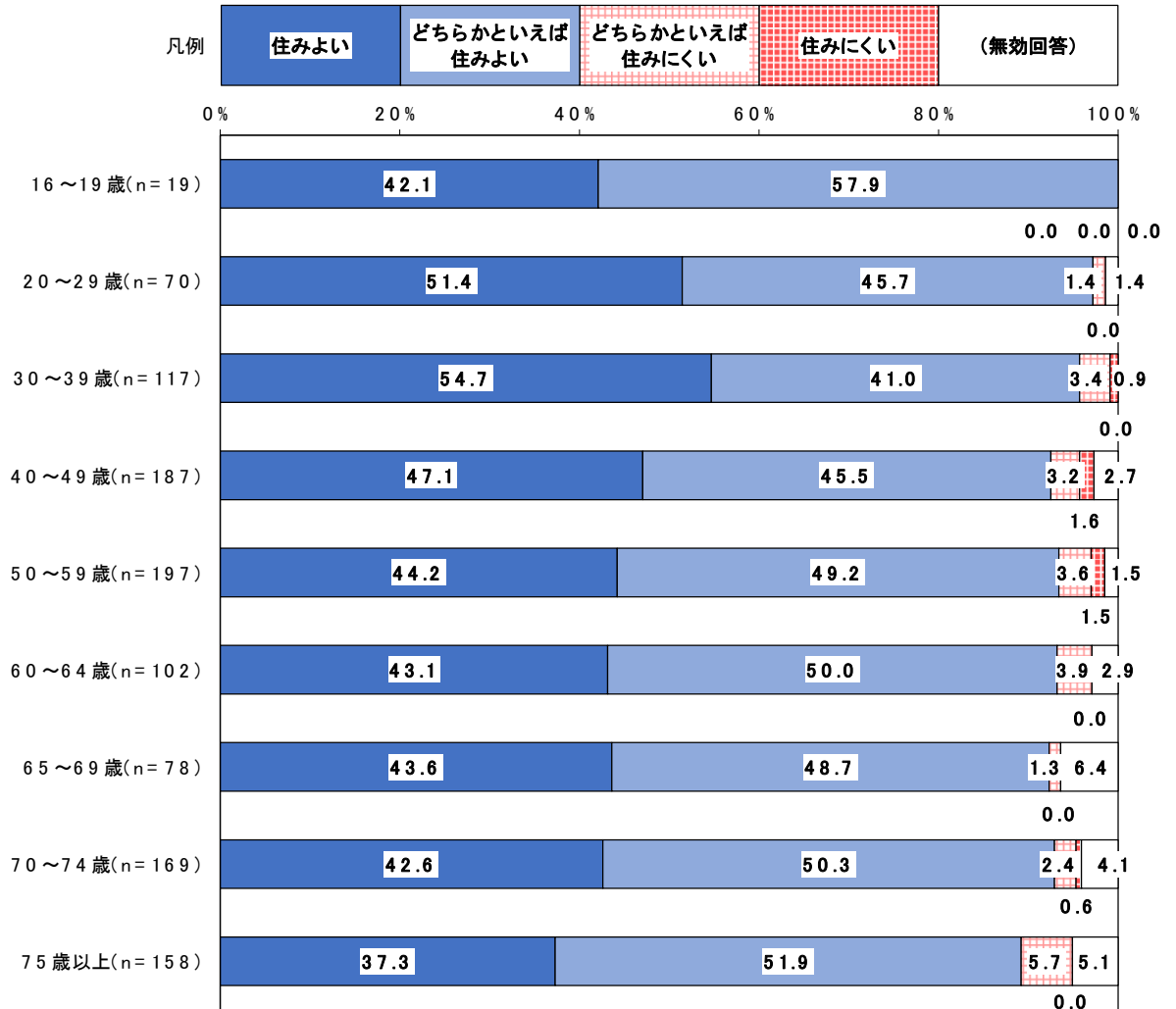
○「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は、平成 28 年度以降、いずれもおおむね 90%台で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

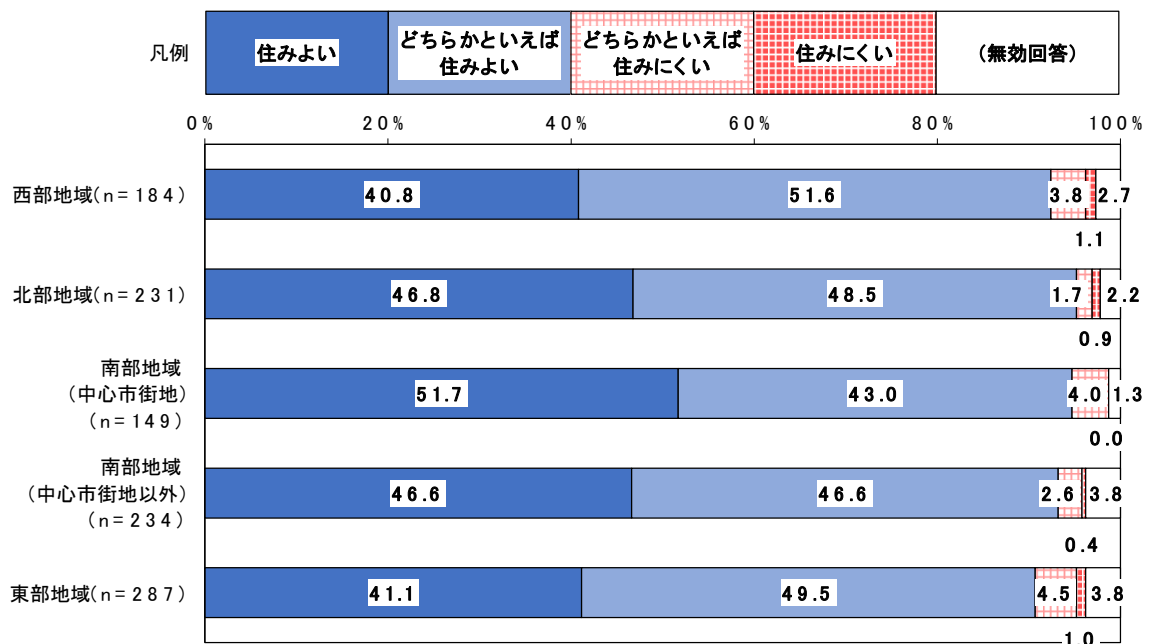
<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計はおおむね90%台となっています。



<地域別>

○いずれの地域も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が90%以上となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

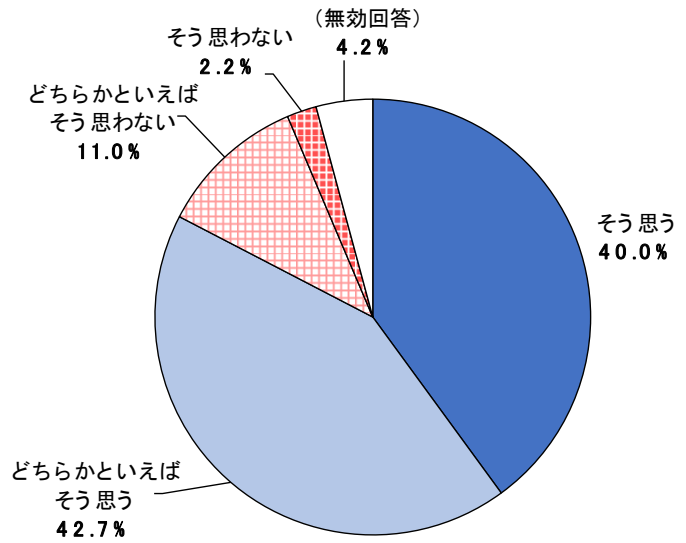
【図表 住みよい/住みにくいと思う理由】(228件)

| 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」 | 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 静かで、自然が美しい、それで都会の良さもある点です。 ・ 買い物に便利、映画館がある、病院が多い、商店が多い、飲食店が多い、緑が多い。 ・ 交通の便が良い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道が狭い。車と歩行者の距離が近いところが多い。 ・ 交通が不便。 |

問 48) あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。

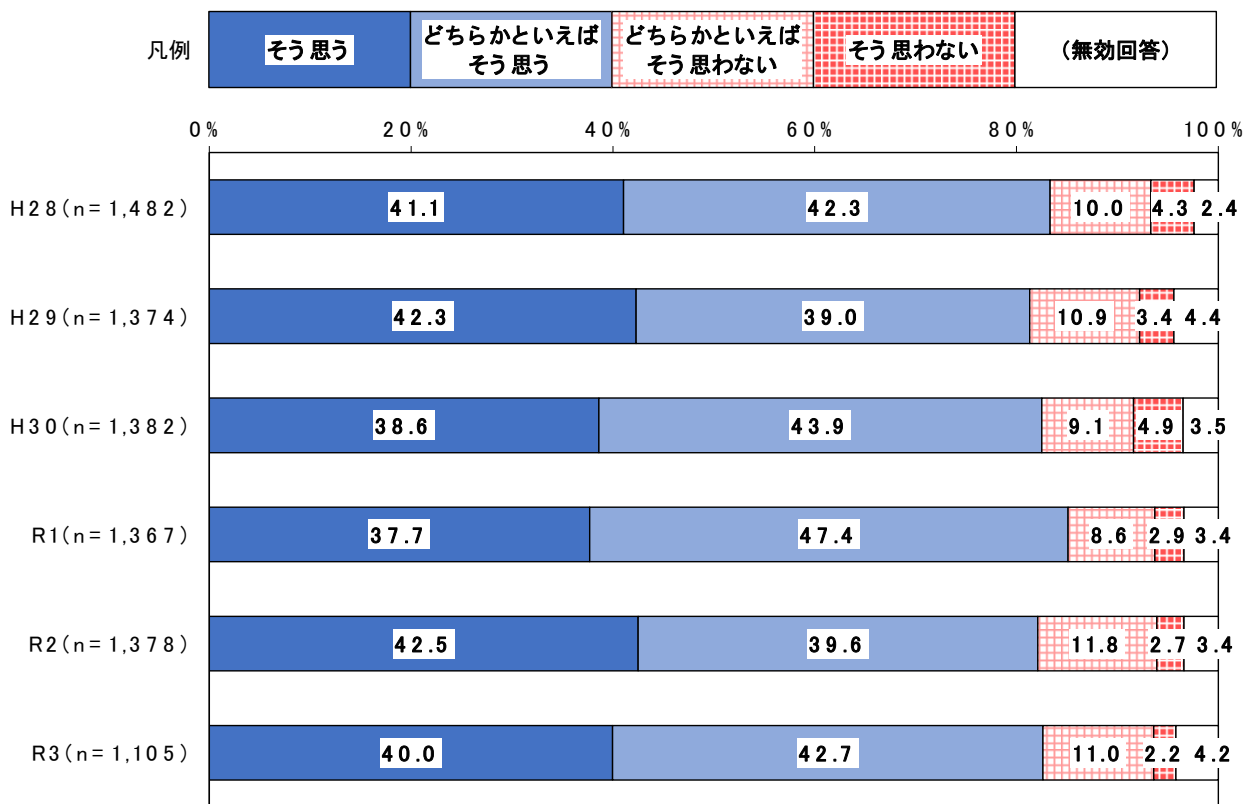
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」は 40.0%、「どちらかといえばそう思う」は 42.7%であり、合計で 82.7%を占めています。



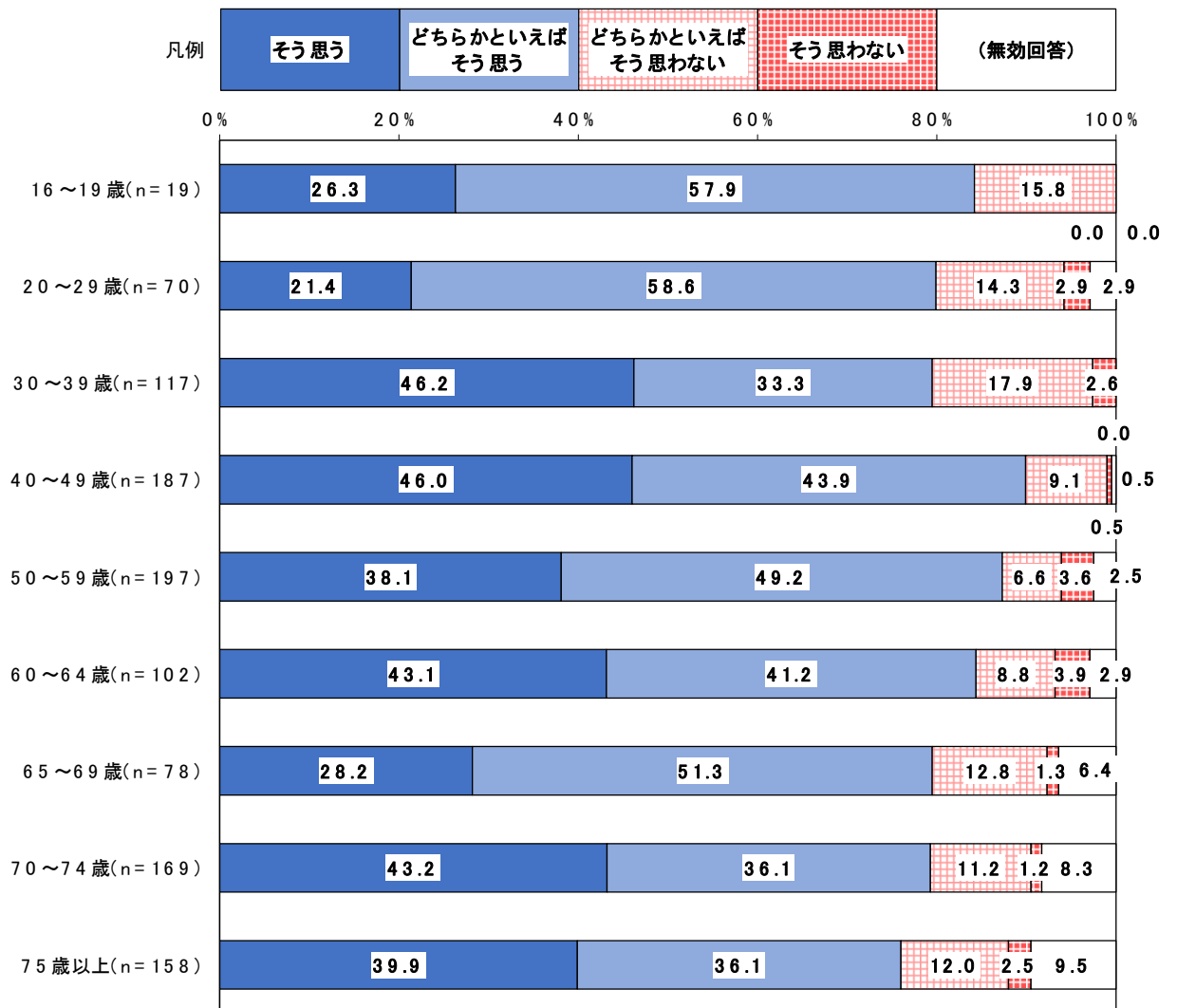
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、おおむね 80%台で推移しており、令和 3 年度 (82.7%) は令和 2 年度 (82.1%) に比べ 0.6 ポイント増加しています。



<年齢層別>

○16～19歳、40～64歳の年齢層で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%以上を占めています。



<自由記述>主な意見を抜粋

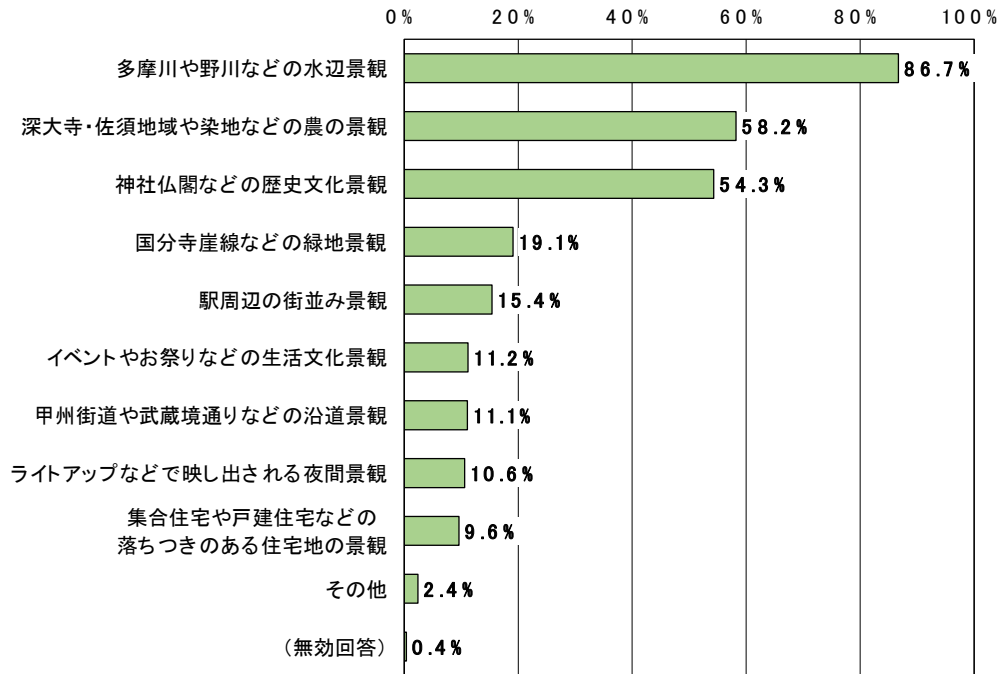
【図表 緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】
(62件)

- ・ 深大寺や周辺の景観は素晴らしいと思うので、PRに活用して欲しい。
- ・ 作られたものより、今ある姿を残すことが調布の良さを残すことだと思う。

問 48-1) 問 48 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方にうかがいます。優れた景観だと思ふ場所はどこですか。

<全体 (n=914) >

○「多摩川や野川などの水辺景観」が 86.7%で最も高く、次いで「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の 58.2%、「神社仏閣などの歴史文化景観」の 54.3%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「多摩川や野川などの水辺景観」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|---------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 914 | 16 | 56 | 93 | 168 | 172 | 86 | 62 | 134 | 120 |
| 多摩川や野川などの水辺景観 | 792 | 10 | 38 | 75 | 142 | 155 | 80 | 56 | 123 | 108 |
| 深大寺・佐須地域や染地などの農の景観 | 532 | 5 | 29 | 49 | 99 | 92 | 55 | 35 | 84 | 78 |
| 神社仏閣などの歴史文化景観 | 496 | 5 | 19 | 43 | 87 | 95 | 50 | 36 | 84 | 75 |
| 国分寺崖線などの緑地景観 | 175 | 1 | 6 | 14 | 29 | 25 | 19 | 12 | 28 | 40 |
| 駅周辺の街並み景観 | 141 | 5 | 13 | 24 | 27 | 22 | 12 | 8 | 16 | 12 |
| イベントやお祭りなどの生活文化景観 | 102 | 1 | 5 | 11 | 19 | 20 | 8 | 9 | 18 | 11 |
| 甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観 | 101 | 0 | 3 | 10 | 16 | 24 | 12 | 2 | 15 | 18 |
| ライトアップなどで映し出される夜間景観 | 97 | 4 | 5 | 7 | 17 | 19 | 12 | 8 | 15 | 10 |
| 集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観 | 88 | 2 | 9 | 11 | 19 | 17 | 4 | 4 | 8 | 12 |
| その他 | 22 | 0 | 2 | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| (無効回答) | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

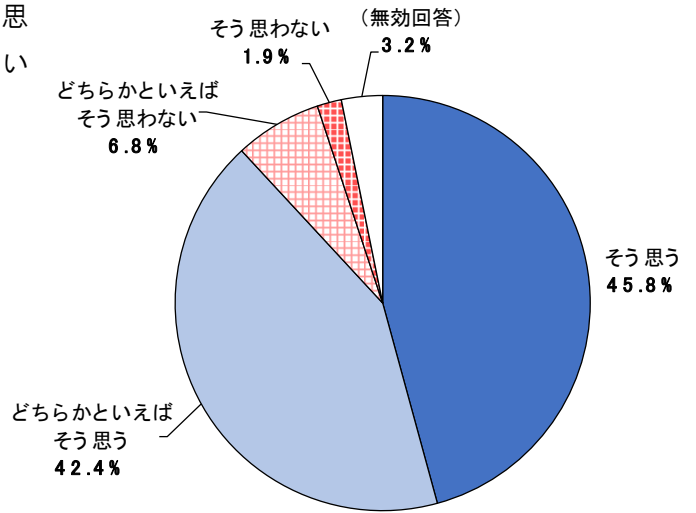
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

問 49) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

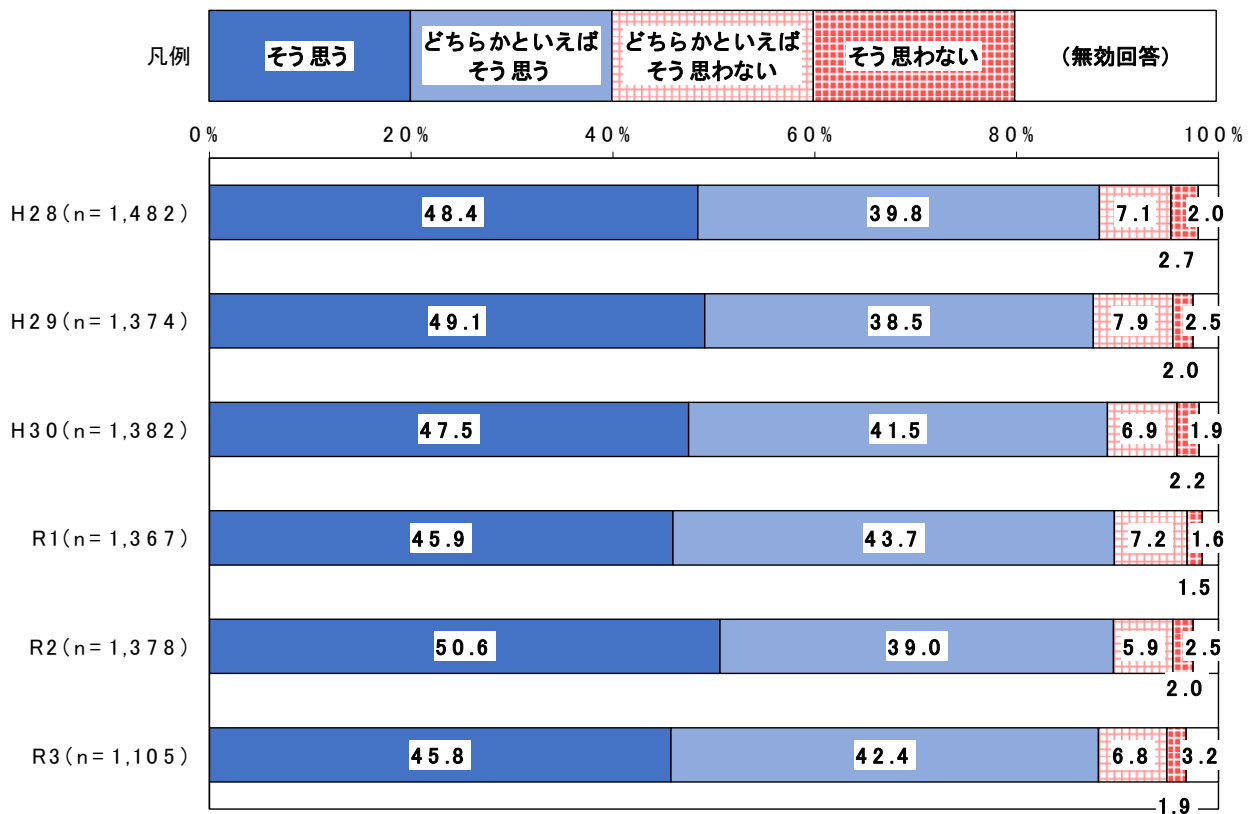
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」は 45.8%, 「どちらかといえばそう思う」は 42.4%であり、合計で 88.2%を占めています。



<経年比較>

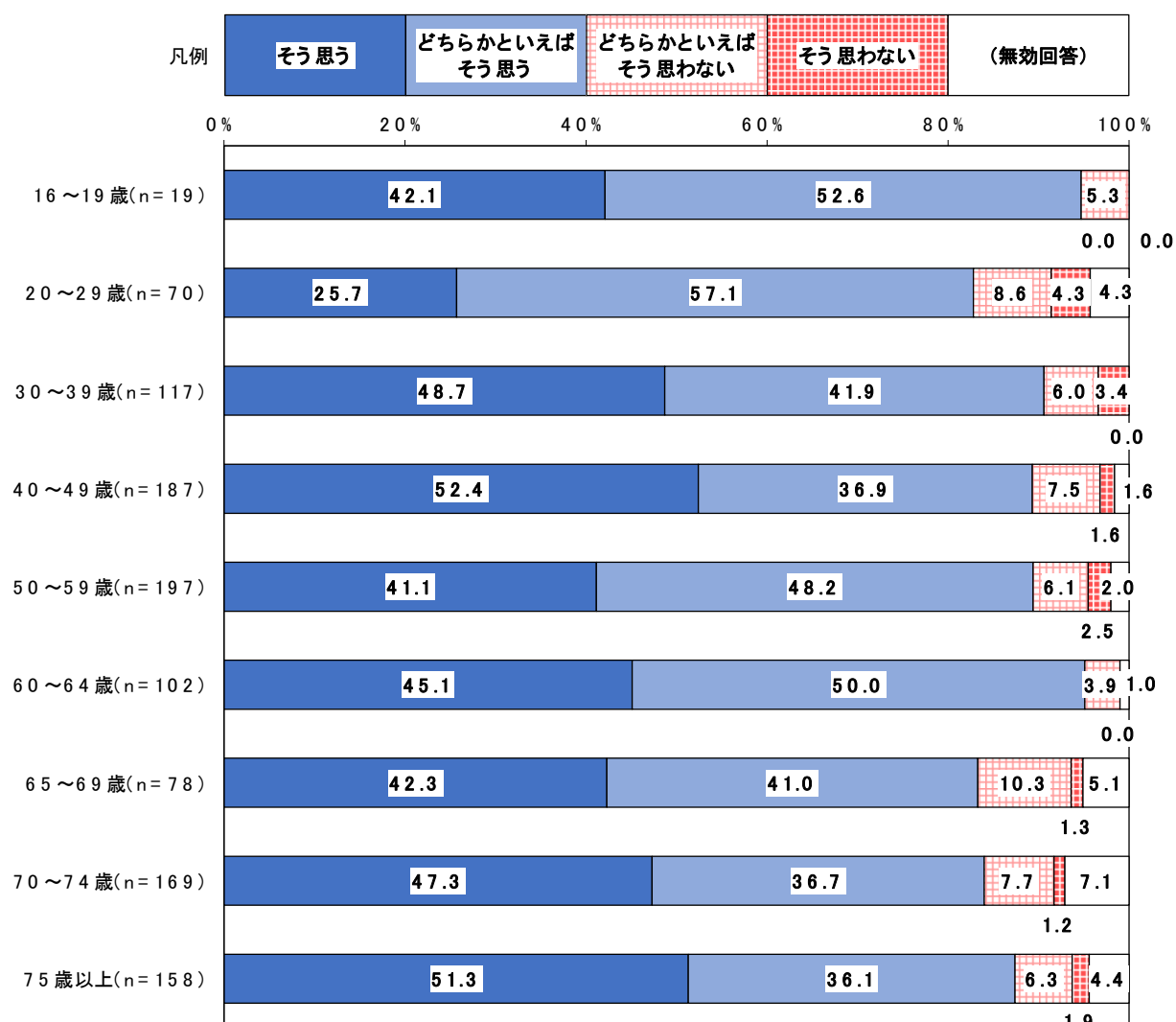
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降、一貫して 80%以上で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

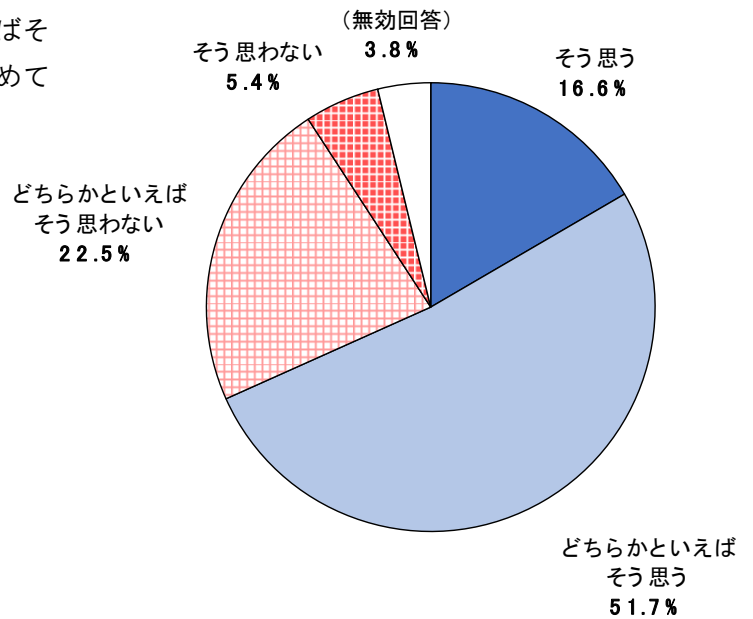
○60～64歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が95.1%と最も高く、次いで16～19歳の94.7%、30～39歳の90.6%となっています。



問 50) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思いますか。

<全体 (n=1105) >

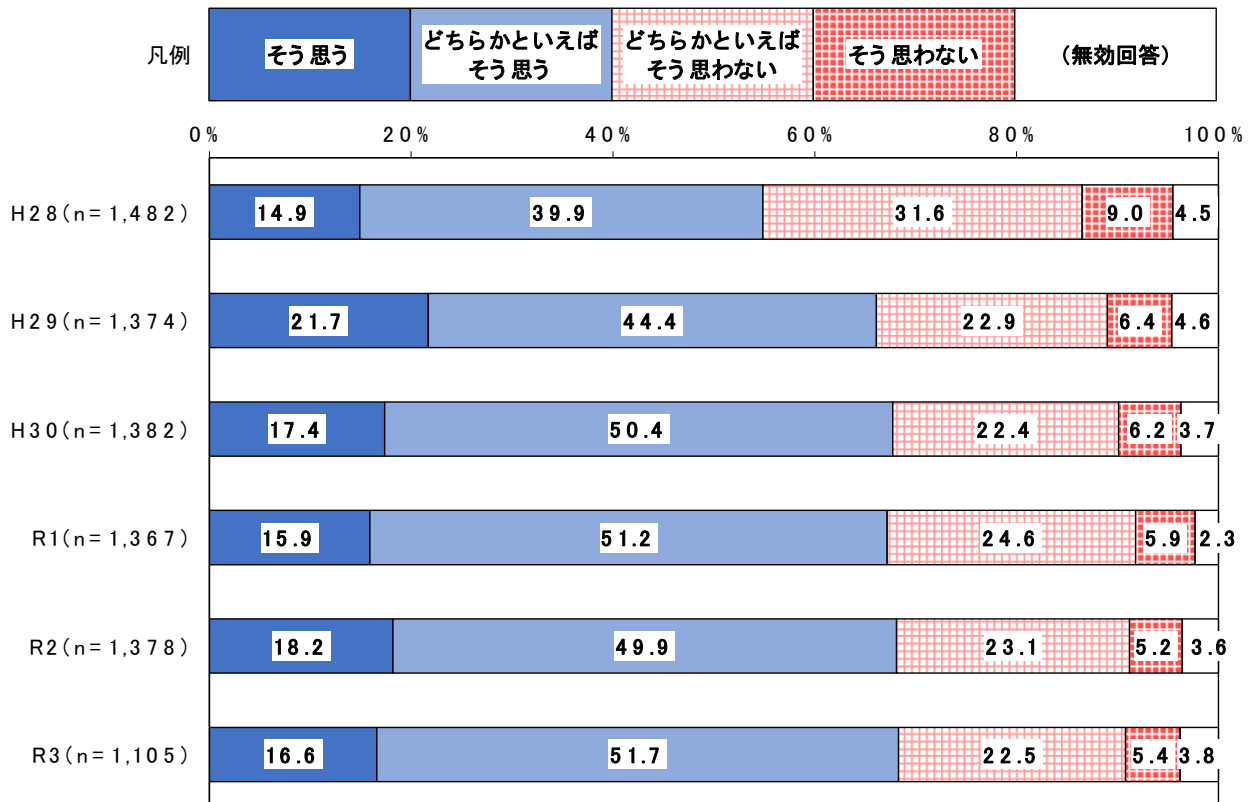
○「そう思う」が 16.6%、「どちらかといえばそう思う」が 51.7%で、合計で 68.3%を占めています。



<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降、おおむね増加傾向で推移しており、平成 29 年度以降はいずれも 60%を超えています。

○一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は、平成 29 年度以降、30%前後で推移しています。

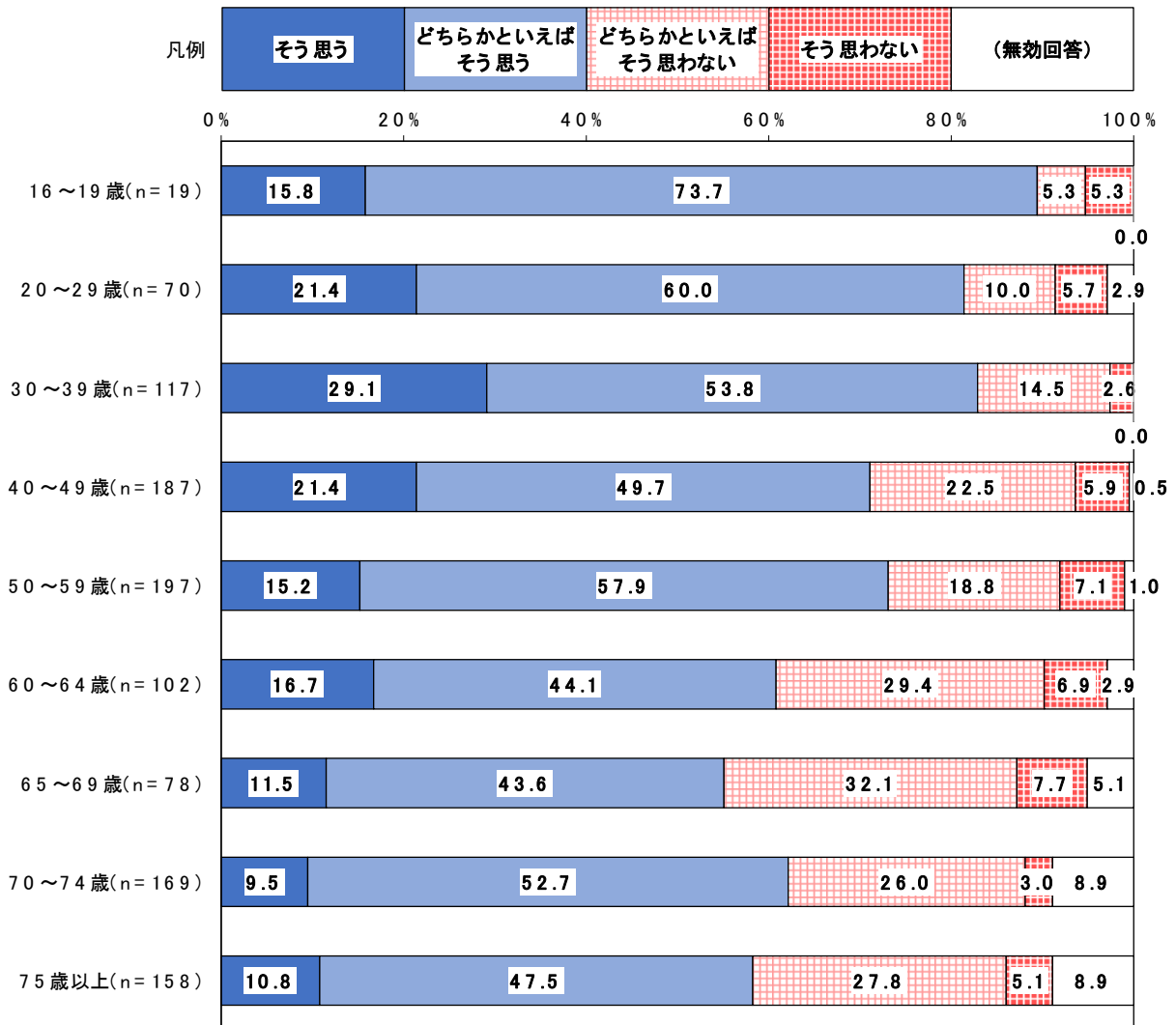


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○39歳以下では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%を超えています。

○65～69歳では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が39.8%と、他の年齢層に比べて高くなっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思う/思わない理由（322件）】

| 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」 | 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の近くに商業施設があり、そこで必要なものはほぼ手に入るから。 ・ 京王線の地下化で良くなった。 ・ 調布駅前などが良く整備されていると思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 布田、国領駅周辺は活気がないように感じることがある。 ・ 道路がせまい所は渋滞していることが多い。 ・ 店があるだけで魅力的には思えず利用したいと思わない。 |

<自由記述>主な意見を抜粋

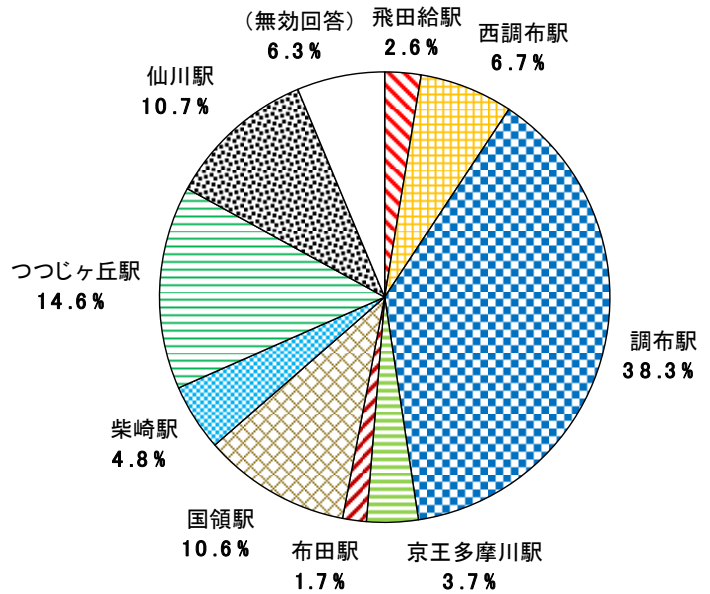
【図表 中心市街地のまちづくりに関する施策についてのご意見・ご提案】（129件）

- ・ 子どもが安心できる環境にしてほしい。
- ・ もう少し緑がある市街地であれば良いと思う。
- ・ 歩道を広くし、安全に皆が歩ける様になると良い（車イス、ベビーカーなど）
- ・ 京王線の跡地を魅力的な空間にしてほしい。

問51) あなたは、普段どの駅を最も利用しますか。

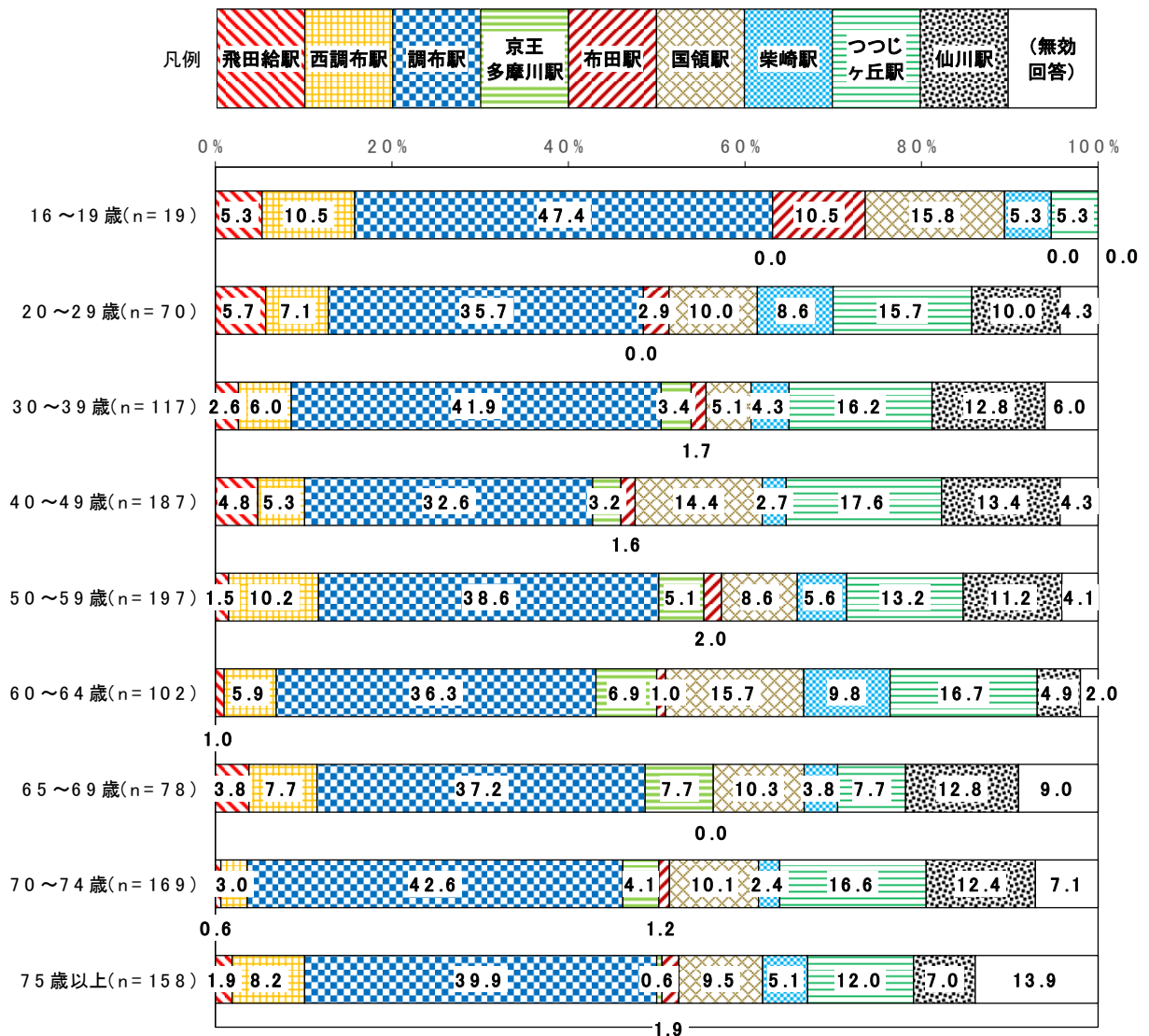
<全体 (n=1105) >

○「調布駅」が38.3%で最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の14.6%、「仙川駅」の10.7%、「国領駅」の10.6%の順となっています。



<年齢層別>

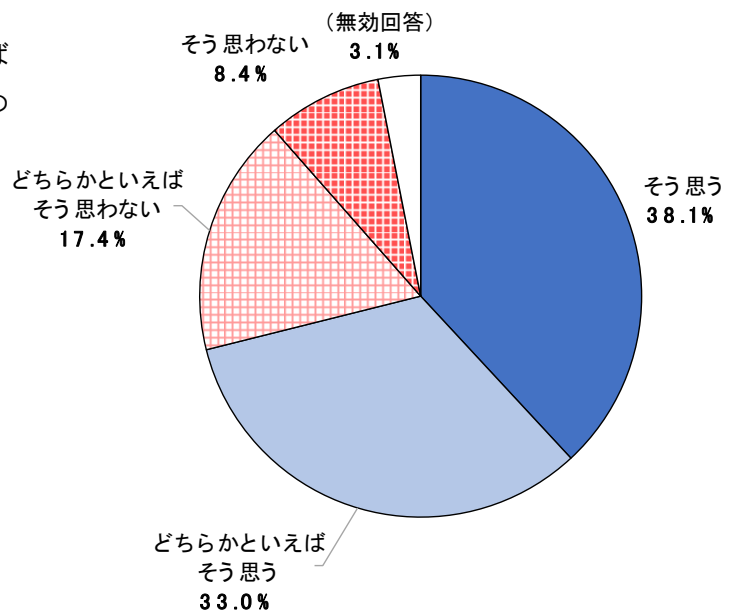
○いずれの年齢層も、調布駅が最も高くなっています。



問 51-1) あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いますか。

<全体 (n=1105) >

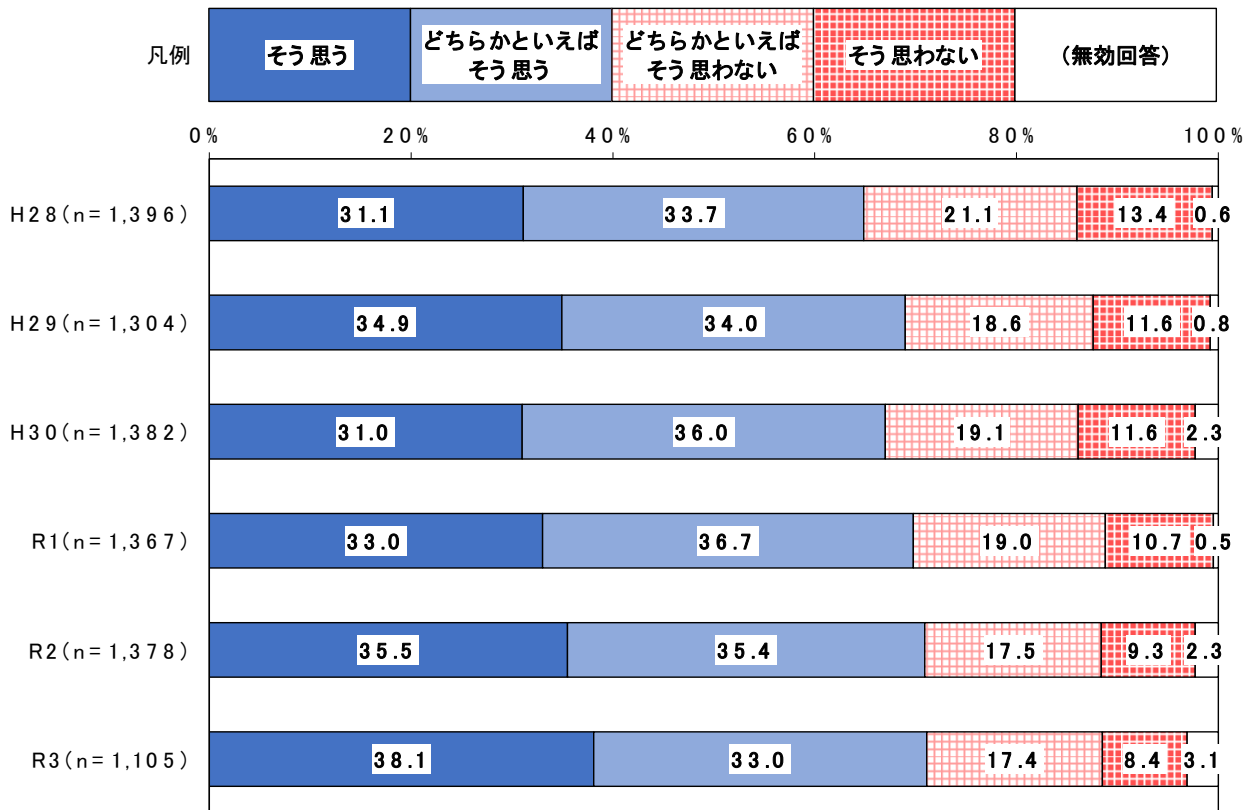
○「そう思う」が 38.1%、「どちらかといえば
そう思う」が 33.0%で、合計 71.1%を占め
ています。



<経年比較>

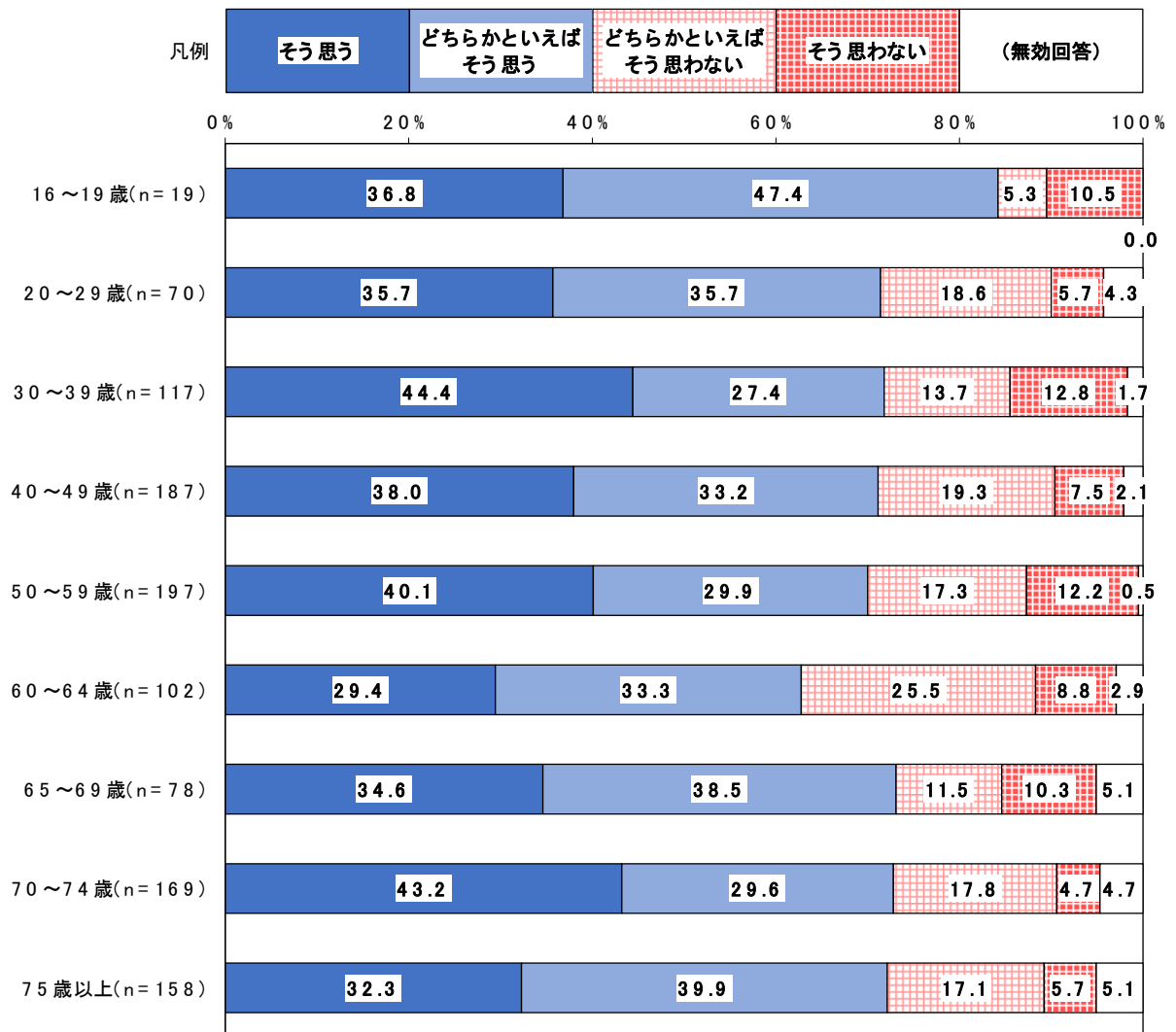
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降、おおむね増加傾向で推移しており令和 3 年度は令和 2 年度に比べ 0.2 ポイント増加しています。

○一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は、平成 28 年度以降、おおむね減少傾向で推移しており令和 3 年度は令和 2 年度に比べ 1.0 ポイント減少しています。



<年齢層別>

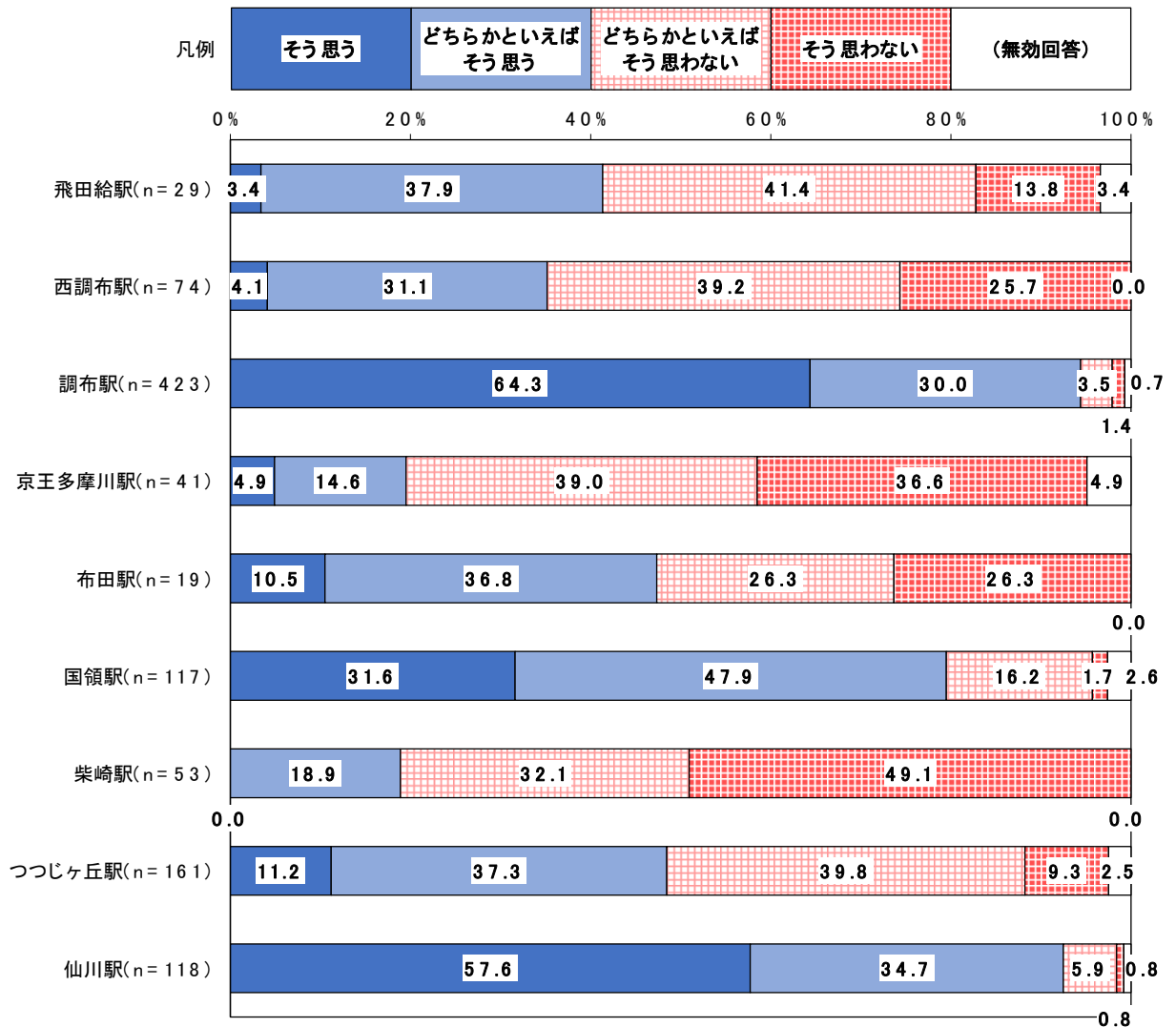
○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が84.2%と最も高く、次いで65～69歳の73.1%、70～74歳の72.8%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<利用駅別>

○「そう思う」について、「調布駅」及び「仙川駅」では半数を超え、「国領駅」では30%台となっている一方、それ以外の駅ではいずれも20%を下回っています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 普段利用する駅周辺のまちづくりについてのご意見・ご提案】(205件)

| | |
|-----------------|--|
| 飛田給駅 (8件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 店が少ない。味スタでイベントがない時はさびしい雰囲気。 ・ 駅の近く（徒歩3分以内）に大型スーパーやドラッグストアがあるとなお便利。 |
| 西調布駅 (19件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 西調布駅南側の道路が狭いので、拡幅が必要。 ・ あたたかい雰囲気の店舗が多いし活気がある。駐輪場が使いやすい。 |
| 調布駅 (47件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 調布駅周辺の整備は性急に行うのではなく 10~20年位かかっても市民のレジェンドになってく様な地区になればと希望したいです。 ・ 調布駅前に一時駐車する所を早く作ってほしい。駅迄送ってもらう時にバスやタクシーと一緒に危険。 ・ 夜になるとにぎわいがありますが、昼間にもっと営業している店が多いと良いのと感じます。 |
| 京王多摩川駅 (16件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 再開発に伴い、駅反対の多摩川5丁目辺りも変わっていくといいなと思う。駅前商店街にしては活気がない。 ・ 調布に出ないと買い物がそろわない。駅にひとつくらいスーパーが欲しい。(コンビニ) |

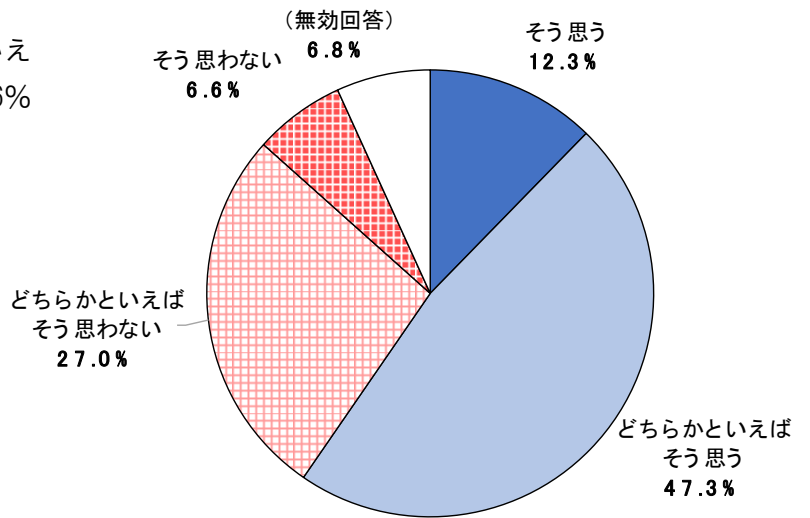
| | |
|-----------------|---|
| | ニはたくさんある。) |
| 布田駅 (4件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 布田駅周辺は本当に店が少なく閑散としているので、新規店舗ができて、生活しやすくなってほしい。特に飲食店が多くできてほしいです。 |
| 国領駅 (25件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺にスーパーやファミレスがあるので利用しやすいと思うが、駅自体が各駅停車しか停まらないため、都心に行くには少し不便かなと思う時がある。 ・ 公園近くは夜通ると暗く感じるので、街路灯の整備をお願いしたい。 |
| 柴崎駅 (23件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 踏切がなかなか開かず不便。駅周辺の交通マナーも悪い。駅前整備をしてほしい。 ・ 道路がせまい。 |
| つつじヶ丘駅 (42件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便は良いが、買い物等は不便である。(スーパーが限られている) ・ 駅付近の踏切が中々開かない時間帯がある。う回道路があるが、見通しが悪く出会い頭の事故が起きかねない。細く坂道なので高齢者、ベビーカー、車イスには不向き。道を整備すべき。 |
| 仙川駅 (21件) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な店舗や美しい街並み、若い世代の雰囲気など、とても良い街だと思います。大きな開発がされないでいることが素晴らしいです。 ・ 便利ではあるが、全体的に道幅が狭く、すれ違うのが厳しいところも多い気がする。 |

【道路・交通について】

問 52) あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。

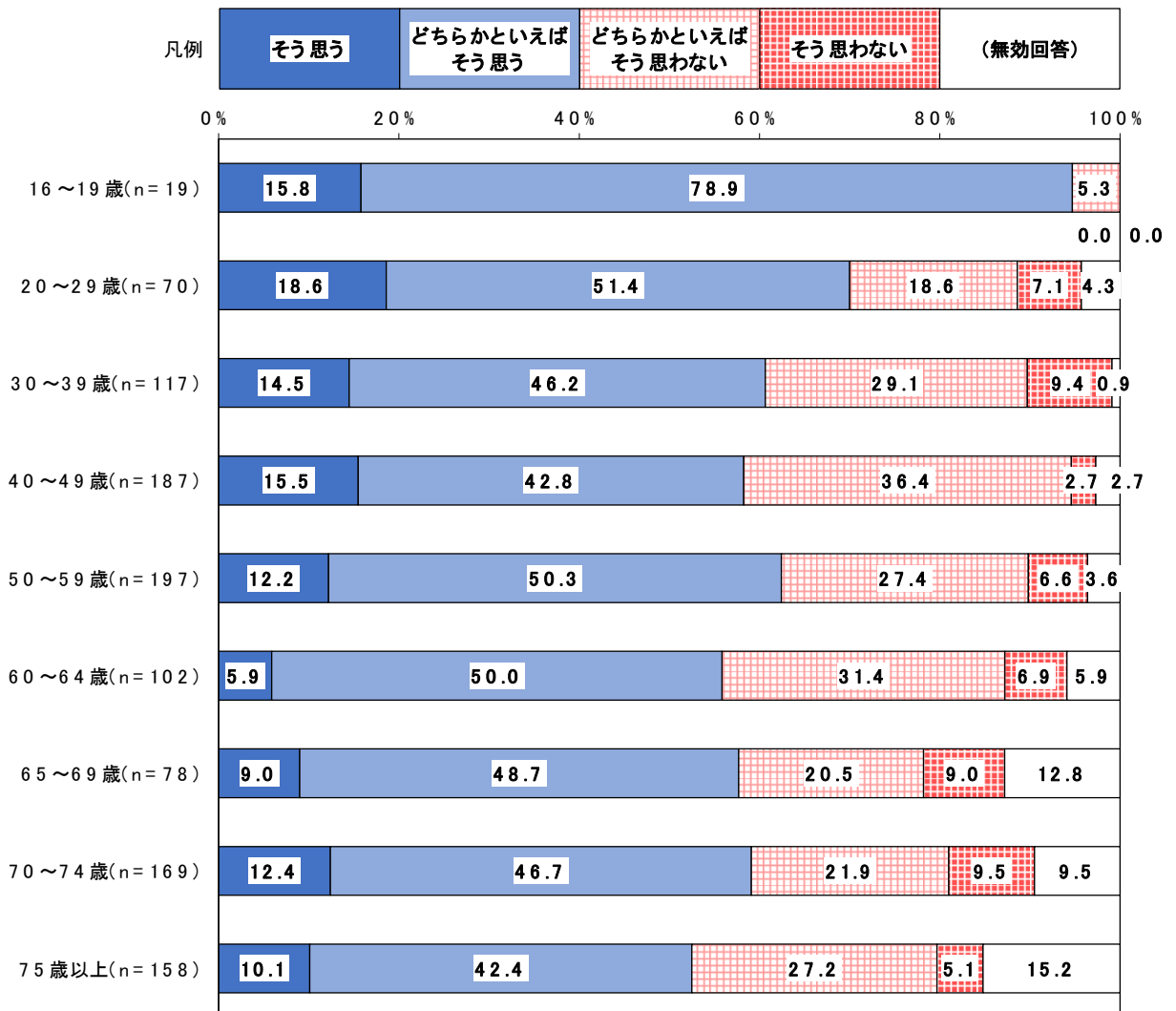
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」が12.3%、「どちらかといえばそう思う」が47.3%で、合計で59.6%を占めています。



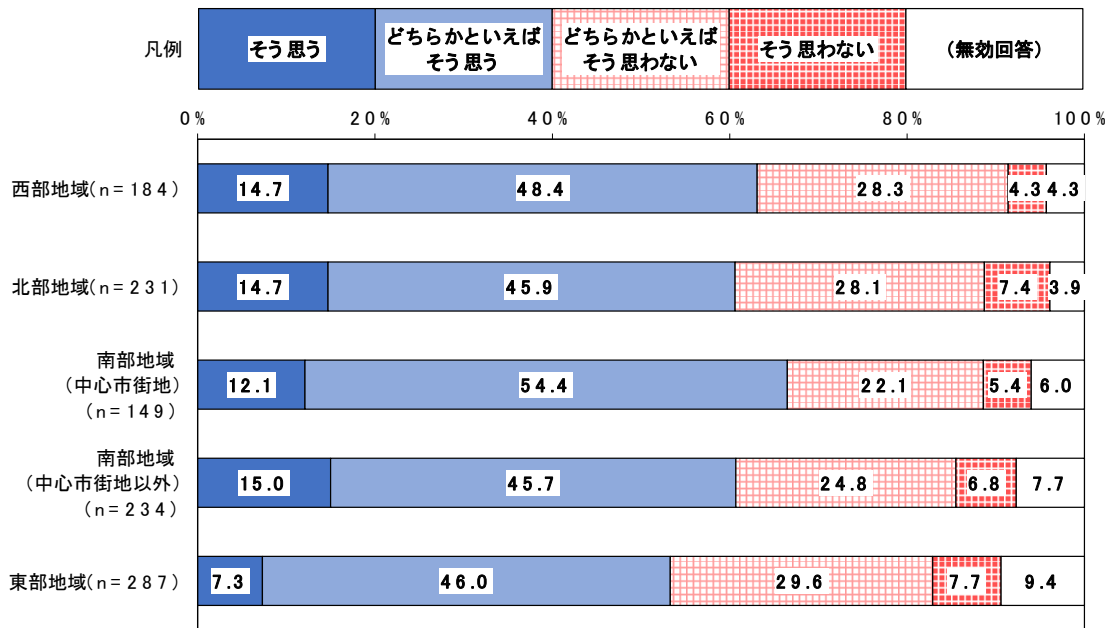
<年齢層別>

○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が94.7%で最も高く、次いで20～29歳の70.0%、50～59歳の62.5%の順となっています。



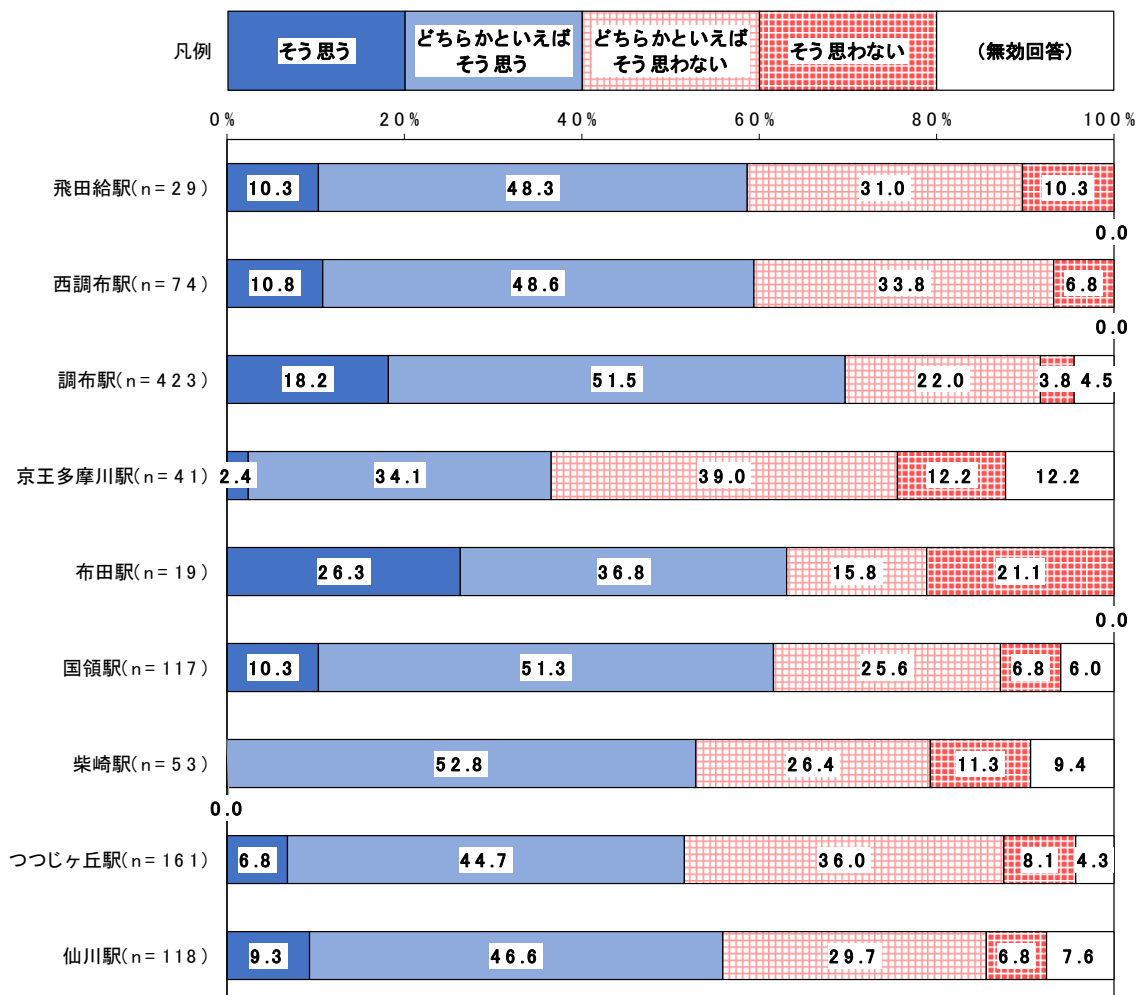
<地域別>

○東部地域では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が他の地域と比べてやや低くなっています。それ以外の地域では、それらの合計が60%を超えています。



<利用駅別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、調布駅が69.7%で最も高く、次いで布田駅の63.1%、国領駅の61.6%の順となっていますが、京王多摩川駅は36.5%で、他の利用駅に比べて低くなっています。

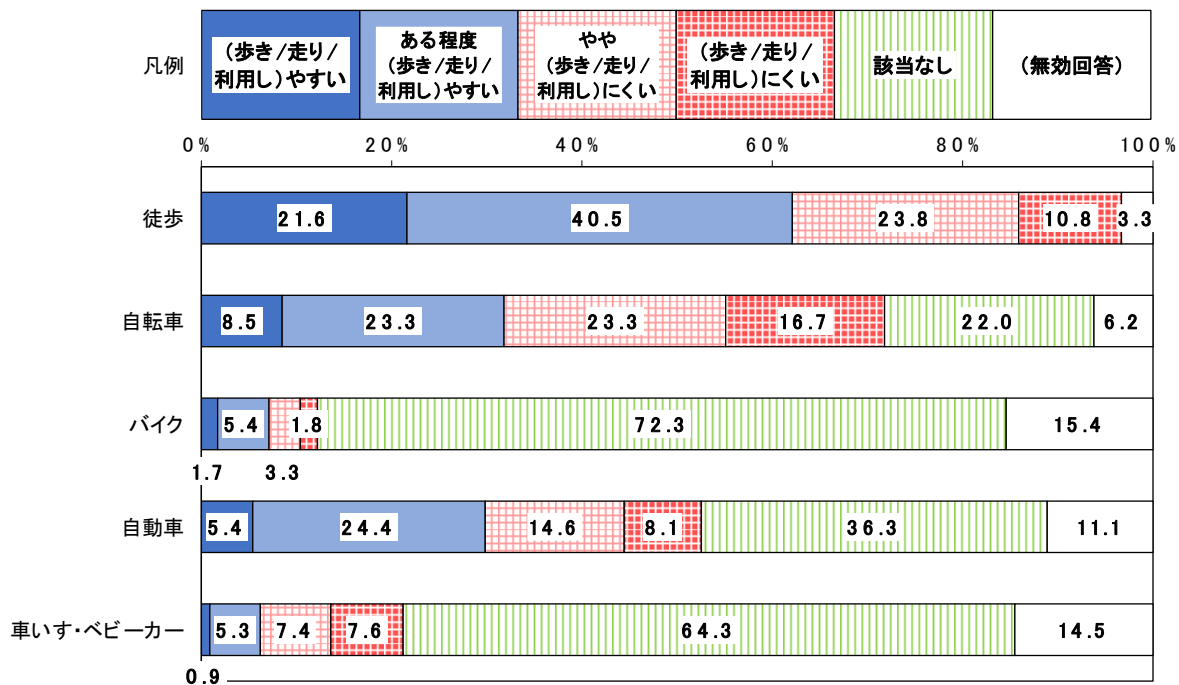


問 53) あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。

<全体 (n=1105) >

○徒歩では、「歩きやすい」が21.6%,「ある程度歩きやすい」が40.5%で、合計で62.1%を占めています。

○自転車では、「やや走りにくい」が23.3%,「走りにくい」が16.7%で、合計で40.0%を占めています。

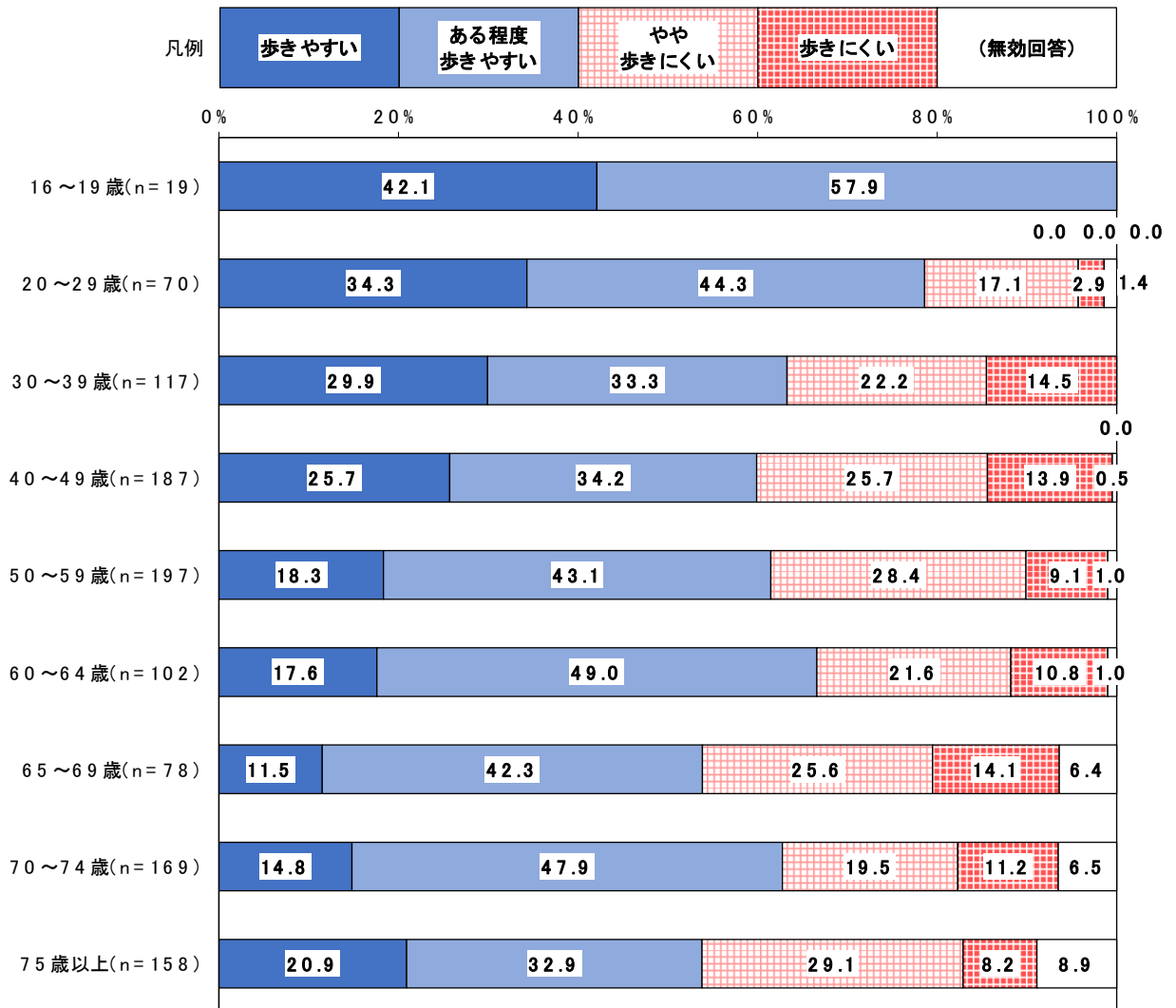


<年齢層別>

○「ア 徒歩」では、いずれの年齢層も「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が50%を超えています。

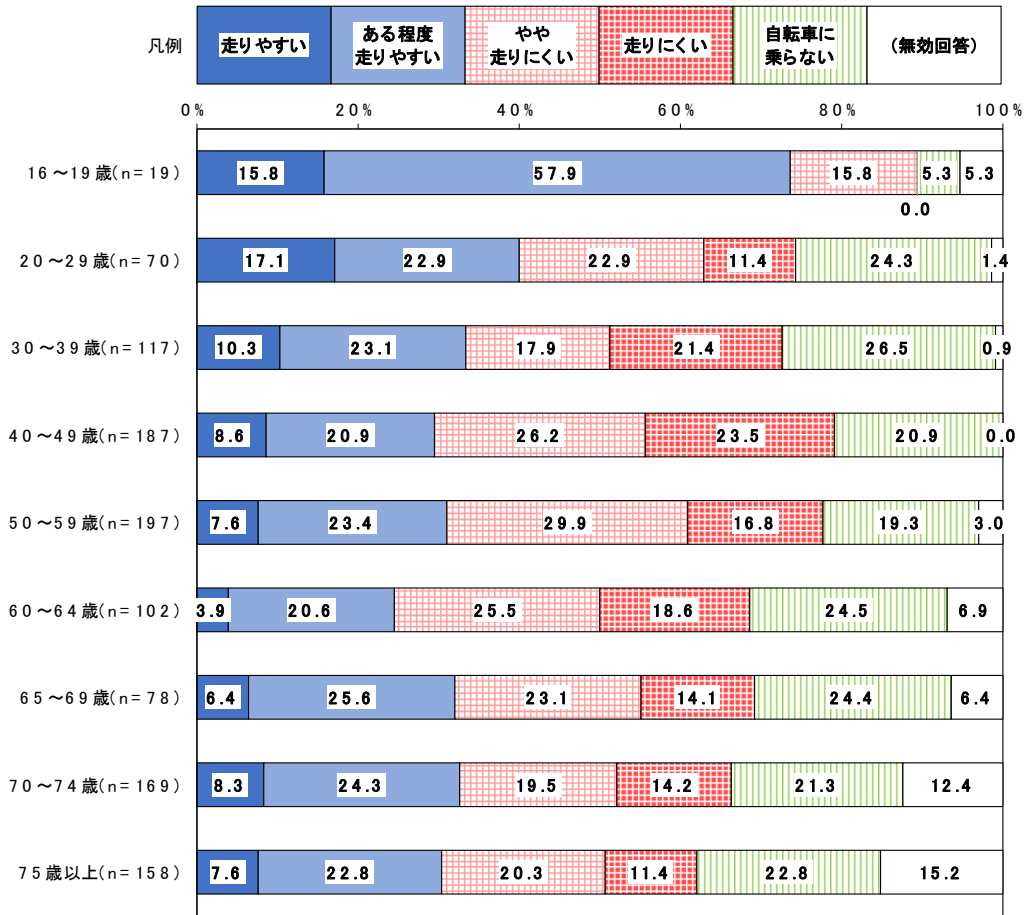
○「イ 自転車」では、16～19歳で「走りやすい」が15.8%、「ある程度走りやすい」が57.9%、両者の合計が73.7%となっています。

ア 徒歩

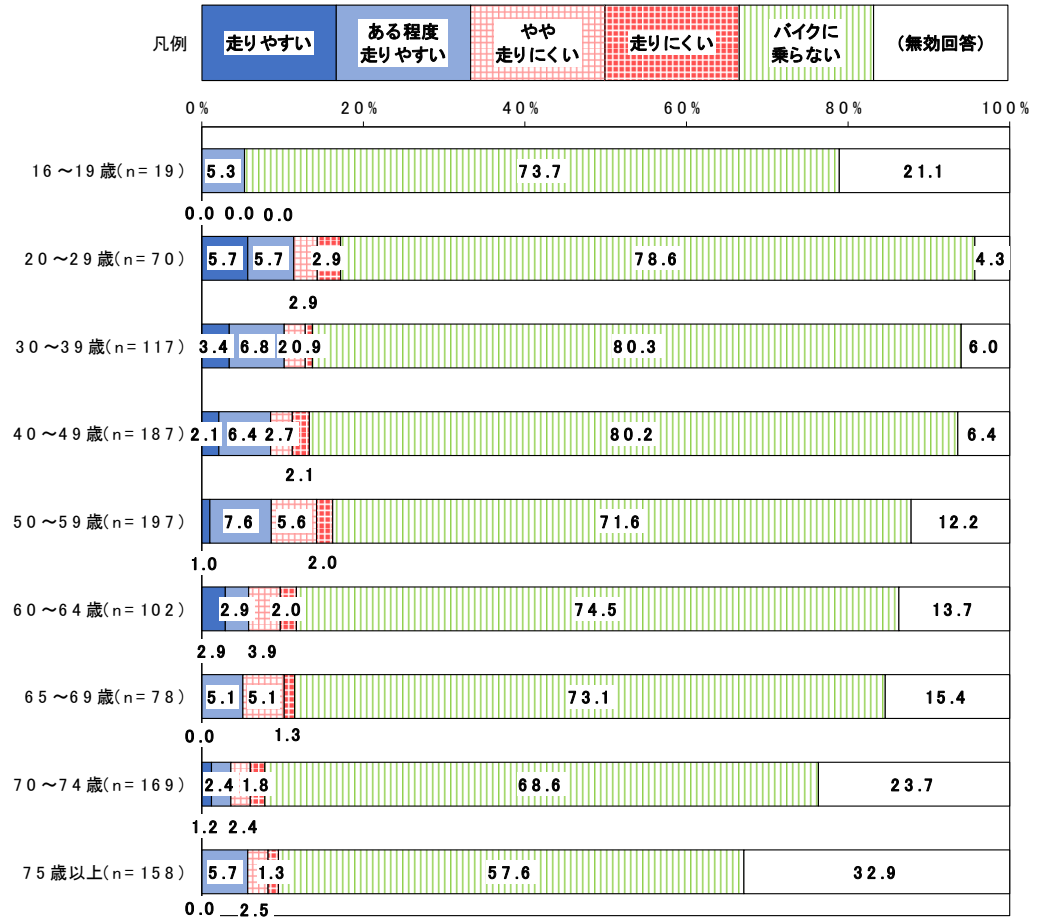


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

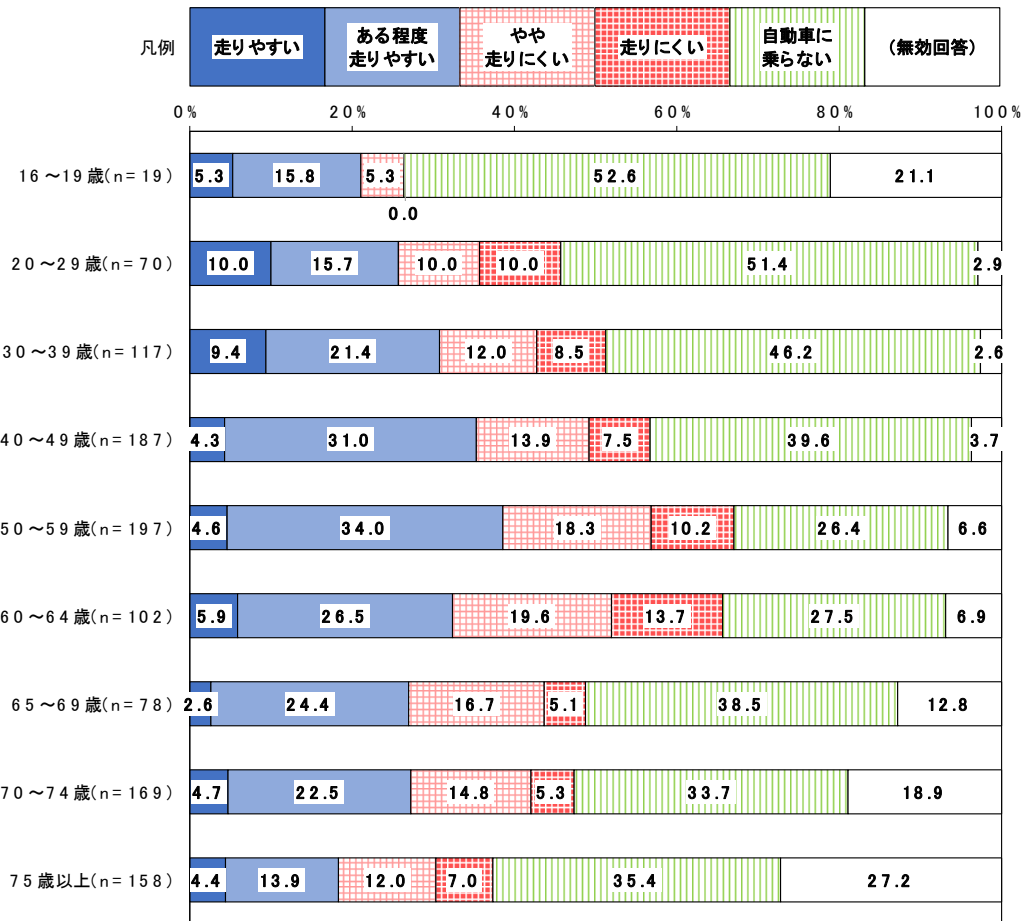
イ 自転車



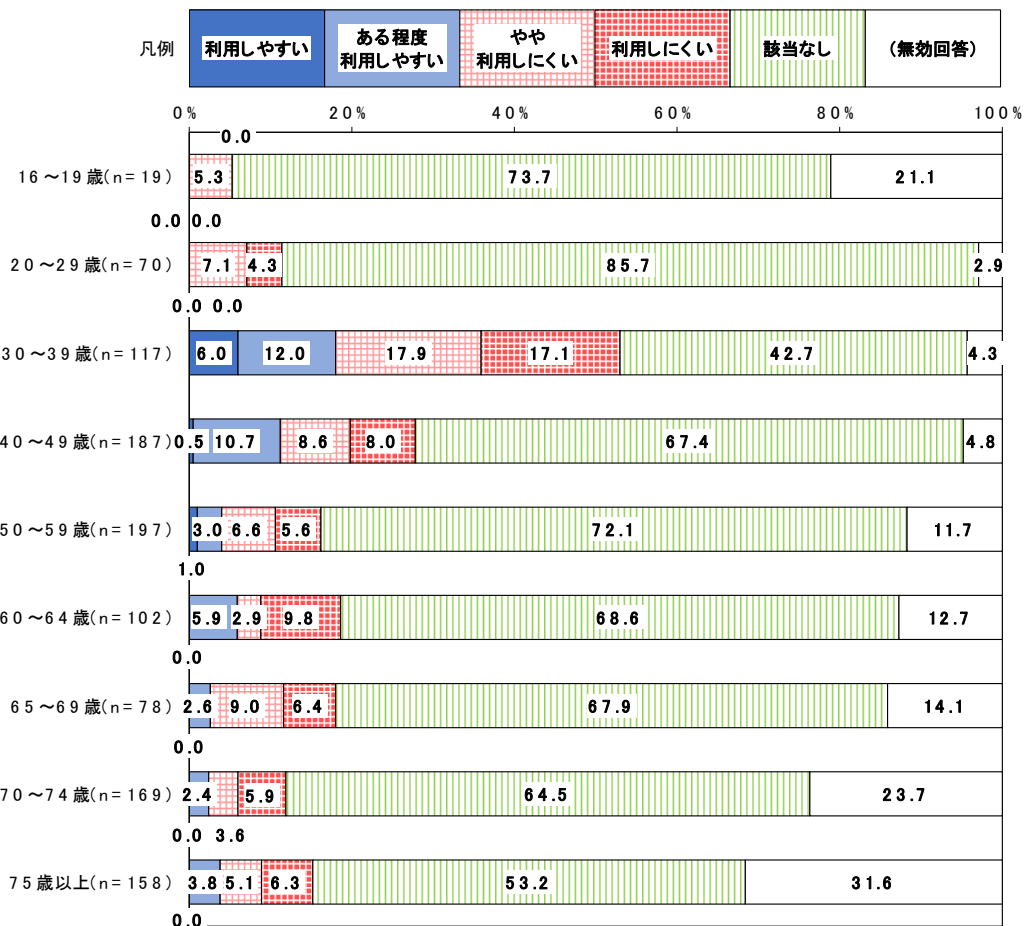
ウ バイク



エ 自動車



オ その他(車いす・ベビーカー)



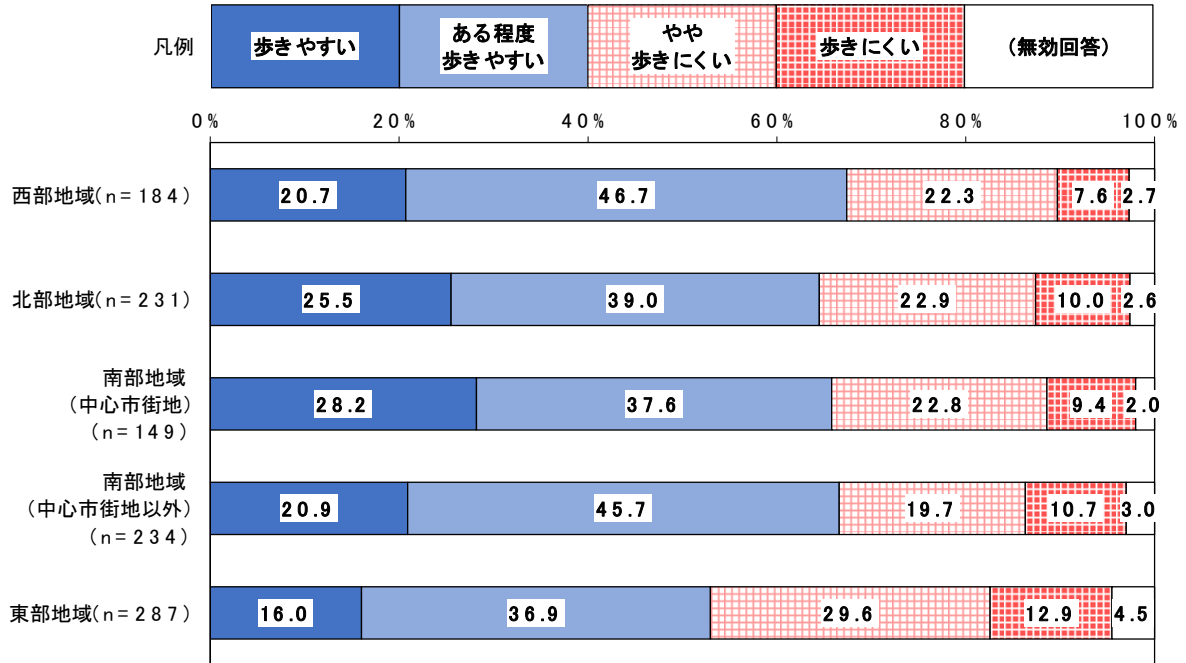
第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<地域別>

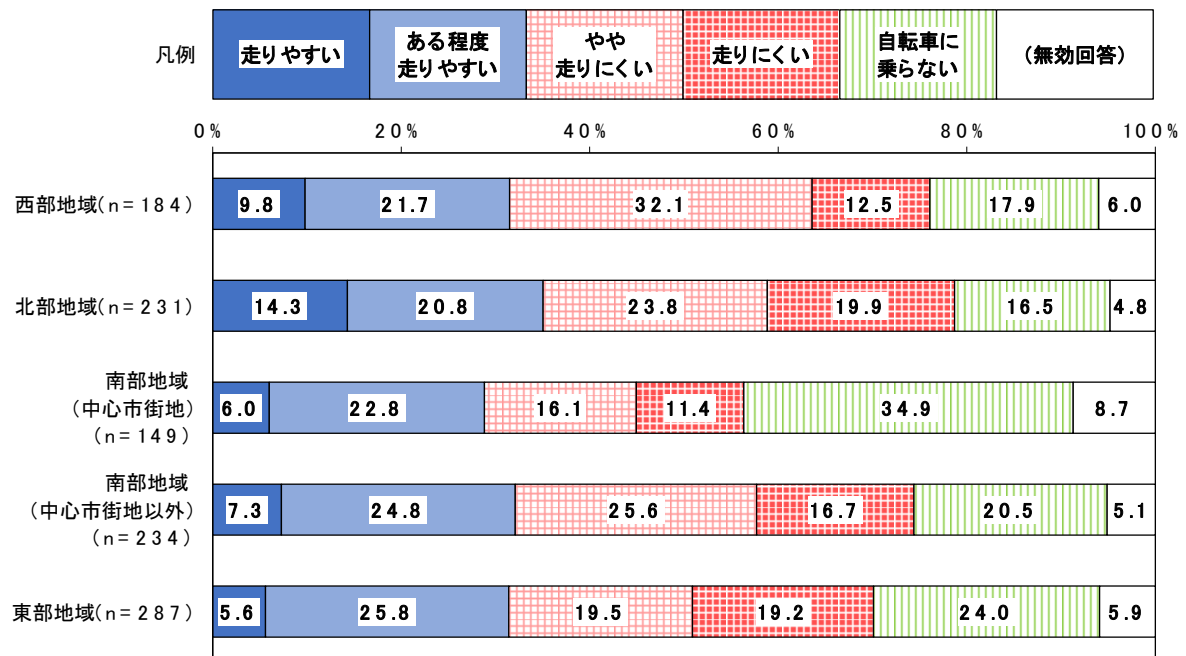
○「ア 徒歩」では、西部地域が「歩きやすい」、「ある程度歩きやすい」の合計が67.4%で最も高くなっています。

○「イ 自転車」では、西部地域が「やや走りにくい」、「走りにくい」の合計が44.6%となっています。

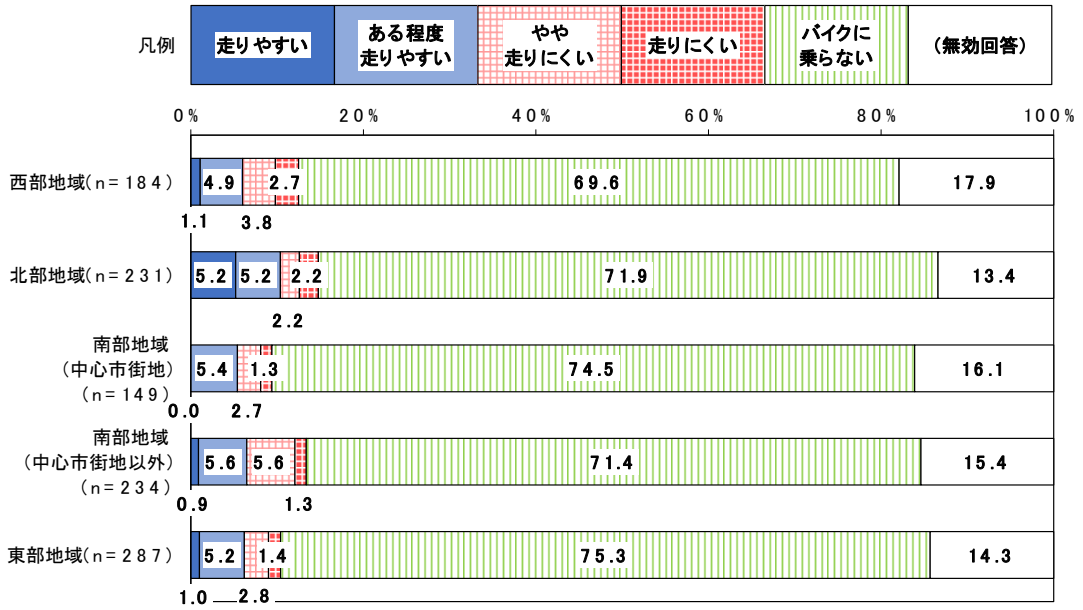
ア 徒歩



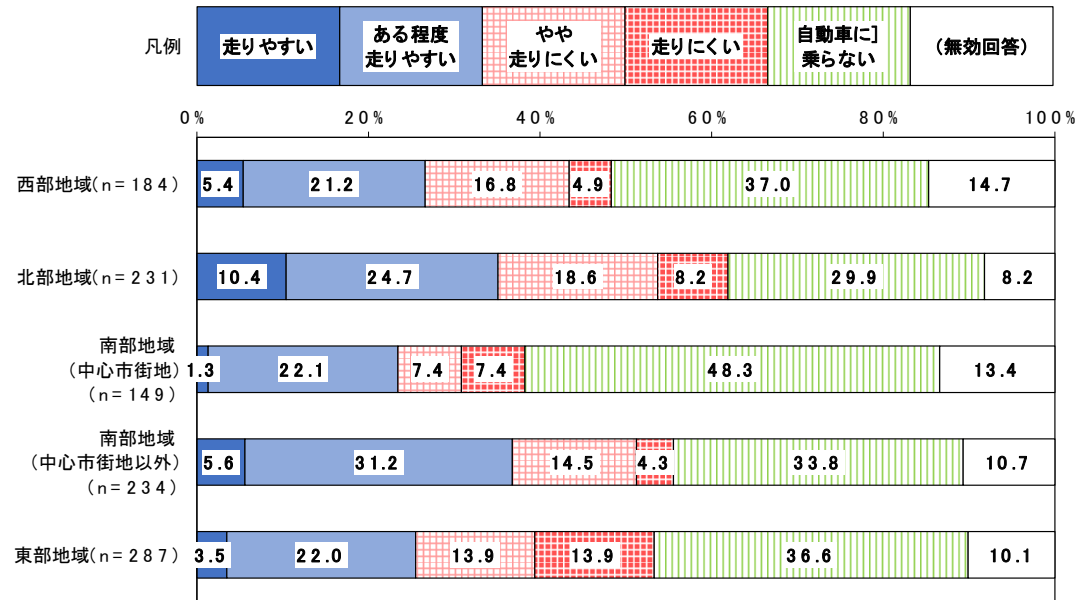
イ 自転車



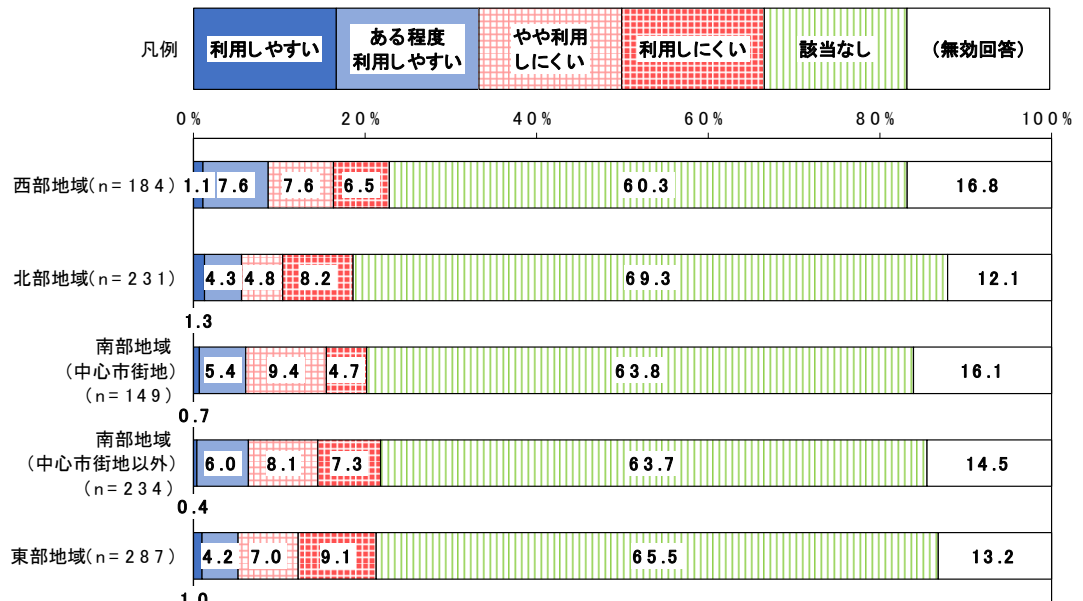
ウ バイク



エ 自動車



オ その他(車いす・ベビーカー)

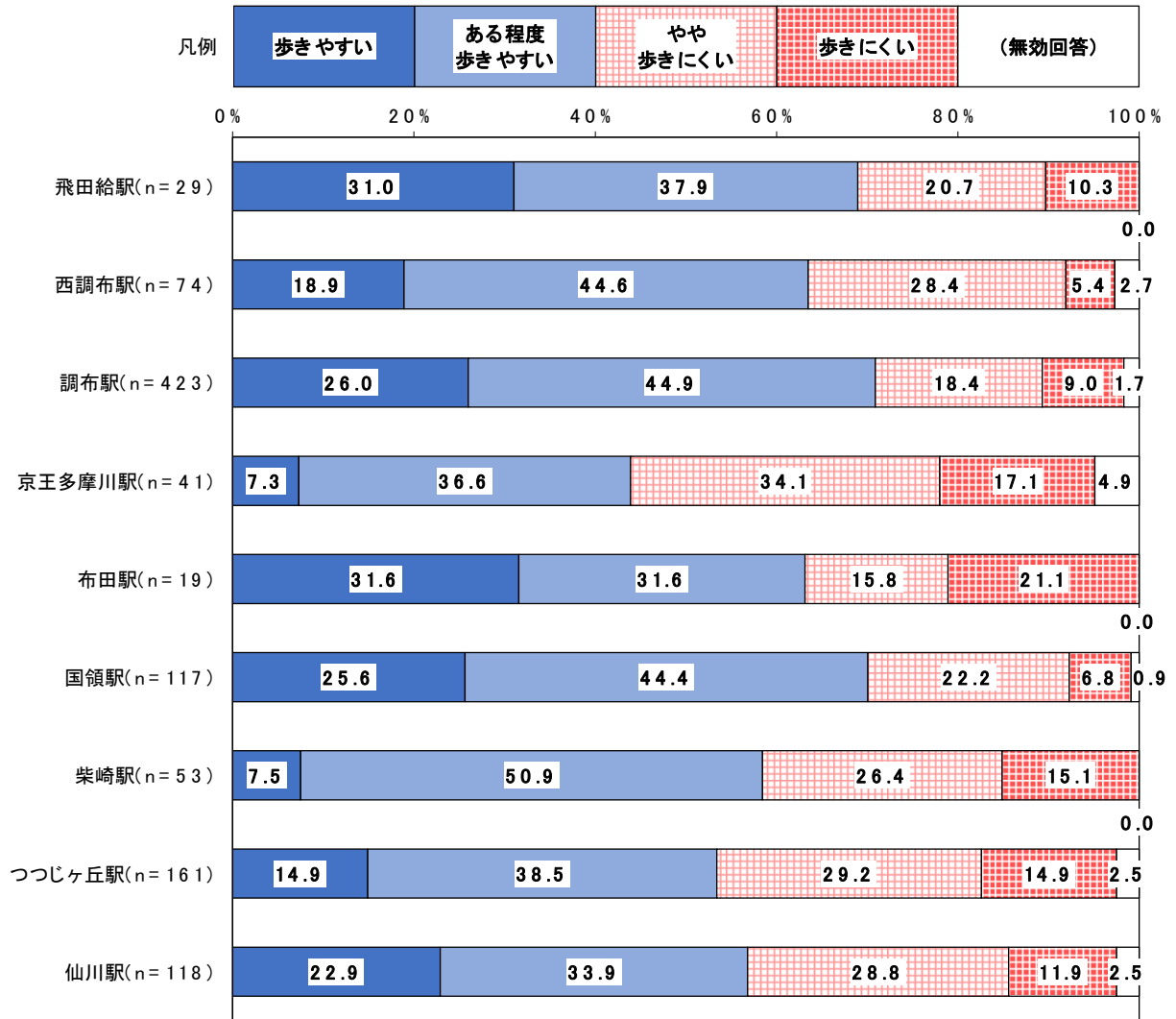


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

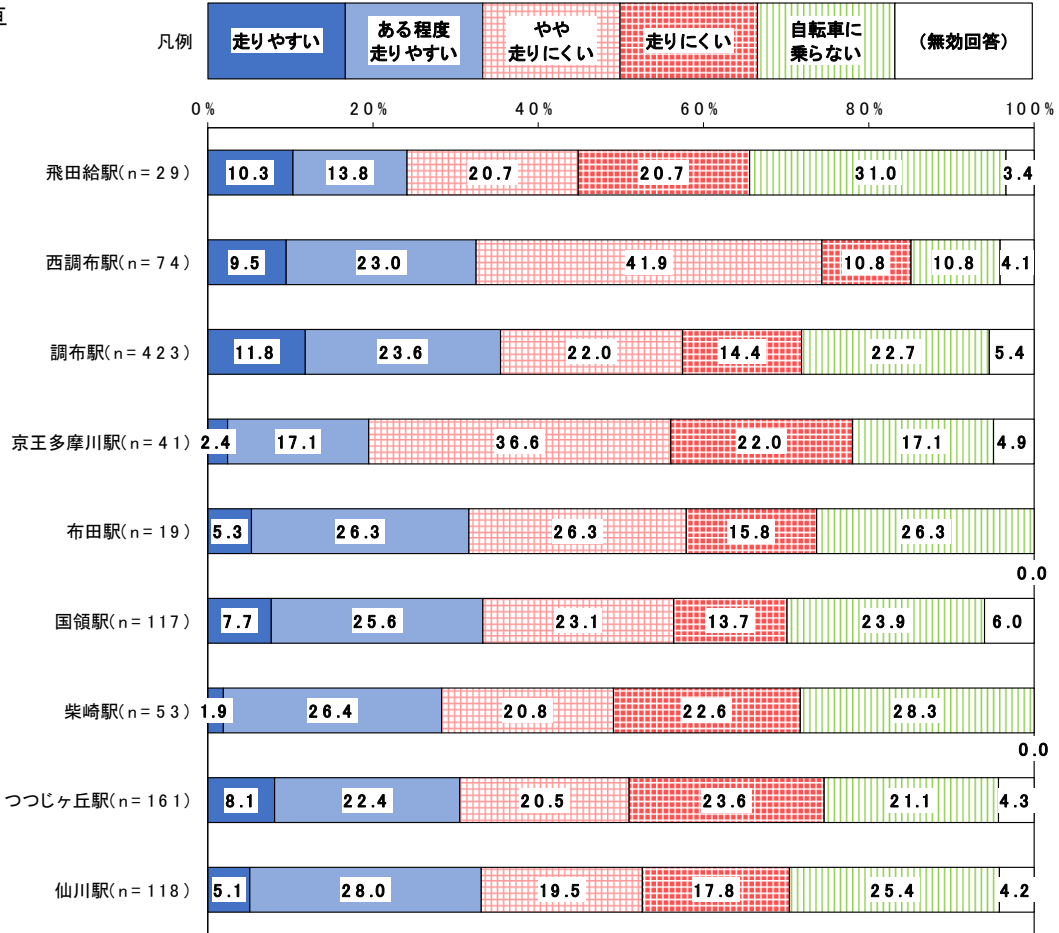
<利用駅別>

- 「ア 徒歩」について、京王多摩川駅では「やや歩きにくい」と「歩きにくい」の合計が51.2%を占めています。
- 「イ 自転車」においても、京王多摩川駅では「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が58.6%を占めています。

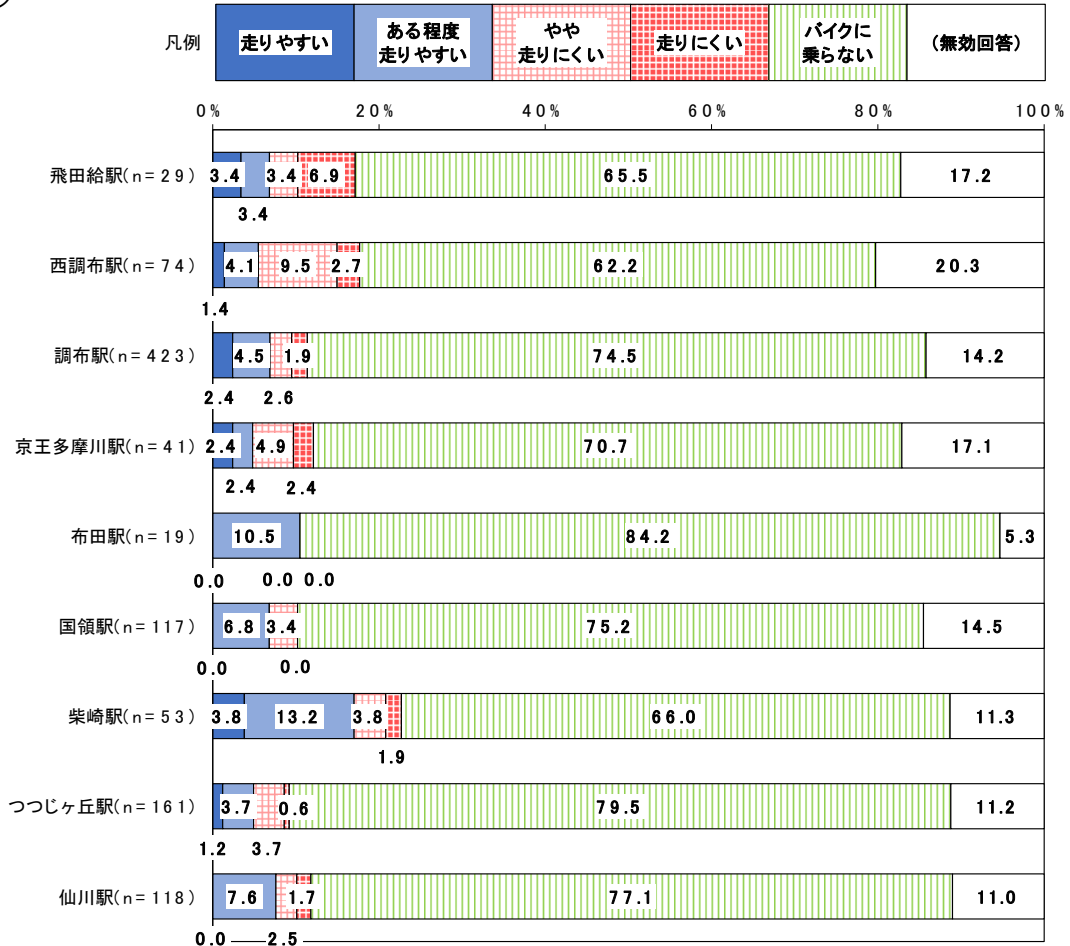
ア 徒歩



イ 自転車

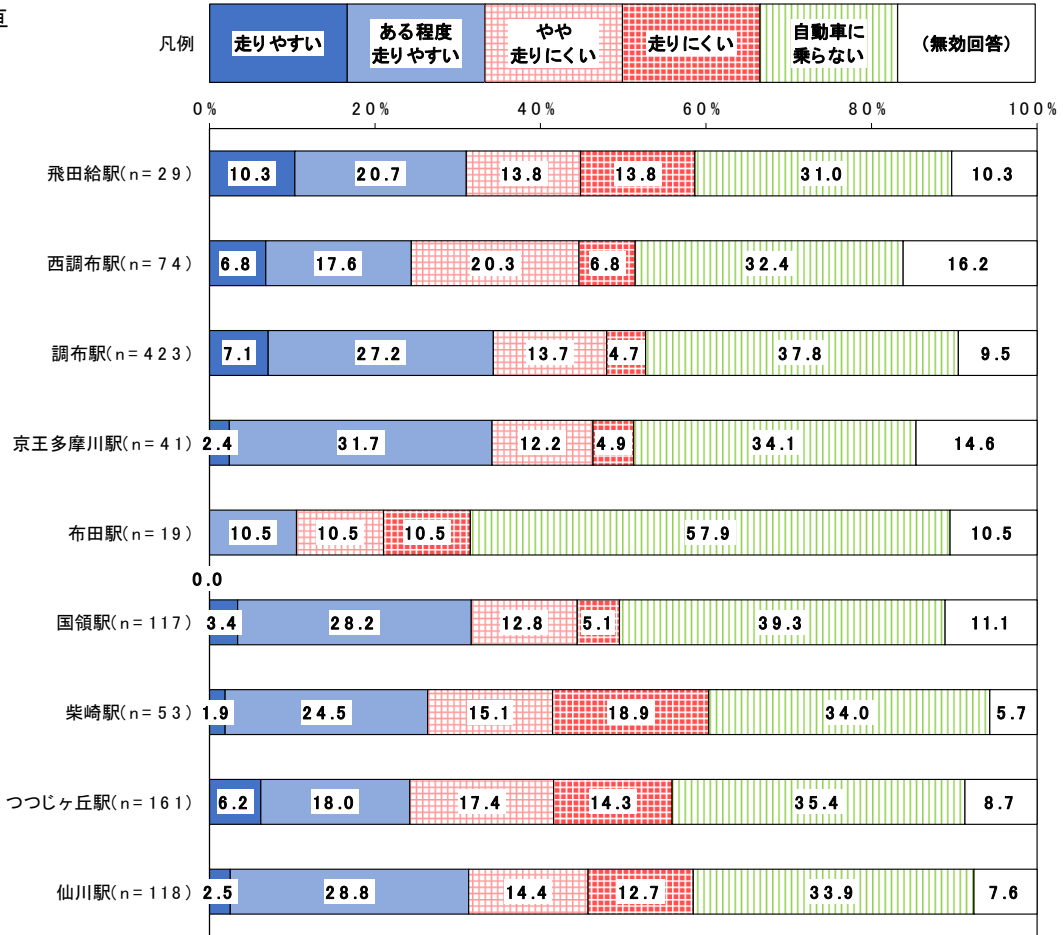


ウ バイク

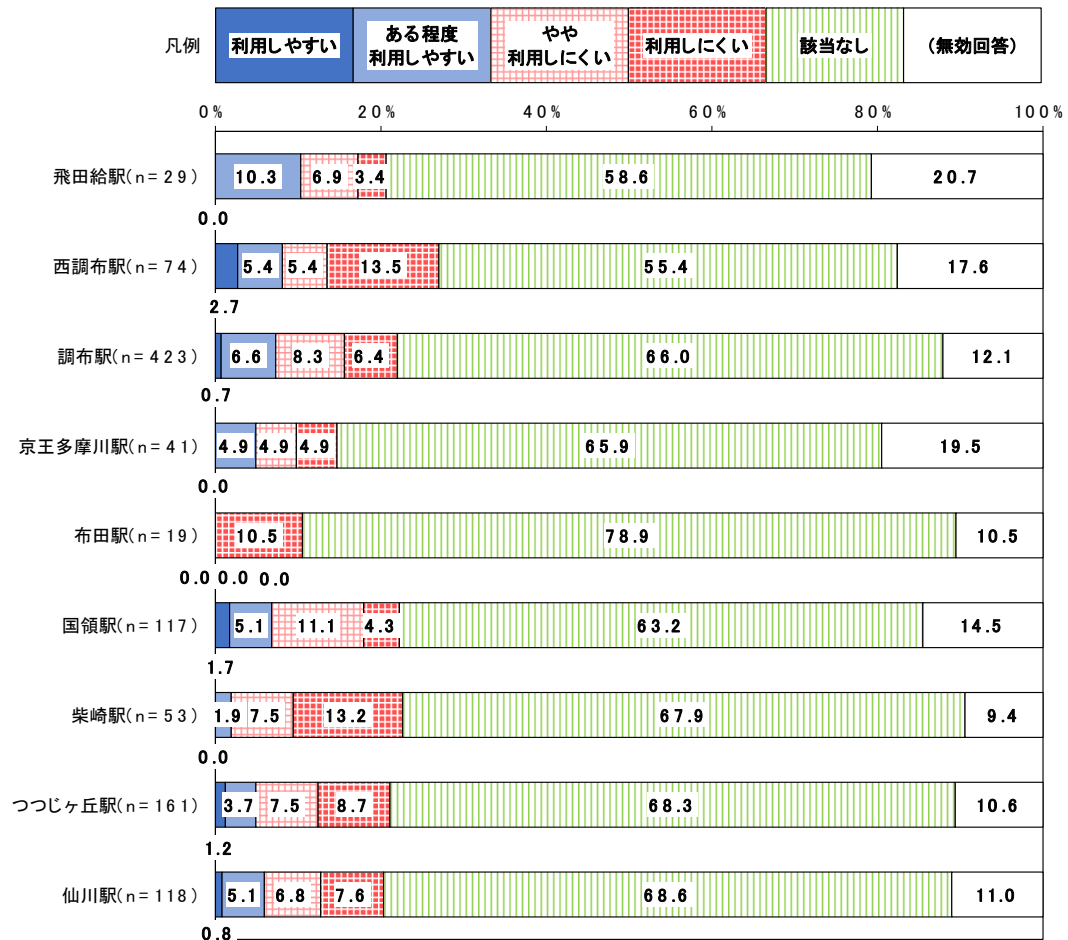


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

エ 自動車



オ その他(車いす・ベビーカー)



<自由記述>主な意見を抜粋

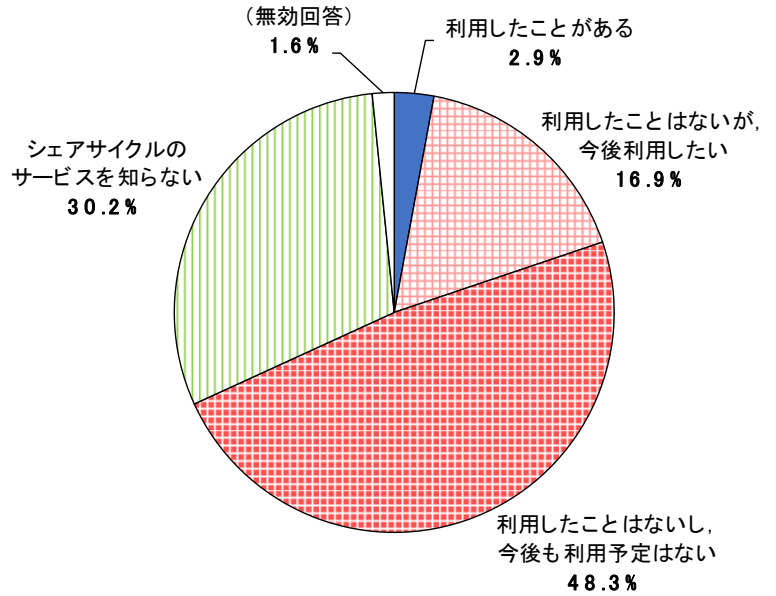
【図表 道路の新設整備や維持補修についてのご意見・ご提案】(250件)

- ・歩道の幅が狭い。
- ・でこぼこ（段差）の道路があるので直してほしい。
- ・電柱が邪魔でバスがすれ違えないのがずっと問題になっている。
- ・自転車レーンがあると乗るとき安心できる。

問 54) あなたは、市が実証実験を行っているシェアサイクル※を利用したことはありますか。

<全体 (n=1105) >

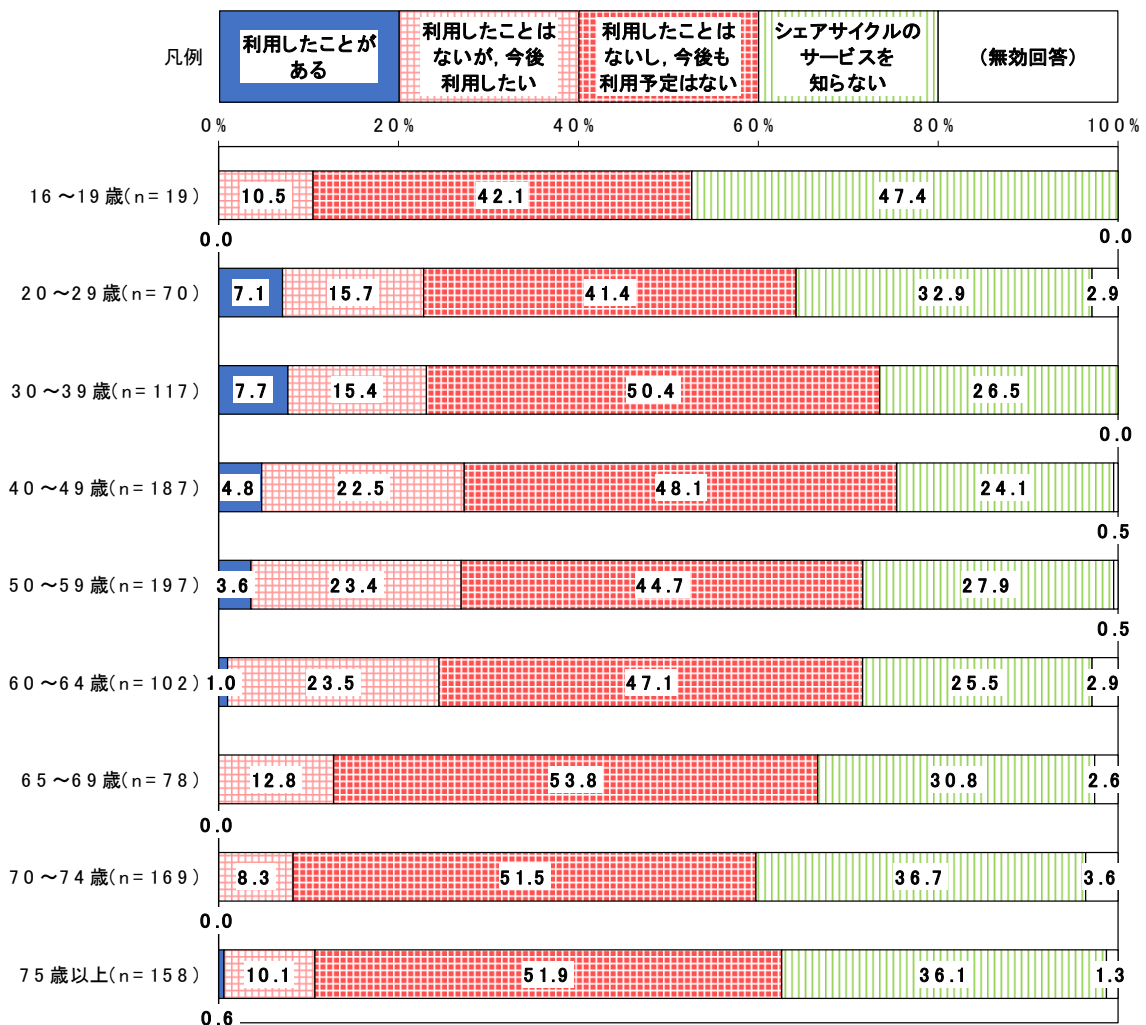
○「利用したことがある」が2.9%、「利用したことはないが、今後利用したい」が16.9%で、合計で19.8%となっており、「利用したことはないし、今後も利用予定はない」は48.3%を占めています。



※ステーション (専用駐輪スペース) 間で片道利用のできる自転車サービス。会員登録をすれば、(同じサービス会社の) 全国どこのステーションでも貸出・返却が可能。

<年齢層別>

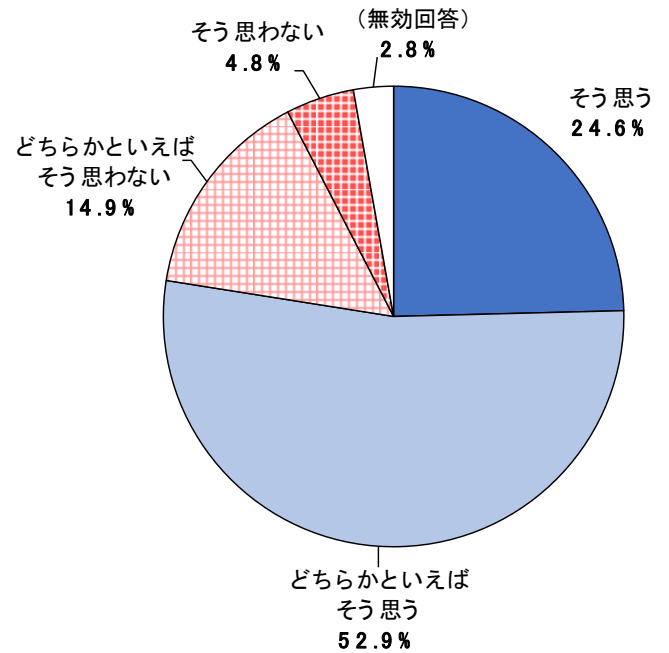
○いずれの年齢層も「利用したことがある」は10%以下にとどまっており、「利用したことはないし、今後も利用予定はない」が40%を超えています。



問 55) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。

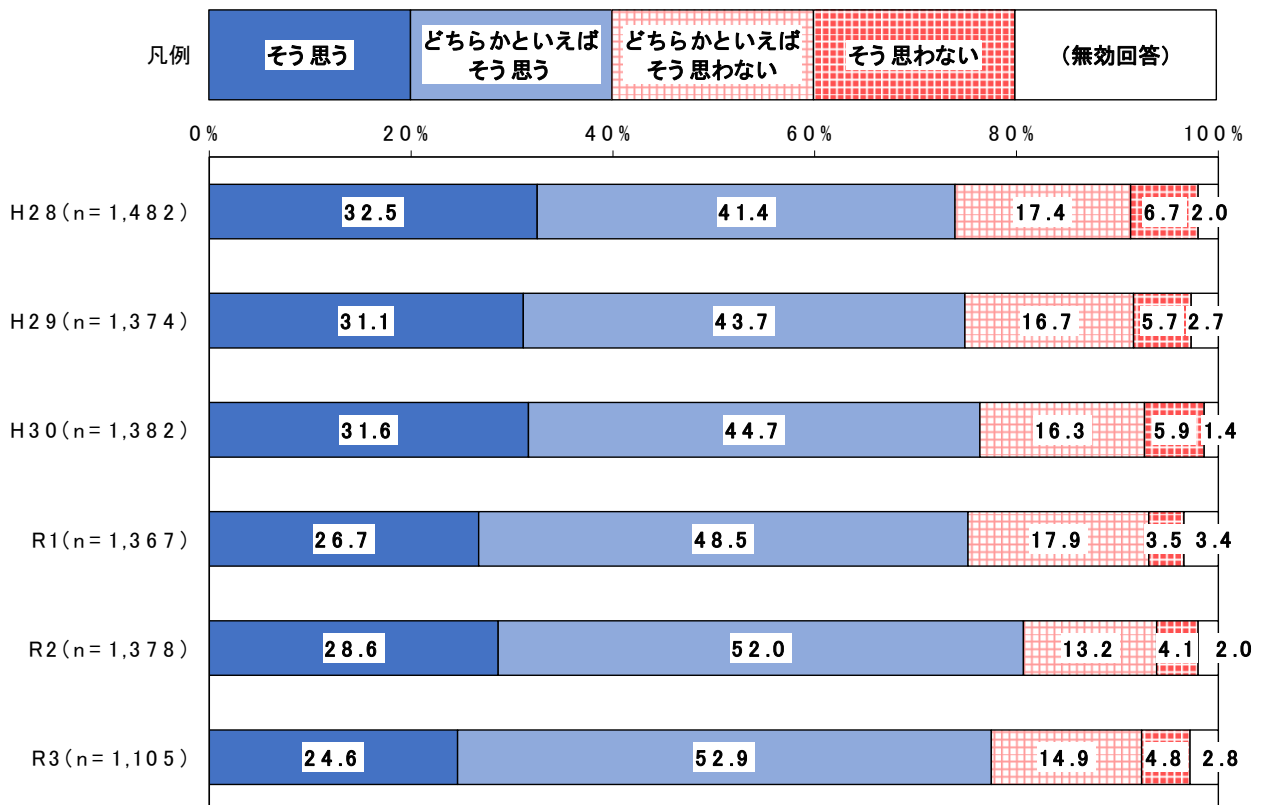
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」が 24.6%、「どちらかといえばそう思う」が 52.9%で、合計で 77.5%を占めています。



<経年比較>

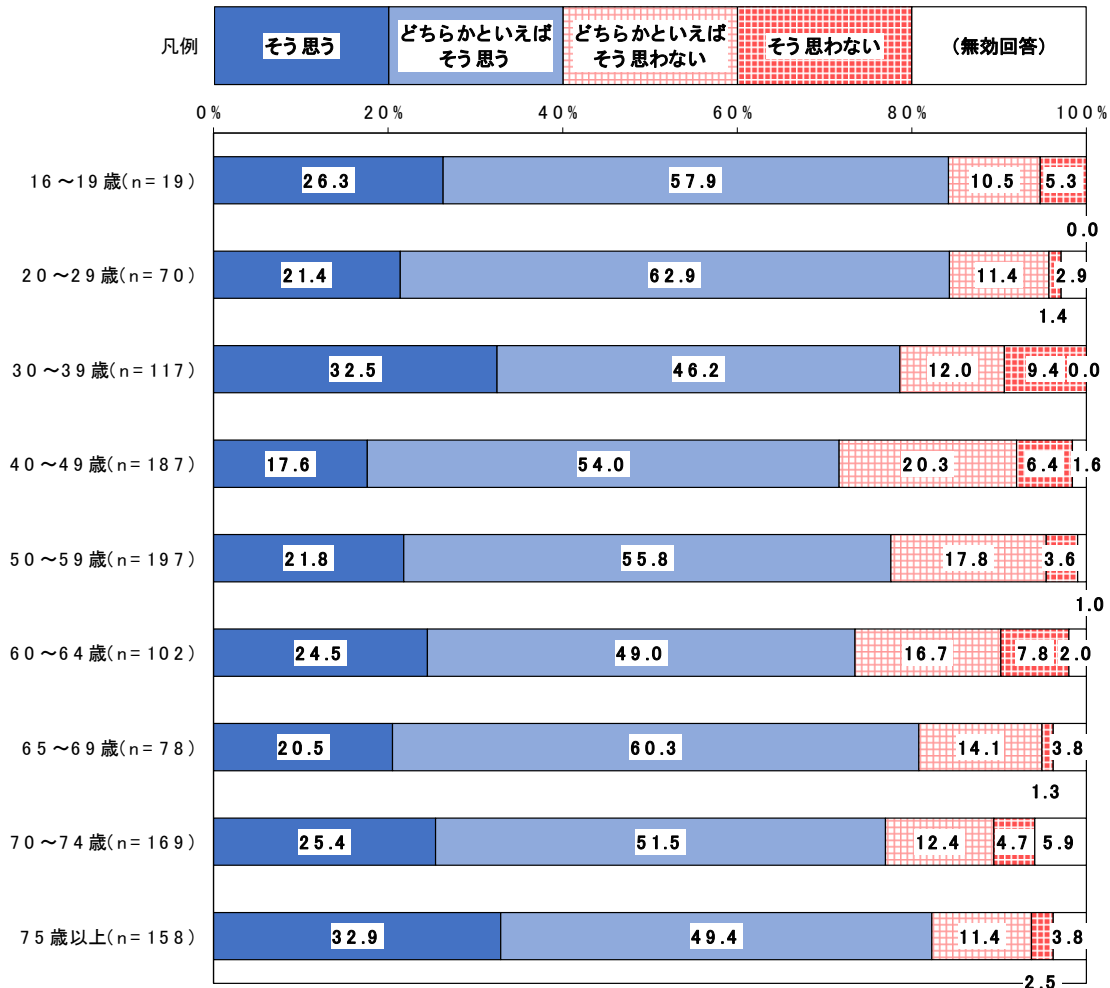
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降、いずれも 70%台で推移し、令和 2 年度には 80%を超えましたが、令和 3 年度 (77.5%) は令和 2 年度 (80.6%) より 3.1 ポイント減少しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

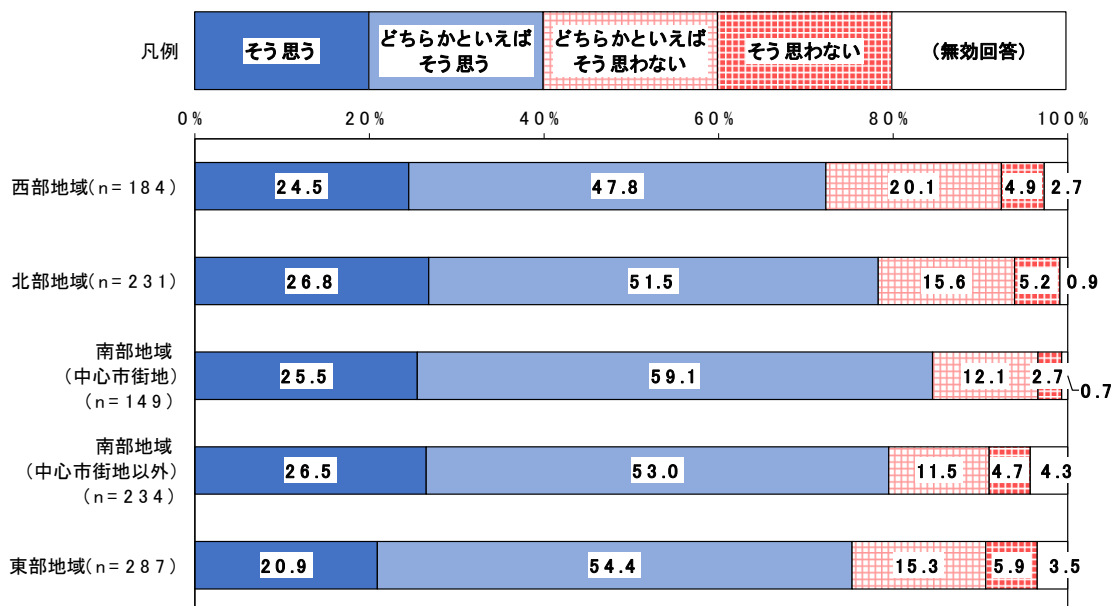
<年齢層別>

○20～29歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が84.3%と最も高く、次いで16～19歳の84.2%、75歳以上の82.3%の順となっています。



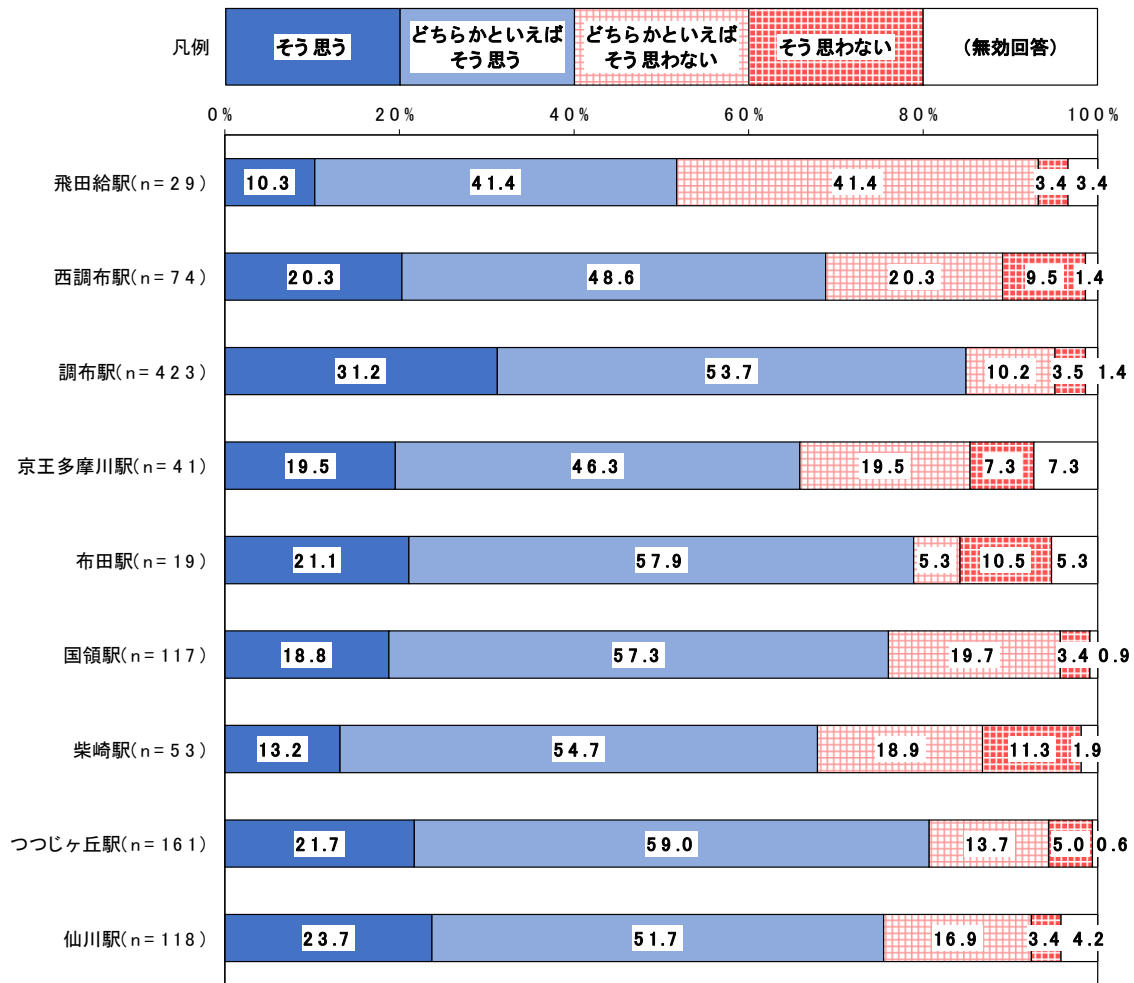
<地域別>

○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%を超えています。
 ○南部地域以外は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が20%を超えています。



<利用駅別>

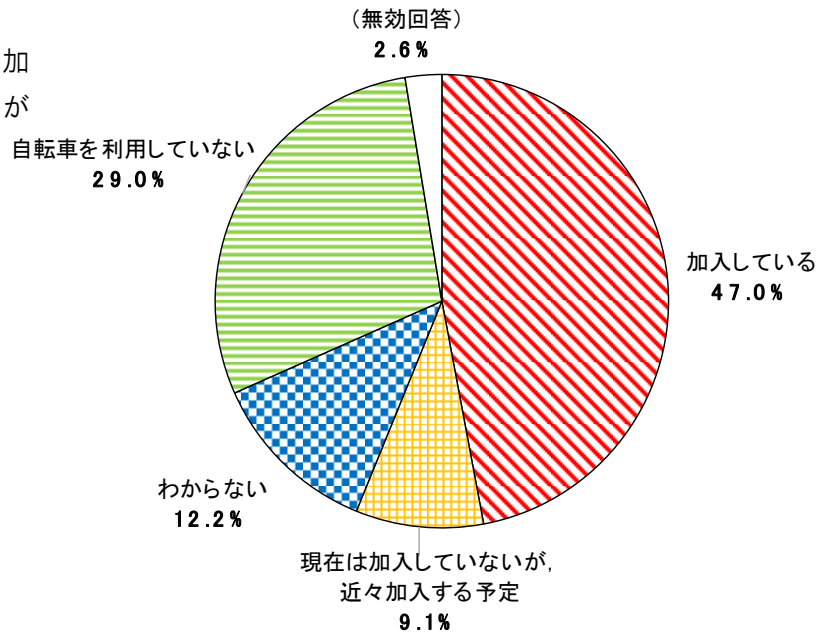
○ほとんどの駅で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が65%以上を占めています。
 ○飛田給駅では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が51.7%で、他の駅と比べて低くなっています。



問 56) あなたは、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか。

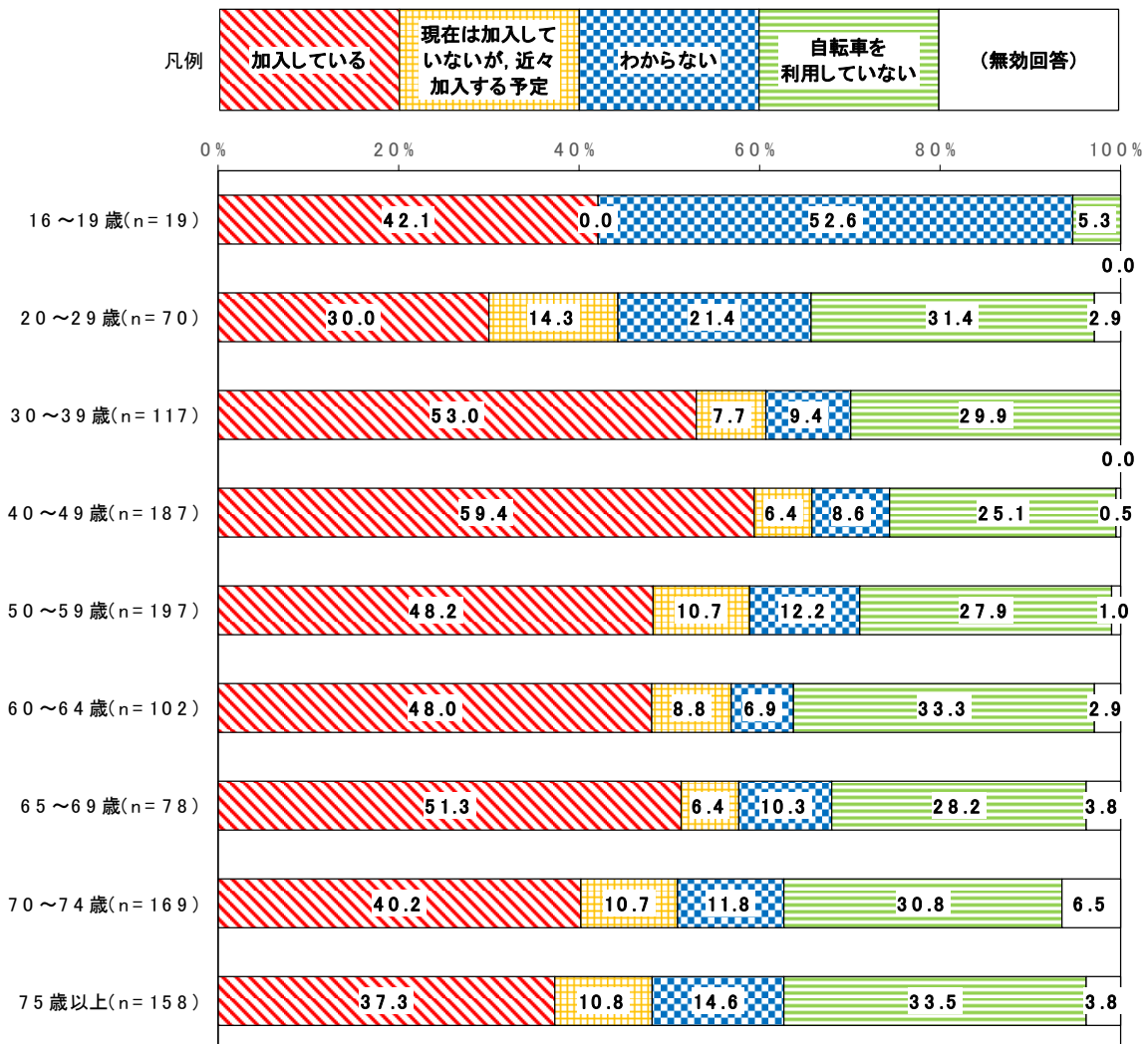
<全体 (n=1105) >

○「加入している」が47.0%、「現在は加入していないが、近々加入する予定」が9.1%となっています。



<年齢層別>

○40～49歳が、「加入している」が59.4%で最も高く、次いで30～39歳の53.0%、65～69歳の51.3%の順となっています。

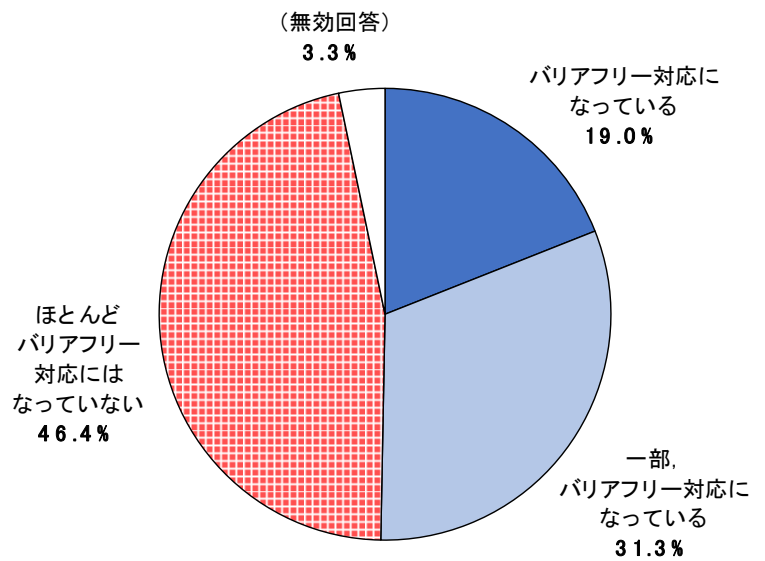


【住環境づくり・地球温暖化対策について】

問 57) あなたの住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。

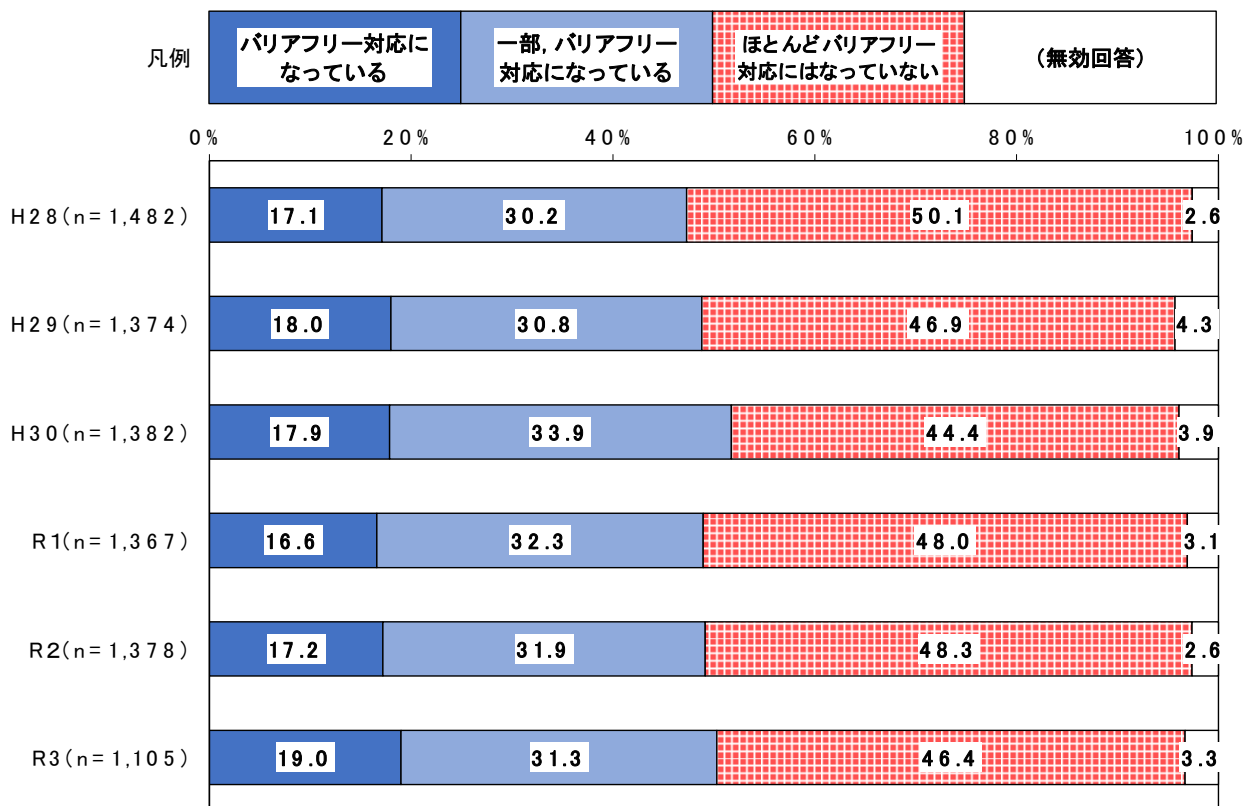
<全体 (n=1105) >

○「バリアフリー対応になっている」が19.0%、「一部、バリアフリー対応になっている」が31.3%で、合計50.3%を占めています。



<経年比較>

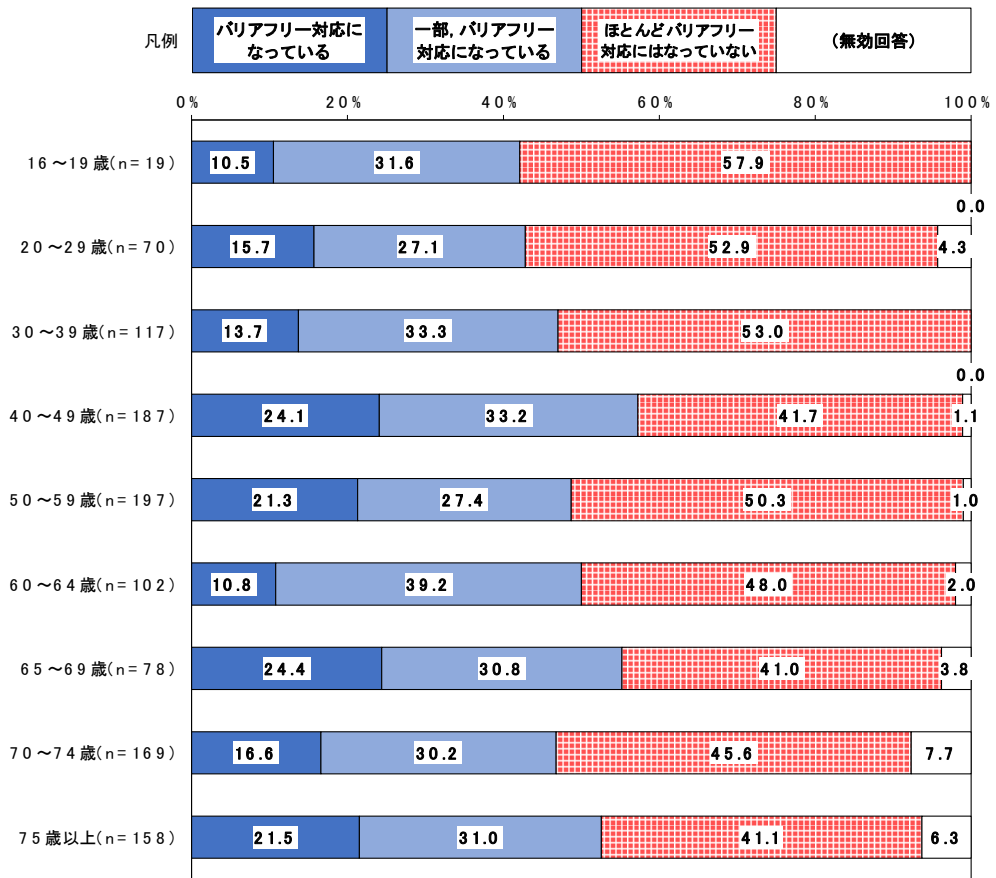
○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、おおむね増加傾向で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

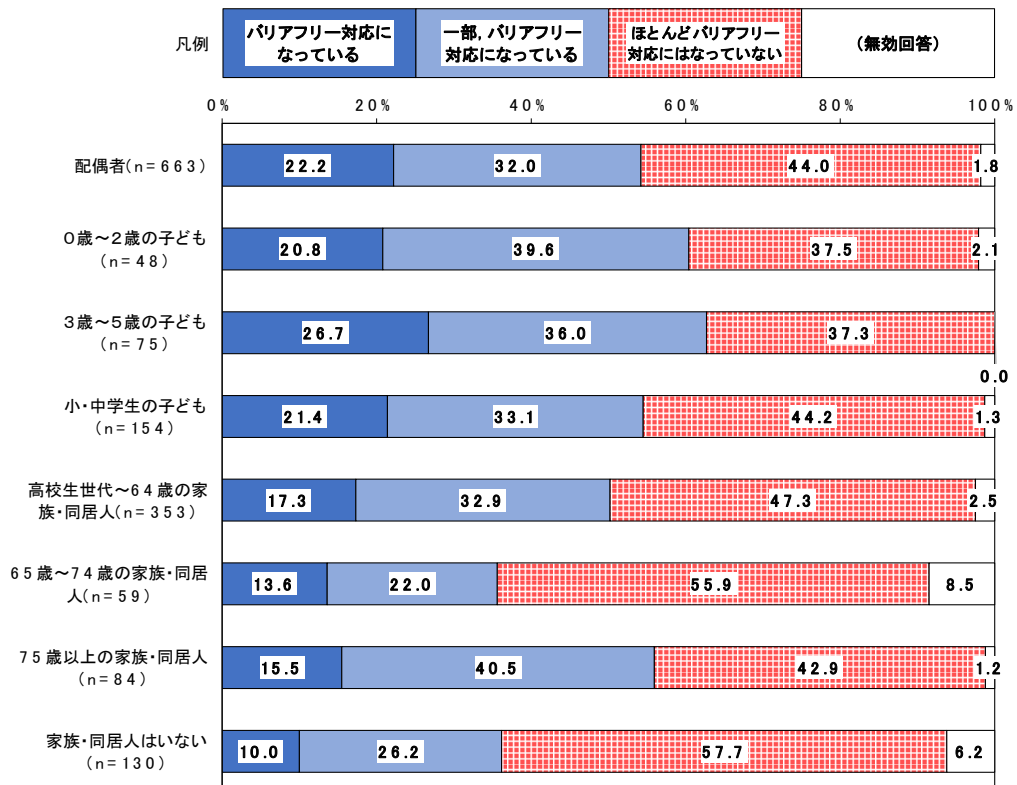
<年齢層別>

○40～49歳, 60～69歳, 75歳以上では、「バリアフリー対応になっている」と「一部, バリアフリー対応になっている」の合計が50%台となっています。



<同居人別>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部, バリアフリー対応になっている」の合計は, 「3歳～5歳の子ども」が62.7%で最も高く, 次いで「0歳～2歳の子ども」の60.4%の順となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

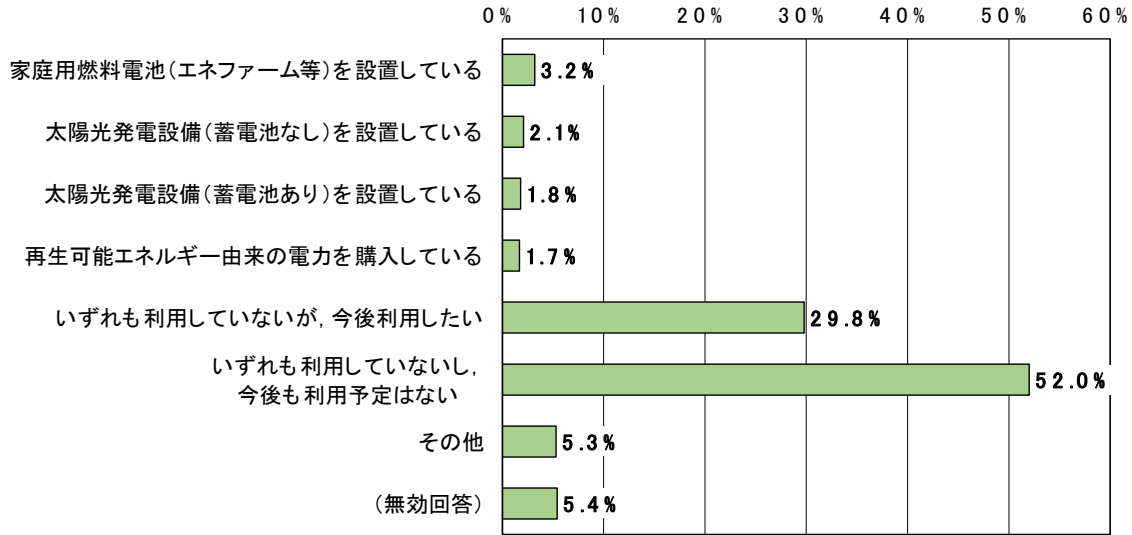
【図表 住環境づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(27件)

- ・補助制度の充実。
- ・せまい歩道上に電柱, 街灯などでよりせまくなっている。老人の手押し車が道路の凸凹で通行しにくそうです。

問 58) あなたの住んでいる住居において、再生可能エネルギーを利用してはいますか。また、創エネルギー設備を設置してはいますか。

<全体 (n=1105) >

○「家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している」が 3.2%、「太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している」が 2.1%、「太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している」が 1.8%となっています。なお、「いずれも利用していないし、今後も利用予定はない」は 52.0%となっています。



<年齢層別>

○再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している方のうち、20～39歳、60～64歳、75歳以上を除く年齢層で、主に「家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している」の割合が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している | 35 | 1 | 0 | 2 | 11 | 7 | 3 | 3 | 6 | 2 |
| | 3.2% | 5.3% | 0.0% | 1.7% | 5.9% | 3.6% | 2.9% | 3.8% | 3.6% | 1.3% |
| 太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している | 23 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| | 2.1% | 5.3% | 1.4% | 0.9% | 2.1% | 0.5% | 2.9% | 3.8% | 2.4% | 2.5% |
| 太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している | 20 | 0 | 1 | 1 | 5 | 1 | 5 | 0 | 3 | 3 |
| | 1.8% | 0.0% | 1.4% | 0.9% | 2.7% | 0.5% | 4.9% | 0.0% | 1.8% | 1.9% |
| 再生可能エネルギー由来の電力を購入している | 19 | 0 | 1 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 1.7% | 0.0% | 1.4% | 3.4% | 1.6% | 1.5% | 2.0% | 2.6% | 1.2% | 1.3% |
| いずれも利用していないが、今後利用したい | 329 | 6 | 20 | 36 | 50 | 75 | 30 | 28 | 38 | 45 |
| | 29.8% | 31.6% | 28.6% | 30.8% | 26.7% | 38.1% | 29.4% | 35.9% | 22.5% | 28.5% |
| いずれも利用していないし、今後も利用予定はない | 575 | 9 | 43 | 70 | 99 | 94 | 53 | 35 | 94 | 73 |
| | 52.0% | 47.4% | 61.4% | 59.8% | 52.9% | 47.7% | 52.0% | 44.9% | 55.6% | 46.2% |
| その他 | 59 | 1 | 2 | 3 | 14 | 11 | 6 | 5 | 11 | 5 |
| | 5.3% | 5.3% | 2.9% | 2.6% | 7.5% | 5.6% | 5.9% | 6.4% | 6.5% | 3.2% |
| (無効回答) | 60 | 1 | 2 | 0 | 5 | 5 | 5 | 4 | 13 | 24 |
| | 5.4% | 5.3% | 2.9% | 0.0% | 2.7% | 2.5% | 4.9% | 5.1% | 7.7% | 15.2% |

(上段：実数（人），下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 回答割合が2番目に高い：

※再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している回答のうち、割合が高いものに網掛け表示をしています。

<自由記述>主な意見を抜粋

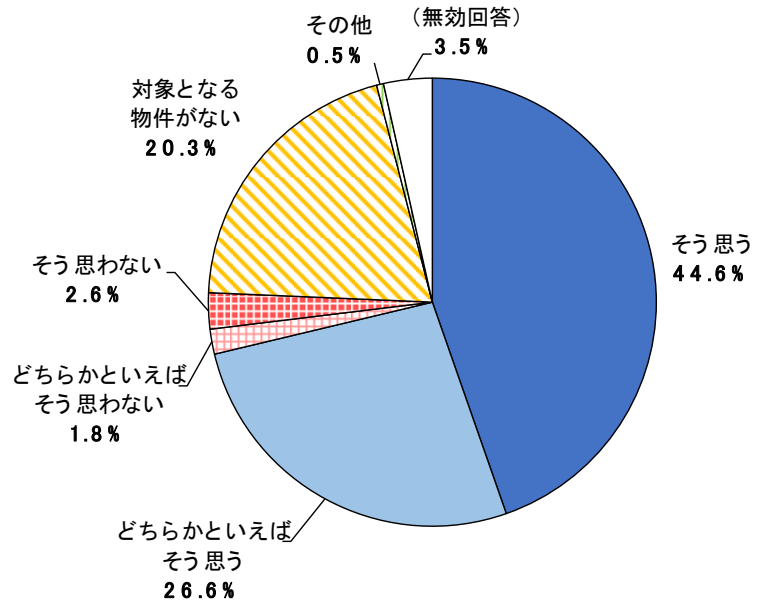
【図表 地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策についてのご意見・ご提案】
(37件)

- ・ 緑・自然を増やして欲しい。
- ・ 公的な資金より、民間の力や資金を活用する工夫をお願いします。
- ・ 設備の補助を増やして欲しい。

問 59) あなたは、たとえばあなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いますか。

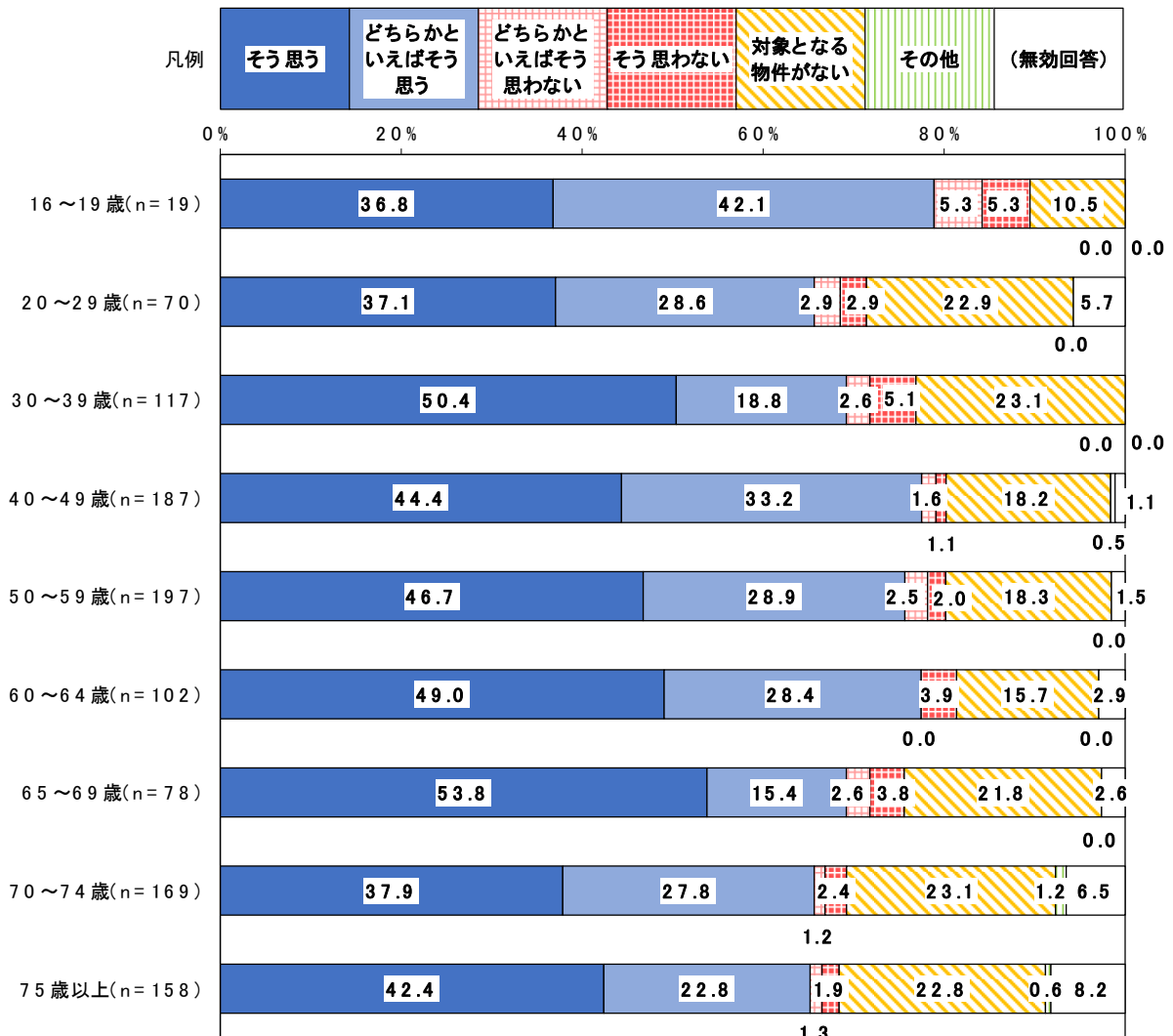
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」が44.6%,「どちらかといえばそう思う」が26.6%で、合計71.2%を占めています。



<年齢層別>

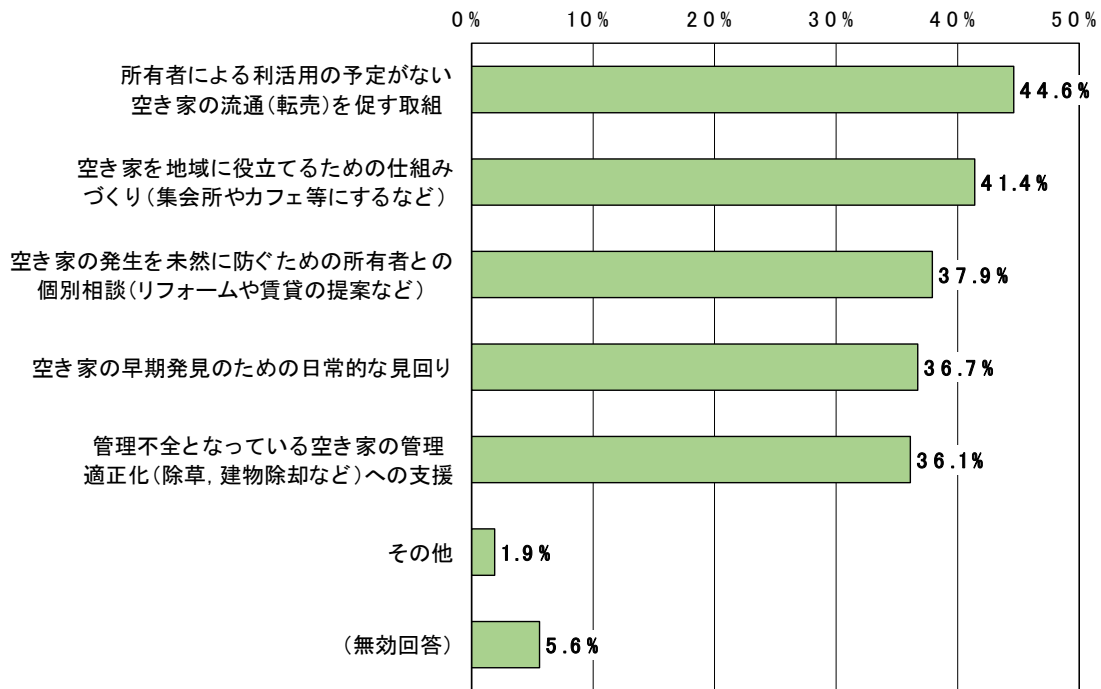
○16~19歳, 40~64歳では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%台となっています。



問 59-1) あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。

<全体 (n=1105) >

○「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」が 44.6%で最も高く、次いで「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」の 41.4%、「空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談（リフォームや賃貸の提案など）」の 37.9%の順となっています。



<年齢層別>

○30～64 歳，70～74 歳では、「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」，その他の年齢層では、「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」や「空き家の早期発見のための日常的な見回り」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組 | 493 | 3 | 33 | 54 | 88 | 102 | 44 | 33 | 74 | 58 |
| | 44.6% | 15.8% | 47.1% | 46.2% | 47.1% | 51.8% | 43.1% | 42.3% | 43.8% | 36.7% |
| 空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど) | 458 | 7 | 34 | 54 | 72 | 93 | 36 | 35 | 61 | 64 |
| | 41.4% | 36.8% | 48.6% | 46.2% | 38.5% | 47.2% | 35.3% | 44.9% | 36.1% | 40.5% |
| 空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など) | 419 | 7 | 30 | 41 | 79 | 79 | 44 | 25 | 56 | 54 |
| | 37.9% | 36.8% | 42.9% | 35.0% | 42.2% | 40.1% | 43.1% | 32.1% | 33.1% | 34.2% |
| 空き家の早期発見のための日常的な見回り | 406 | 8 | 25 | 41 | 67 | 69 | 38 | 27 | 66 | 64 |
| | 36.7% | 42.1% | 35.7% | 35.0% | 35.8% | 35.0% | 37.3% | 34.6% | 39.1% | 40.5% |
| 管理不全となっている空き家の管理適正化(除草, 建物除却など)への支援 | 399 | 6 | 21 | 36 | 56 | 82 | 32 | 32 | 70 | 62 |
| | 36.1% | 31.6% | 30.0% | 30.8% | 29.9% | 41.6% | 31.4% | 41.0% | 41.4% | 39.2% |
| その他 | 21 | 0 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 6 | 1 |
| | 1.9% | 0.0% | 1.4% | 2.6% | 1.6% | 1.0% | 1.0% | 2.6% | 3.6% | 0.6% |
| (無効回答) | 62 | 0 | 5 | 1 | 5 | 3 | 4 | 4 | 18 | 21 |
| | 5.6% | 0.0% | 7.1% | 0.9% | 2.7% | 1.5% | 3.9% | 5.1% | 10.7% | 13.3% |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 空き家対策についてのご意見・ご提案】(57件)

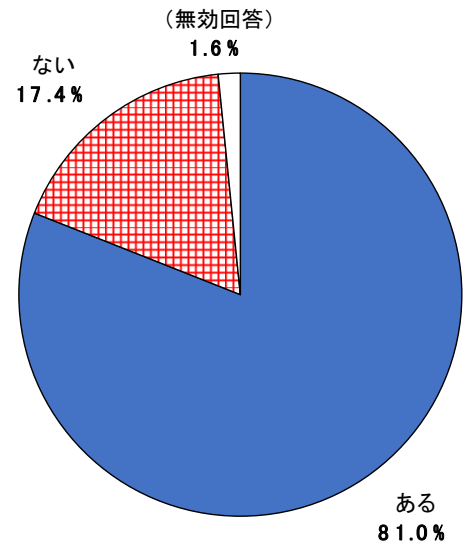
- ・子育て、子供の学習や練習の場所としてシェア。カフェなどの魅力あふれる町づくりへの活用。
- ・近隣に空き家があるのは治安的にも不安です。日常的な見回りは大変なので地域で把握する仕組みがあっても良いように思います。

【平和について】

問60) あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。

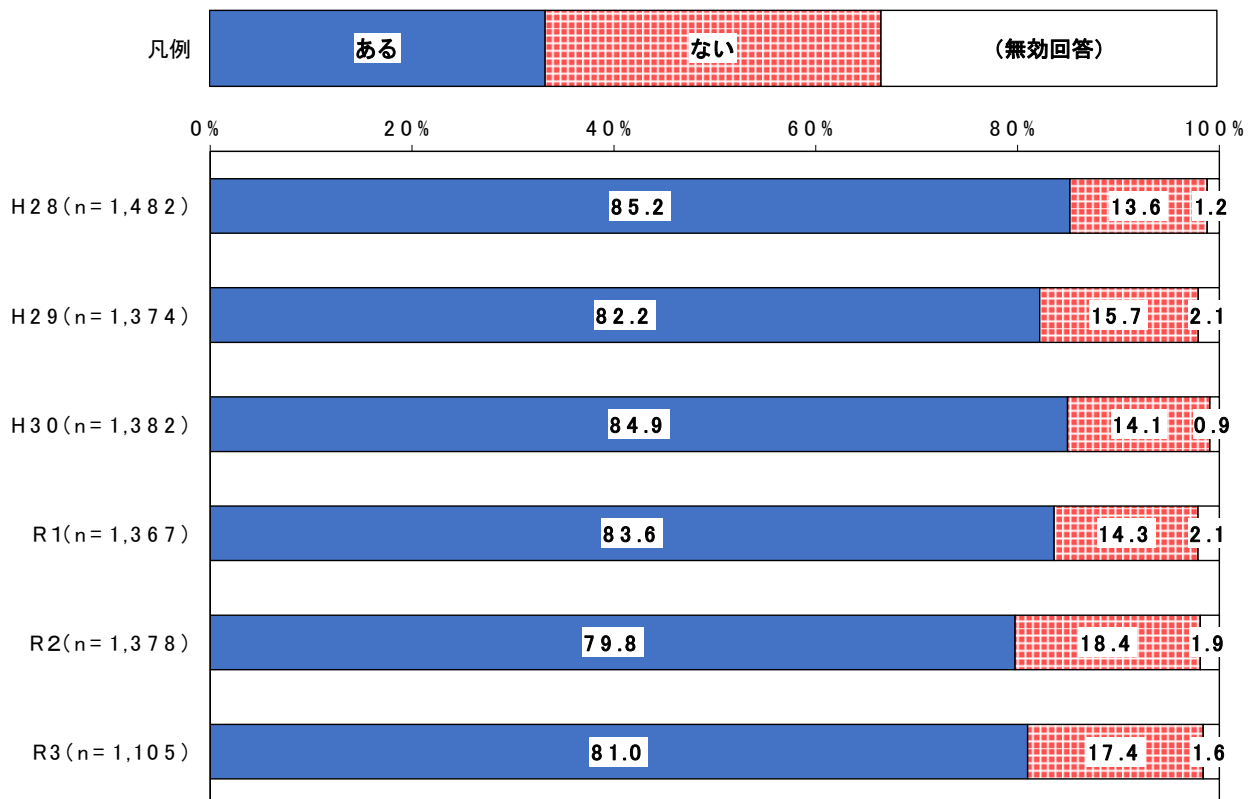
<全体 (n=1105) >

○「ある」が81.0%、「ない」が17.4%となっています。



<経年比較>

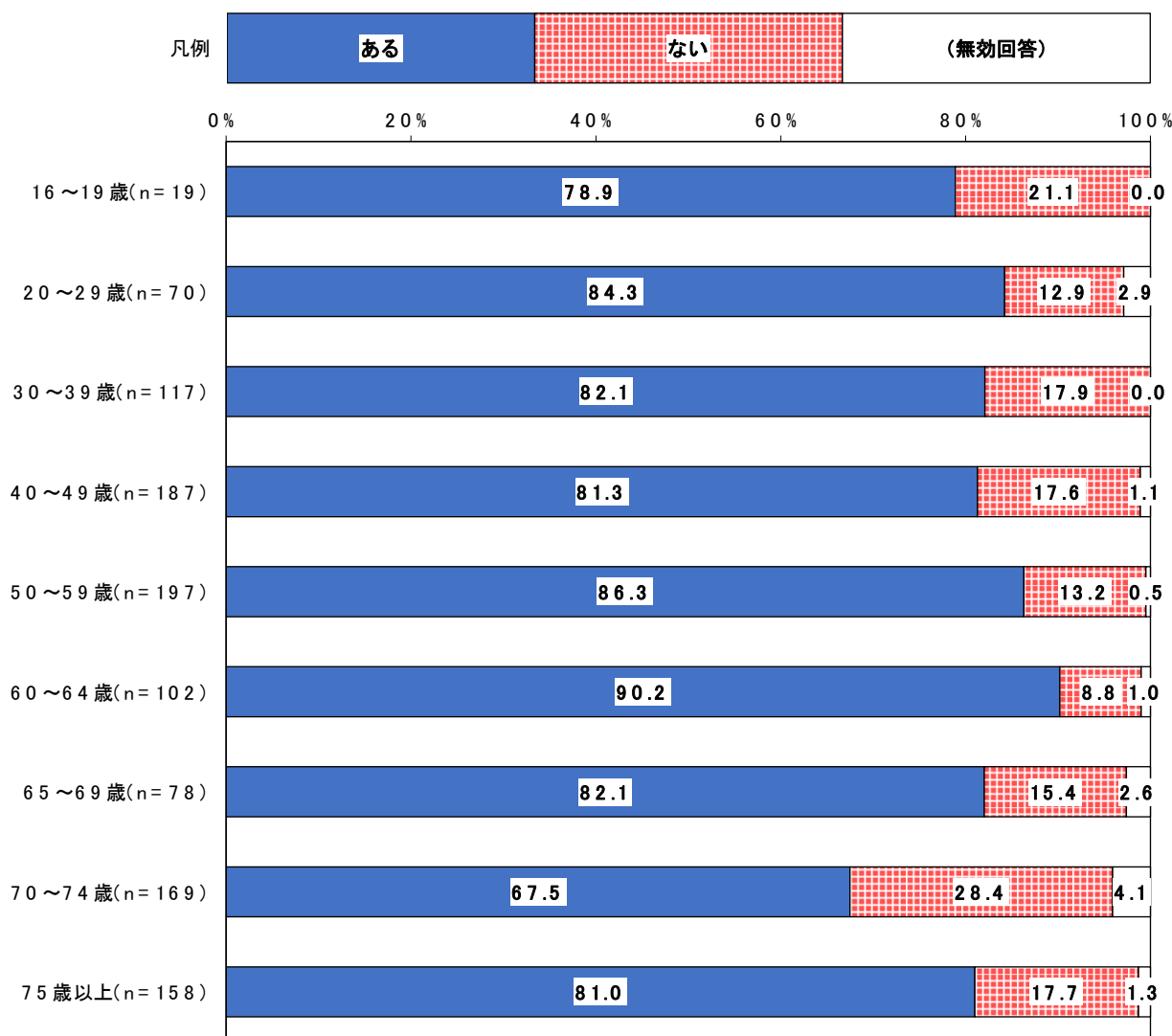
○「ある」(81.0%)は、令和2年度(79.8%)に比べ1.2ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ある」がおおむね70~90%となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

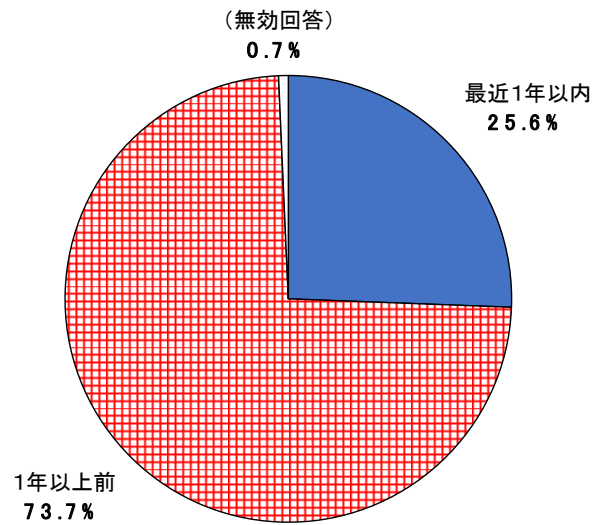
【図表 平和に関する施策についてのご意見・ご提案】(41件)

- ・子供たちへの体験や事実の継承。教育が大切。戦争とはどういうものかをしっかり教育すること。
- ・水木しげるさんの戦争に関する書籍など、積極的に発信すると良いと思う。

問 60-1) 戦争中の話をしたり聞いたりしたのはいつ頃ですか。

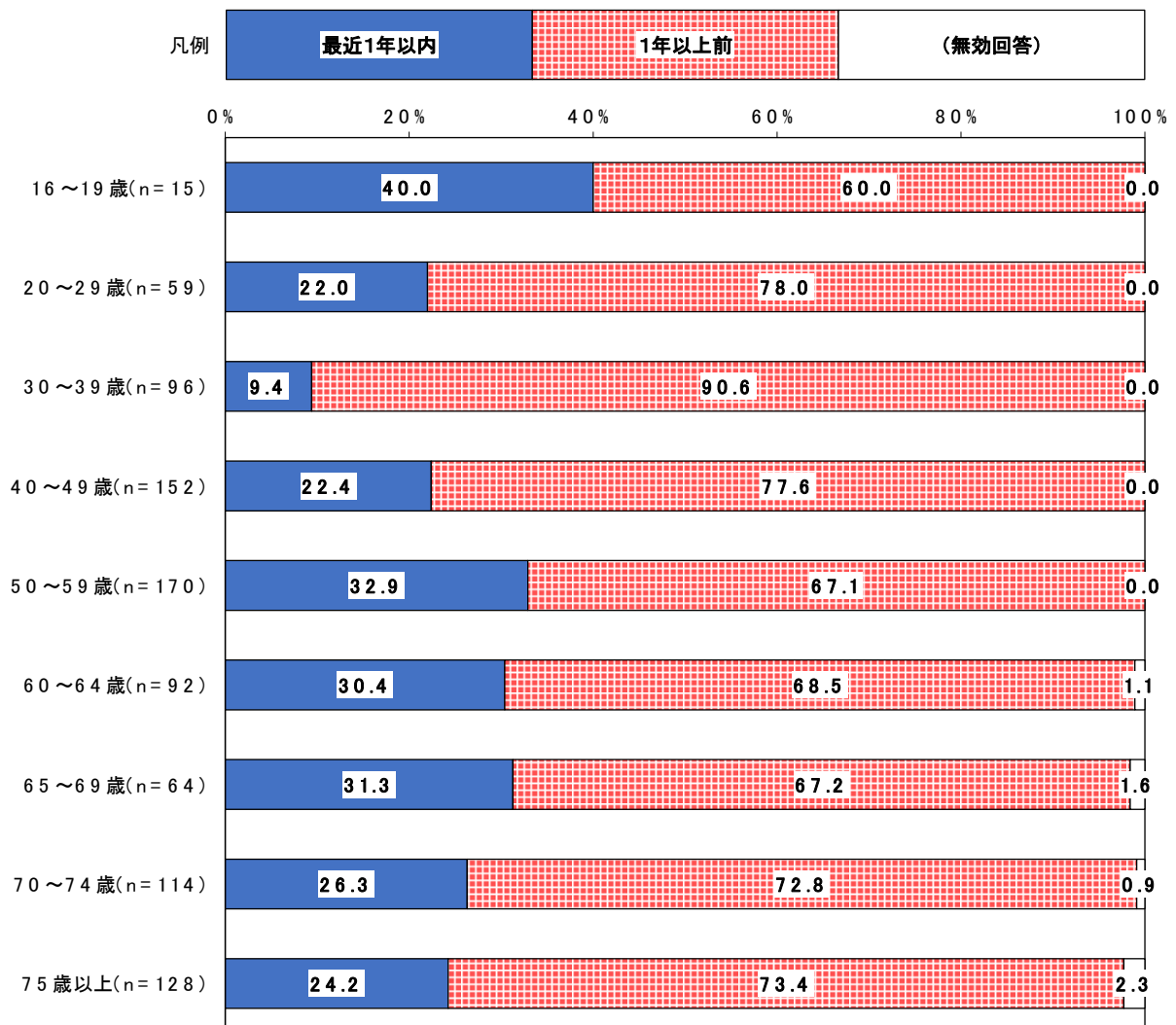
<全体 (n=895) >

○時期については、「最近1年以内」が25.6%、「1年以上前」が73.7%となっています。



<年齢層別>

○「最近1年以内」では、16～19歳が40.0%と最も高く、次いで50～59歳の32.9%、65～69歳の31.3%の順となっています。

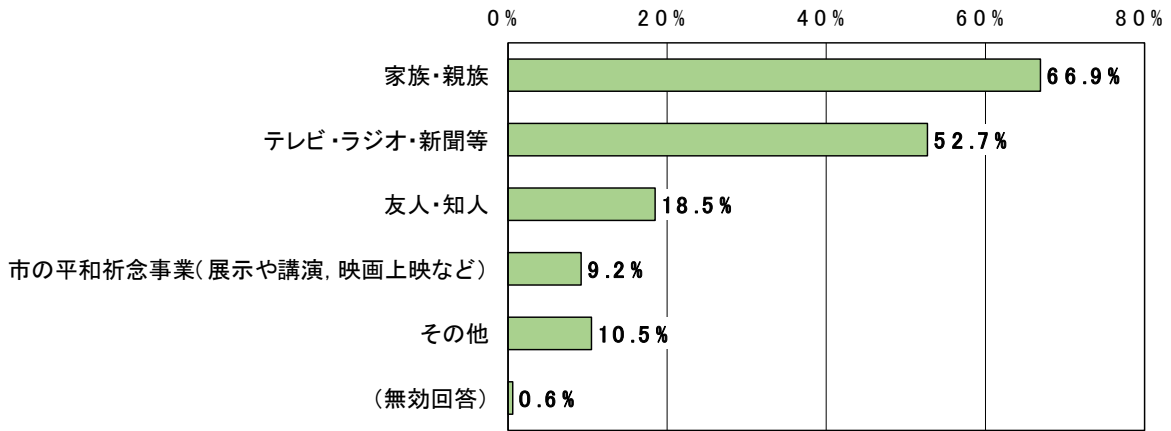


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

問 60-2) それは誰と (誰から) 話をしたり, 聞いたりしましたか。

<全体 (n=895) >

○相手については, 「家族・親族」が66.9%で最も高く, 次いで「テレビ・ラジオ・新聞等」の52.7%, 「友人・知人」の18.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も, 「その他」を除き, 「家族・親族」と「テレビ・ラジオ・新聞等」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 895 | 15 | 59 | 96 | 152 | 170 | 92 | 64 | 114 | 128 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 家族・親族 | 599 | 6 | 28 | 64 | 99 | 113 | 74 | 41 | 81 | 90 |
| | 66.9% | 40.0% | 47.5% | 66.7% | 65.1% | 66.5% | 80.4% | 64.1% | 71.1% | 70.3% |
| テレビ・ラジオ・新聞等 | 472 | 7 | 16 | 45 | 77 | 91 | 54 | 36 | 73 | 69 |
| | 52.7% | 46.7% | 27.1% | 46.9% | 50.7% | 53.5% | 58.7% | 56.3% | 64.0% | 53.9% |
| 友人・知人 | 166 | 3 | 7 | 13 | 15 | 28 | 11 | 18 | 24 | 47 |
| | 18.5% | 20.0% | 11.9% | 13.5% | 9.9% | 16.5% | 12.0% | 28.1% | 21.1% | 36.7% |
| 市の平和祈念事業(展示や講演, 映画上映など) | 82 | 1 | 9 | 11 | 18 | 11 | 8 | 3 | 8 | 13 |
| | 9.2% | 6.7% | 15.3% | 11.5% | 11.8% | 6.5% | 8.7% | 4.7% | 7.0% | 10.2% |
| その他 | 94 | 5 | 19 | 15 | 21 | 11 | 7 | 0 | 7 | 7 |
| | 10.5% | 33.3% | 32.2% | 15.6% | 13.8% | 6.5% | 7.6% | 0.0% | 6.1% | 5.5% |
| (無効回答) | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | 0.6% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 1.6% | 0.9% | 0.8% |

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

※「その他」を除く回答のうち, 割合が高いものに網掛け表示をしています。

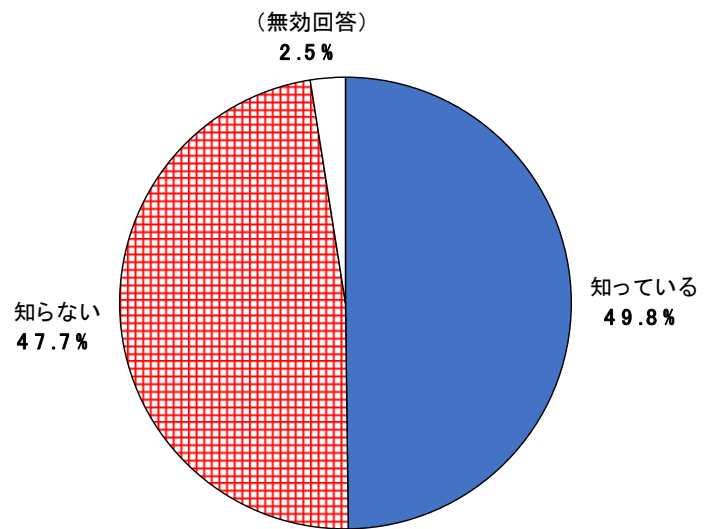
【児童虐待・人権・男女共同参画について】

問 61) あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体 (n=1105)>

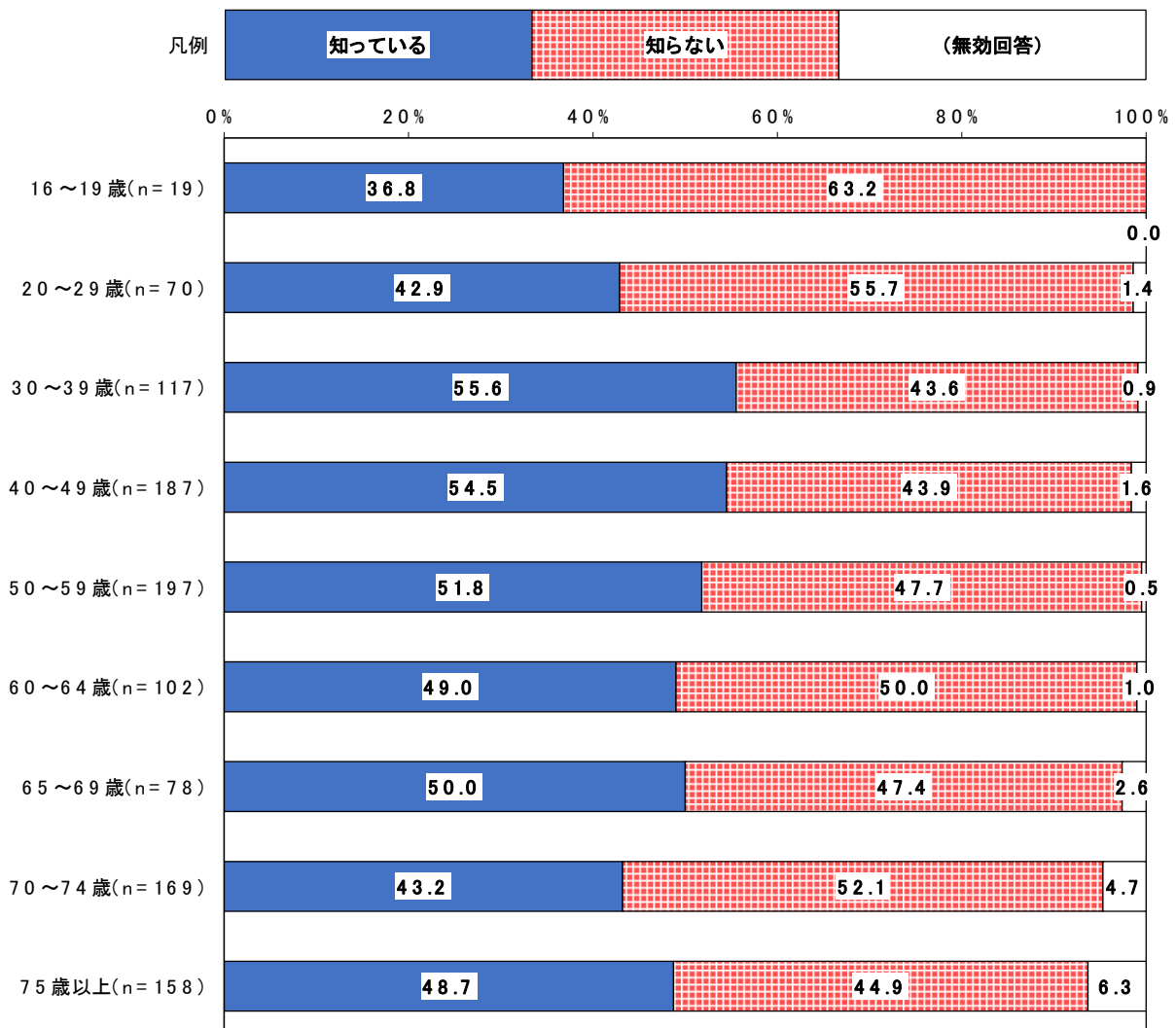
ア 児童虐待に関する相談

○「知っている」は49.8%、「知らない」は47.7%
となっています。



<年齢層別>

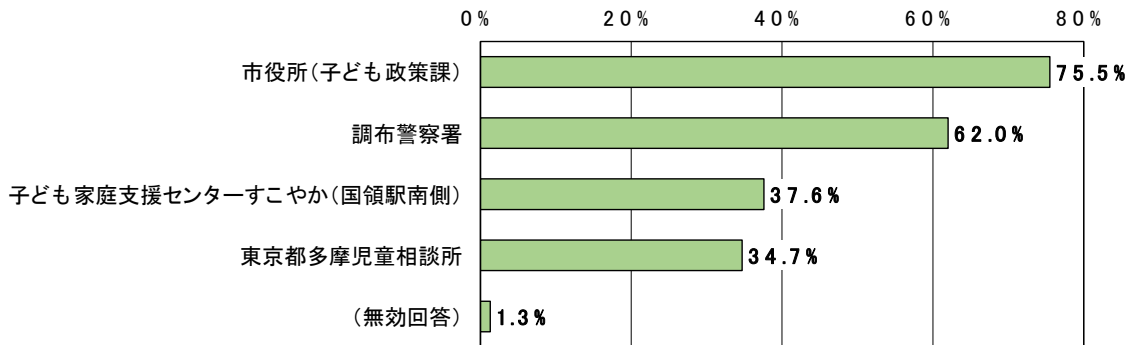
○30～59歳, 65～69歳では「知っている」が50%以上となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<相談窓口 (n=550) >

○「市役所 (子ども政策課)」が 75.5%で最も高く、次いで「調布警察署」の 62.0%、「子ども家庭支援センターすこやか (国領駅南側)」の 37.6%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「市役所 (子ども政策課)」と「調布警察署」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 550 | 7 | 30 | 65 | 102 | 102 | 50 | 39 | 73 | 77 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 市役所 (子ども政策課) | 415 | 5 | 22 | 51 | 78 | 82 | 35 | 23 | 55 | 60 |
| | 75.5% | 71.4% | 73.3% | 78.5% | 76.5% | 80.4% | 70.0% | 59.0% | 75.3% | 77.9% |
| 調布警察署 | 341 | 6 | 22 | 38 | 53 | 64 | 34 | 30 | 51 | 41 |
| | 62.0% | 85.7% | 73.3% | 58.5% | 52.0% | 62.7% | 68.0% | 76.9% | 69.9% | 53.2% |
| 子ども家庭支援センターすこやか (国領駅南側) | 207 | 3 | 8 | 31 | 50 | 39 | 10 | 13 | 22 | 27 |
| | 37.6% | 42.9% | 26.7% | 47.7% | 49.0% | 38.2% | 20.0% | 33.3% | 30.1% | 35.1% |
| 東京都多摩児童相談所 | 191 | 2 | 14 | 24 | 29 | 37 | 19 | 14 | 25 | 25 |
| | 34.7% | 28.6% | 46.7% | 36.9% | 28.4% | 36.3% | 38.0% | 35.9% | 34.2% | 32.5% |
| (無効回答) | 7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.0% | 0.0% | 2.0% | 2.6% | 0.0% | 3.9% |

(上段：実数 (人)，下段：構成比)

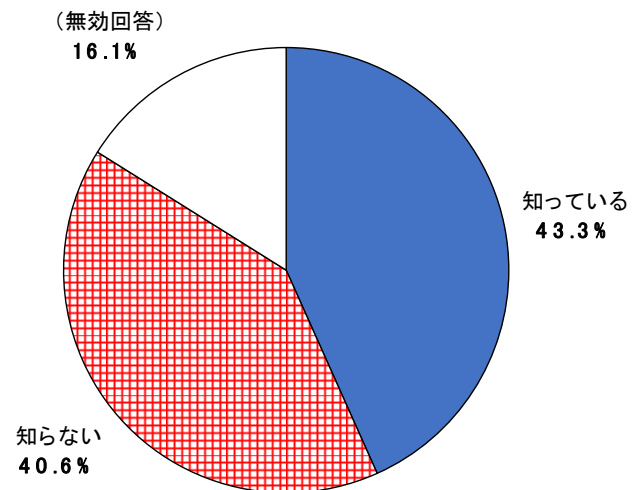
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

イ DV（ドメスティックバイオレンス）に関する相談

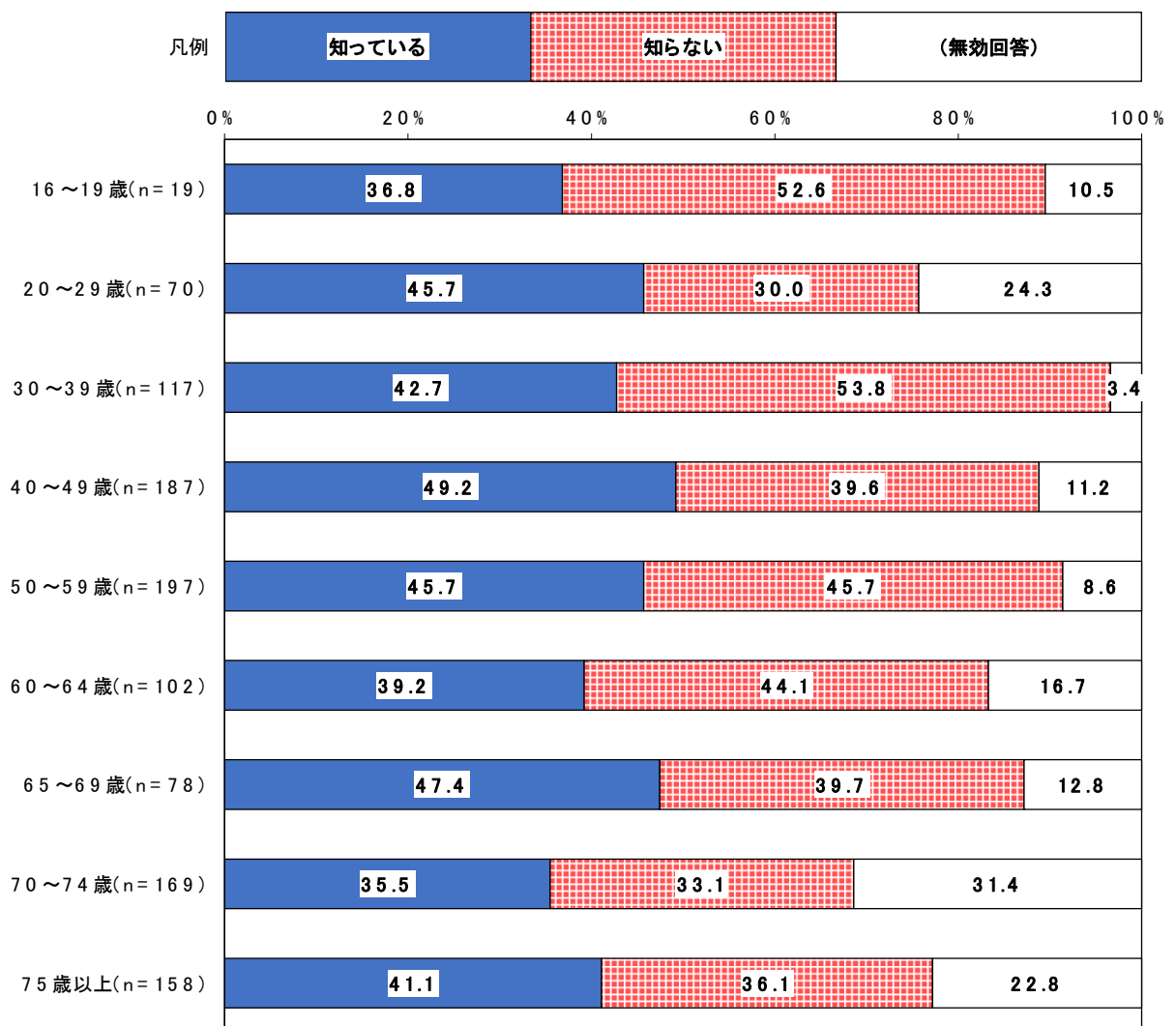
<全体（n=1105）>

○「知っている」は43.3%、「知らない」は40.6%
 となっています。



<年齢層別>

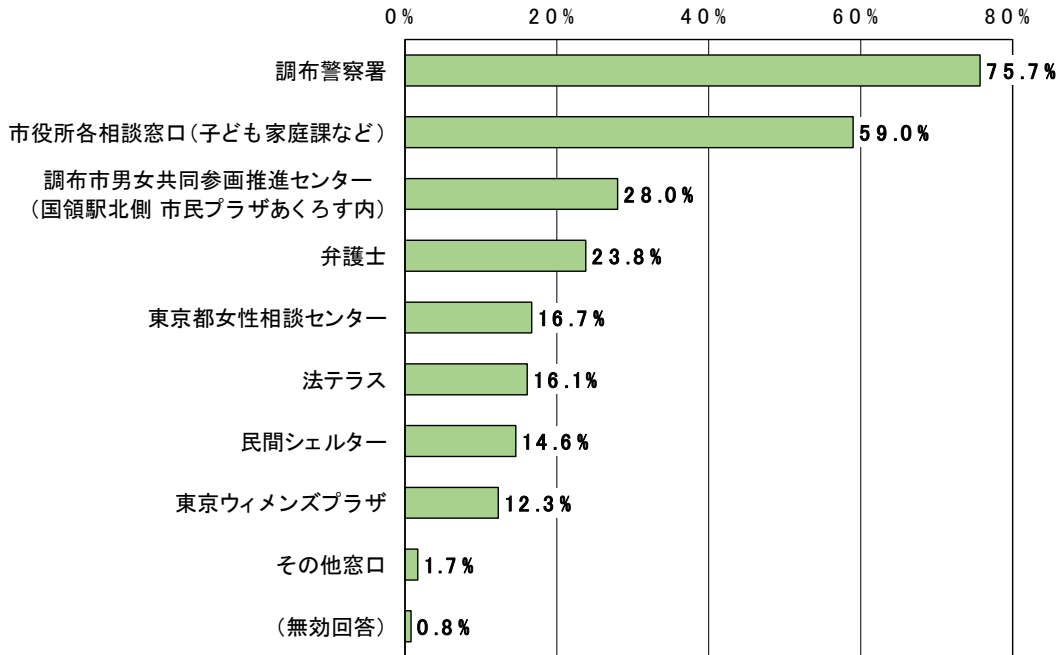
○20～29歳，40～49歳，65歳以上では「知っている」が「知らない」を上回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<相談窓口 (n=478) >

○「調布警察署」が75.7%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」の59.0%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層もおおむね「調布警察署」と「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 478 | 7 | 32 | 50 | 92 | 90 | 40 | 37 | 60 | 65 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 調布警察署 | 362 | 7 | 22 | 41 | 67 | 67 | 33 | 29 | 48 | 44 |
| | 75.7% | 100.0% | 68.8% | 82.0% | 72.8% | 74.4% | 82.5% | 78.4% | 80.0% | 67.7% |
| 市役所各相談窓口(子ども家庭課など) | 282 | 2 | 13 | 33 | 51 | 56 | 22 | 17 | 40 | 44 |
| | 59.0% | 28.6% | 40.6% | 66.0% | 55.4% | 62.2% | 55.0% | 45.9% | 66.7% | 67.7% |
| 調布市男女共同参画推進センター(国領駅北側 市民プラザあくろす内) | 134 | 2 | 9 | 15 | 23 | 23 | 9 | 11 | 19 | 20 |
| | 28.0% | 28.6% | 28.1% | 30.0% | 25.0% | 25.6% | 22.5% | 29.7% | 31.7% | 30.8% |
| 弁護士 | 114 | 3 | 7 | 12 | 30 | 28 | 10 | 4 | 4 | 15 |
| | 23.8% | 42.9% | 21.9% | 24.0% | 32.6% | 31.1% | 25.0% | 10.8% | 6.7% | 23.1% |
| 東京都女性相談センター | 80 | 0 | 3 | 13 | 19 | 7 | 10 | 7 | 8 | 12 |
| | 16.7% | 0.0% | 9.4% | 26.0% | 20.7% | 7.8% | 25.0% | 18.9% | 13.3% | 18.5% |
| 法テラス | 77 | 2 | 5 | 10 | 10 | 23 | 6 | 2 | 5 | 12 |
| | 16.1% | 28.6% | 15.6% | 20.0% | 10.9% | 25.6% | 15.0% | 5.4% | 8.3% | 18.5% |
| 民間シェルター | 70 | 1 | 1 | 10 | 14 | 20 | 6 | 4 | 5 | 9 |
| | 14.6% | 14.3% | 3.1% | 20.0% | 15.2% | 22.2% | 15.0% | 10.8% | 8.3% | 13.8% |
| 東京ウィメンズプラザ | 59 | 1 | 0 | 8 | 11 | 16 | 6 | 6 | 1 | 9 |
| | 12.3% | 14.3% | 0.0% | 16.0% | 12.0% | 17.8% | 15.0% | 16.2% | 1.7% | 13.8% |
| その他窓口 | 8 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 1.7% | 0.0% | 6.3% | 2.0% | 1.1% | 1.1% | 2.5% | 0.0% | 0.0% | 1.5% |
| (無効回答) | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 0.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.1% | 0.0% | 2.5% | 0.0% | 0.0% | 3.1% |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



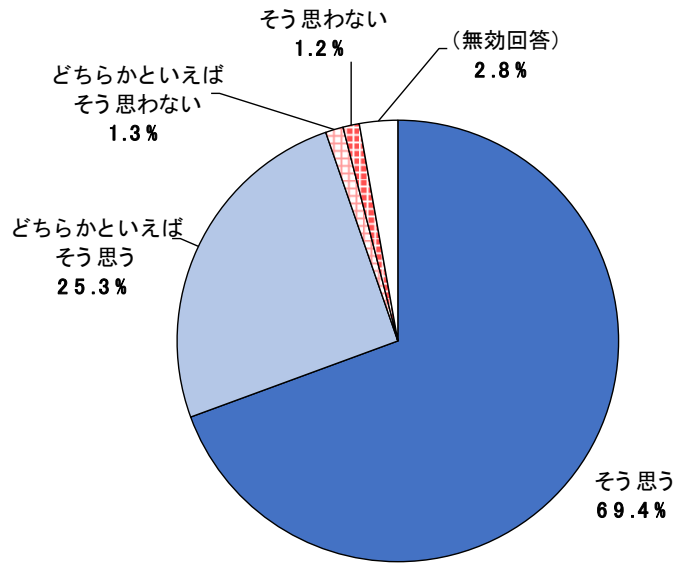
回答割合が2番目に高い：



問 62) あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

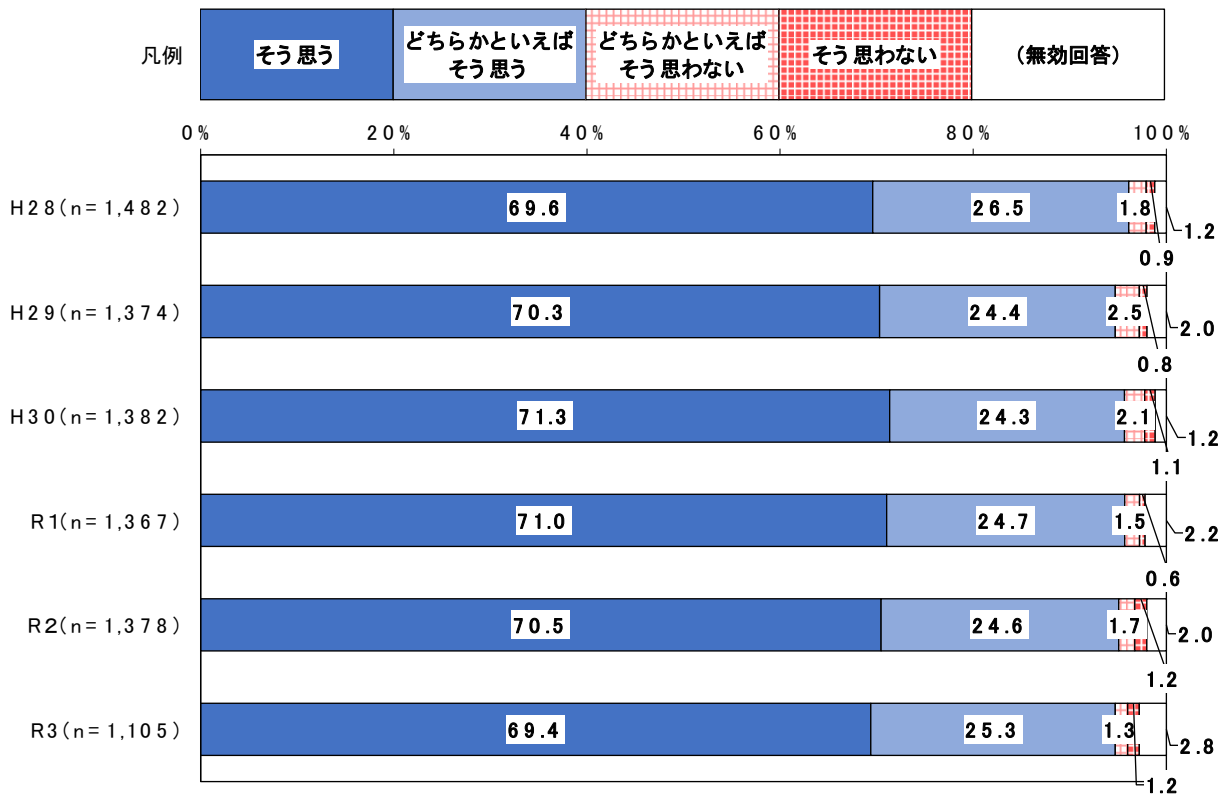
<全体 (n=1105) >

○「そう思う」が 69.4%、「どちらかといえばそう思う」が 25.3%で、合計 94.7%を占めています。



<経年比較>

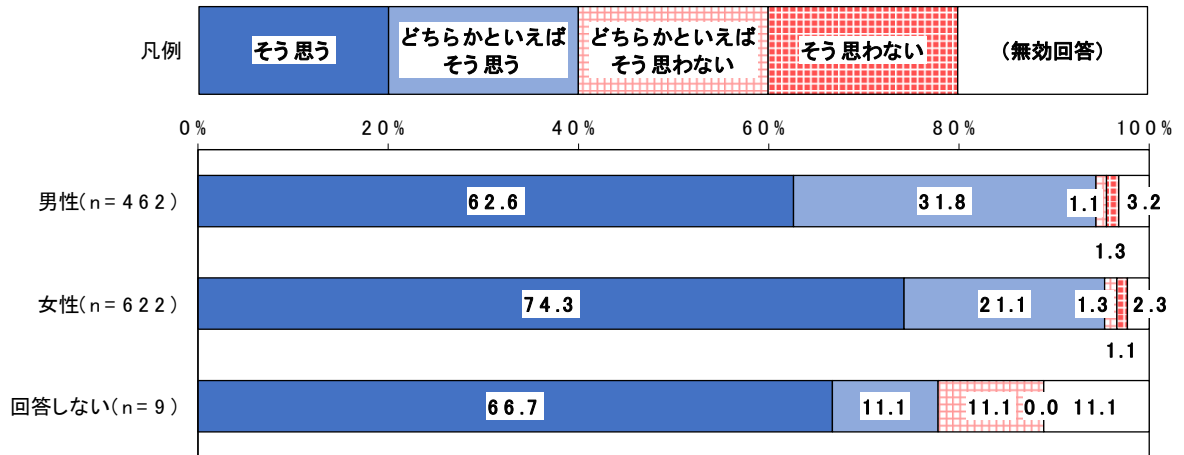
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降、一貫して 95%前後で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

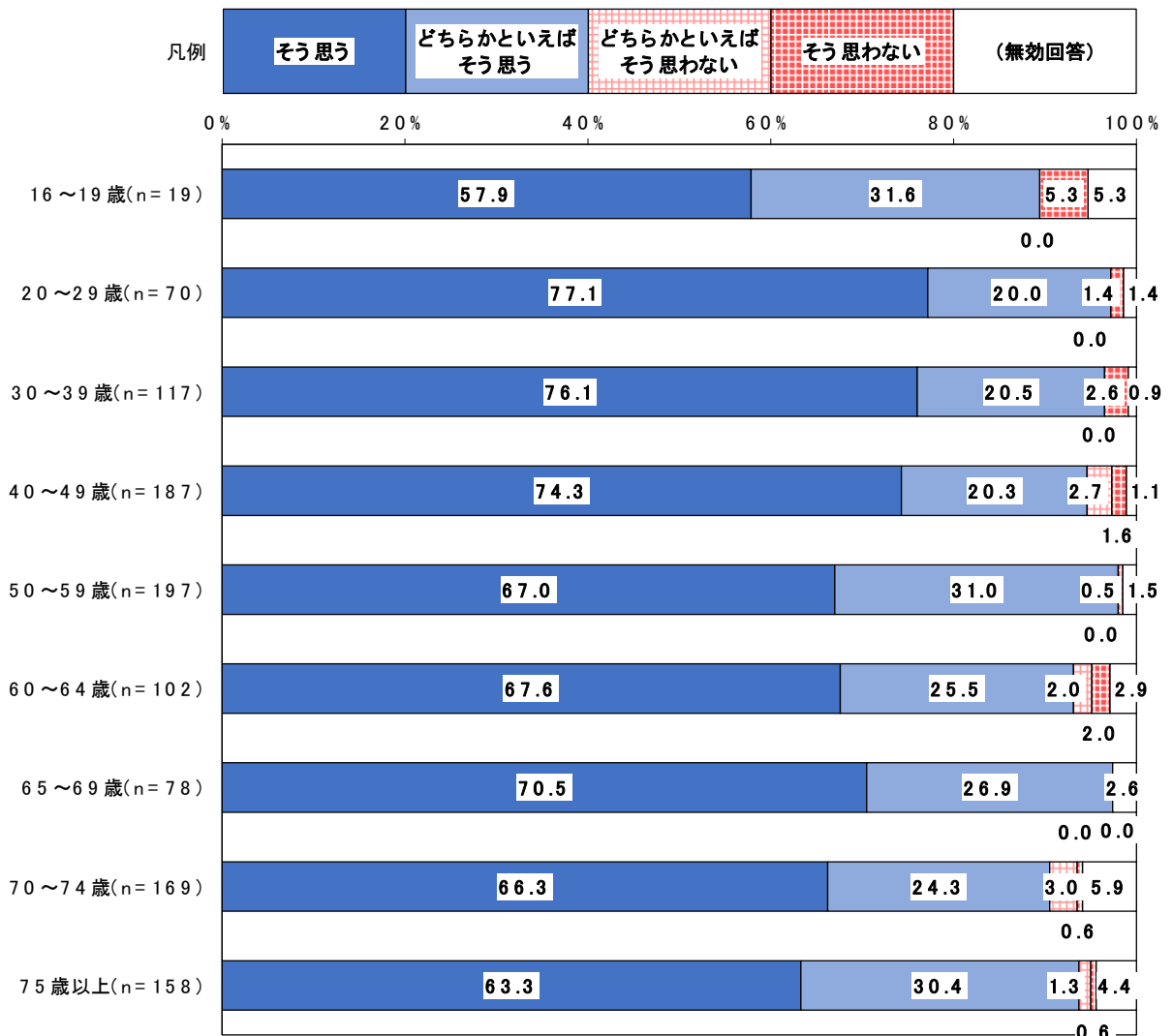
<性別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が94.4%、女性が95.4%となっています。



<年齢層別>

○16～19歳を除き、いずれの年齢層でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が90%台となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

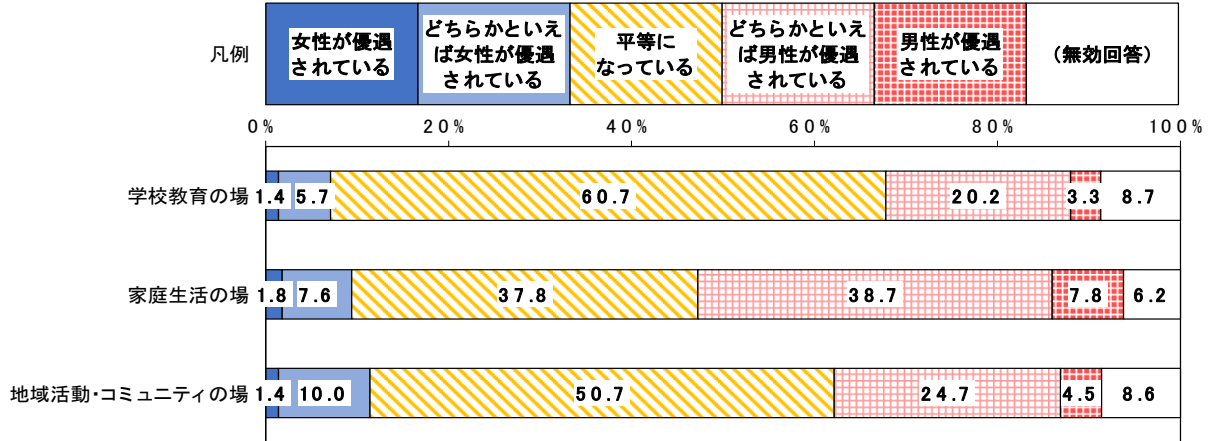
【図表 人権・男女共同参画に関する施策についてのご意見・ご提案】(54件)

- ・ 企業など勤務先での周知・教育・理解促進。
- ・ 子供の頃からの教育が必須。大人になってからは固定観念がこびりついている。

問 63) 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。

<全体 (n=1105) >

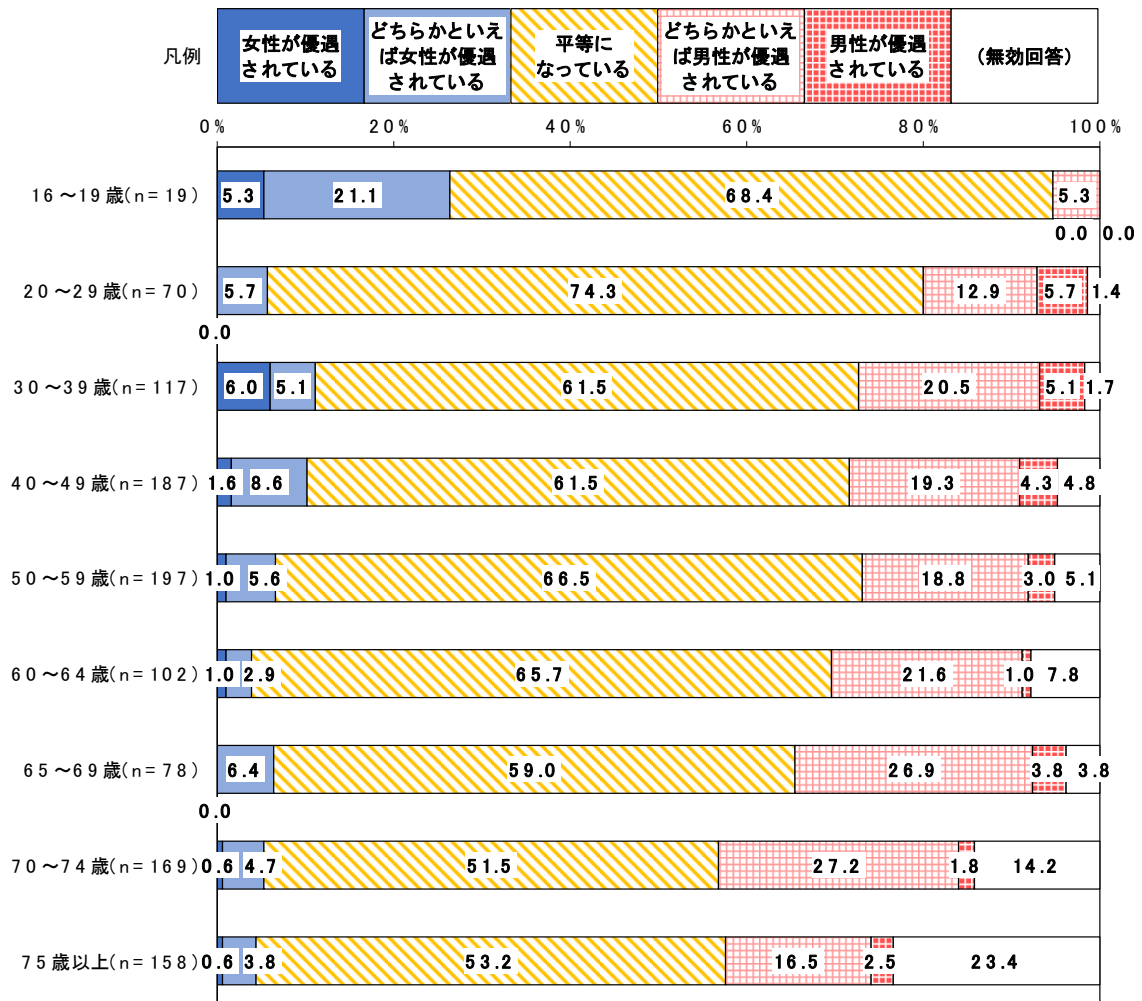
○「学校教育の場」及び「地域活動・コミュニティの場」では「平等になっている」が半数を超えています。一方、「家庭生活の場」では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 38.7%で最も高くなっています。



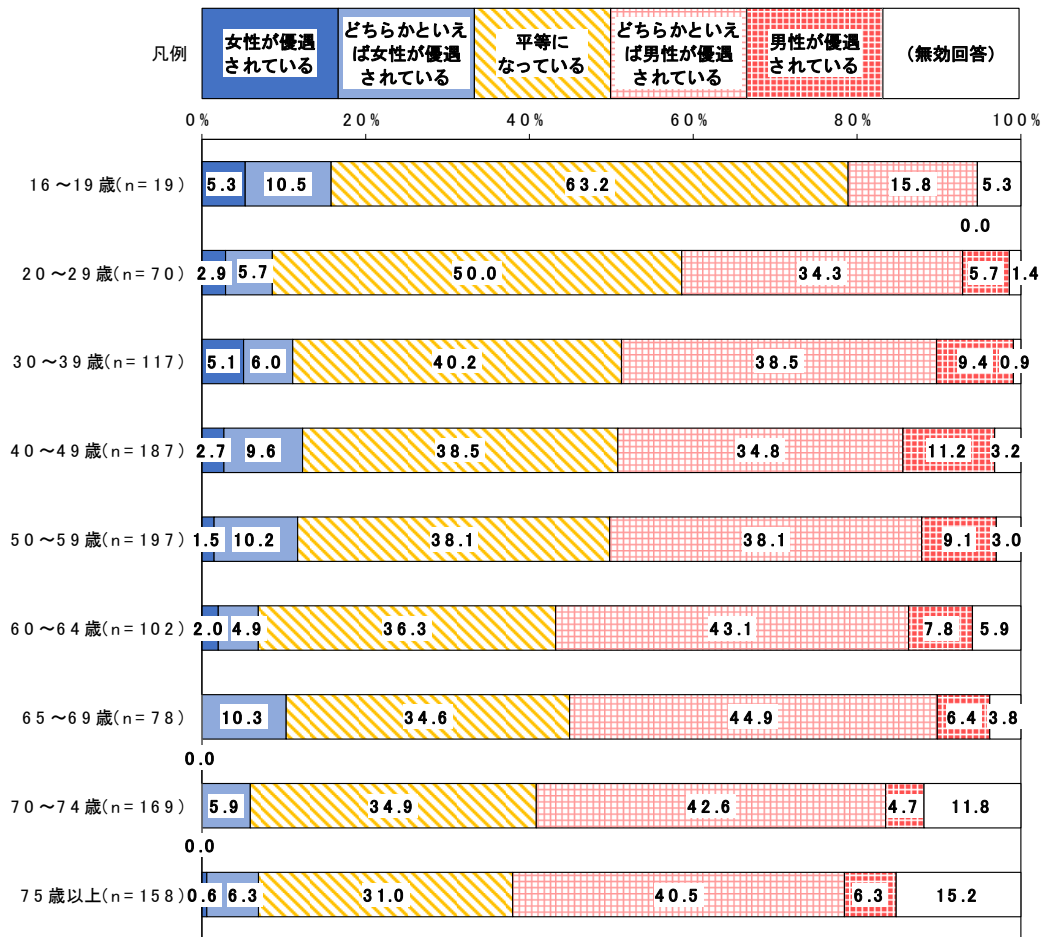
<年齢層別>

○16～19歳を除き、いずれの場面も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っています。

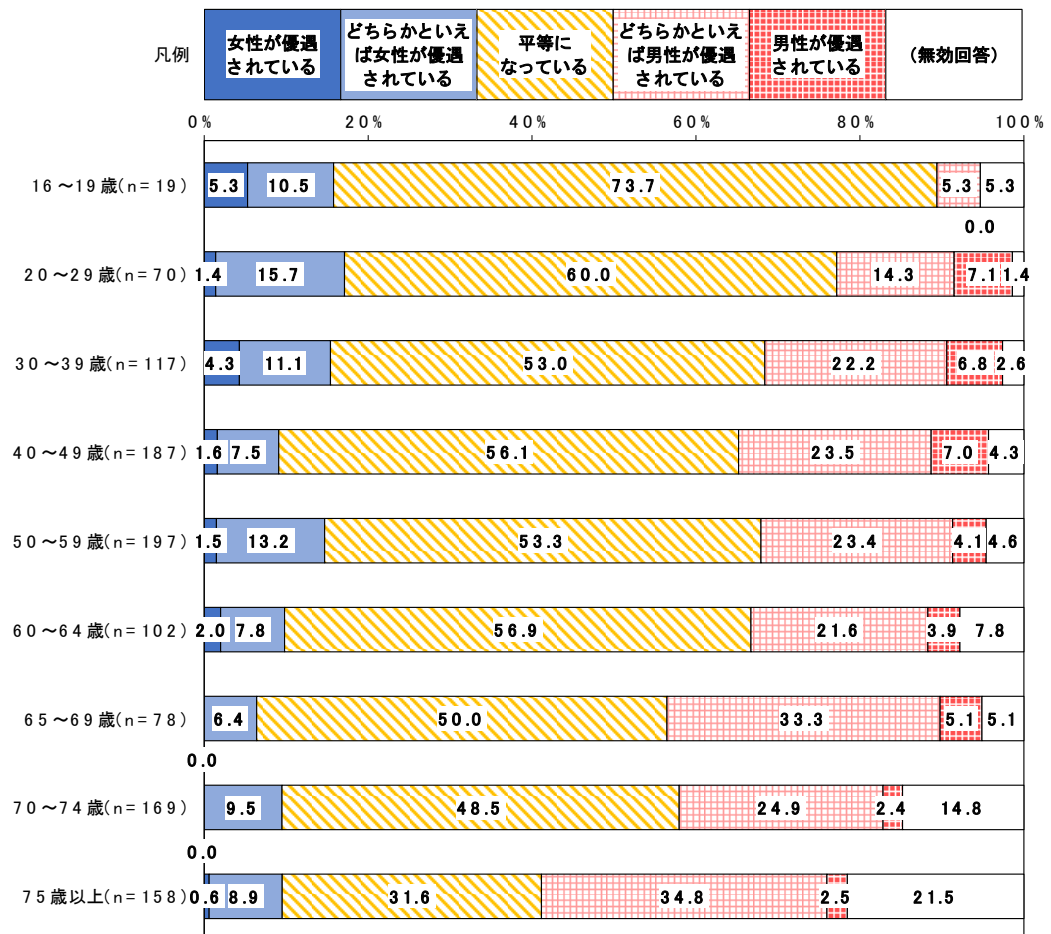
学校教育の場



家庭生活の場



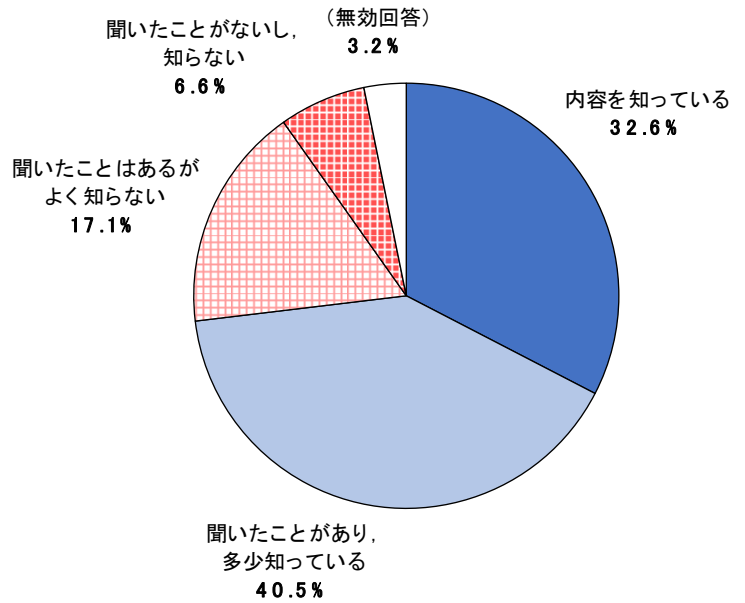
地域活動・コミュニティの場



問 64) あなたは、多様な性に関してLGBTやSOGIという言葉を知っていますか。

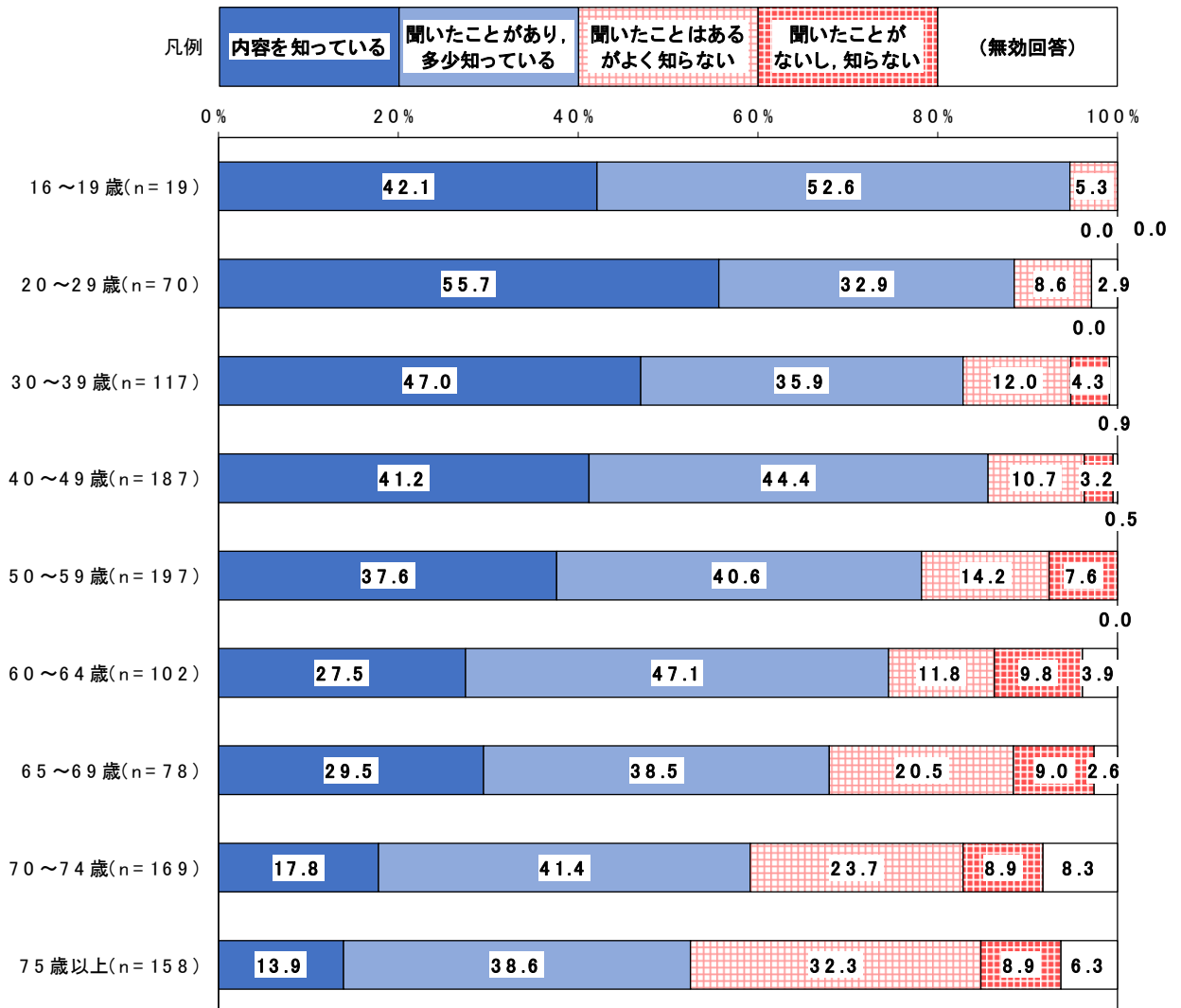
<全体 (n=1105) >

○「内容を知っている」が32.6%、「聞いたことがあります、多少知っている」が40.5%で、合計73.1%を占めています。



<年齢層別>

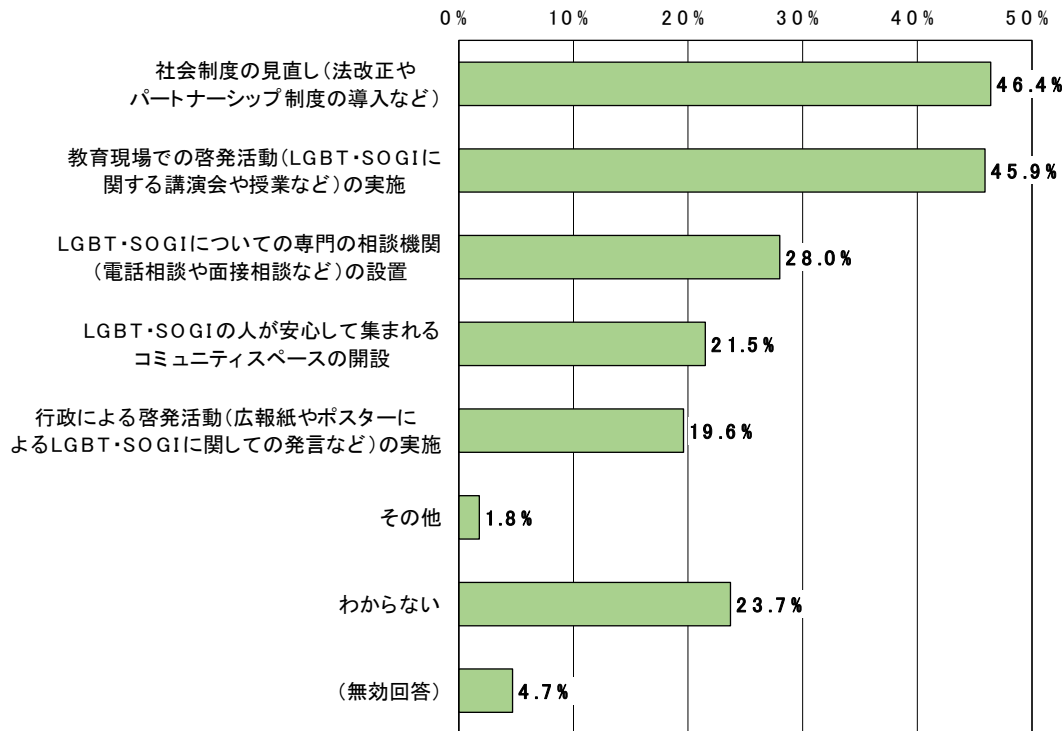
○「内容を知っている」と「聞いたことがあります、多少知っている」の合計は、65歳未満の年齢層でいずれも70%以上となっています。



問 65) あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。

<全体 (n=1105) >

○「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の導入など）」が46.4%で最も高く、次いで「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施」の45.9%、「LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の設置」の28.0%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、必要な取組として「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の導入など）」、「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|---|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| 社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の導入など） | 513 | 9 | 47 | 60 | 93 | 100 | 48 | 31 | 72 | 52 |
| 教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施 | 507 | 5 | 32 | 56 | 101 | 87 | 45 | 34 | 78 | 67 |
| LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の設置 | 309 | 4 | 21 | 32 | 60 | 61 | 32 | 23 | 42 | 33 |
| LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設 | 238 | 5 | 27 | 24 | 48 | 39 | 16 | 21 | 32 | 24 |
| 行政による啓発活動（広報紙やポスターによるLGBT・SOGIについての発言など）の実施 | 217 | 1 | 11 | 19 | 34 | 33 | 18 | 19 | 40 | 41 |
| その他 | 20 | 0 | 2 | 3 | 5 | 2 | 2 | 0 | 5 | 1 |
| わからない | 262 | 5 | 7 | 24 | 33 | 49 | 27 | 21 | 43 | 50 |
| (無効回答) | 52 | 1 | 2 | 2 | 5 | 0 | 3 | 3 | 16 | 18 |

(上段：実数（人），下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

※必要と思われる取組を回答したうち、割合が高いものに網掛け表示をしています。

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 上記の取組が必要だと思う理由】(115件)

- ・生きにくさを感じる人が1人でも減ってほしいからです。
- ・多様性が当たり前の社会になるまでには、まだ時間がかかると思うので、それまで行政が積極的に、市民の意識を高めるよう牽引して欲しい。
- ・パートナーシップは良いと思う。命とか財産とかその人にとって大切な人と共有できるとよい。

【図表 多様な性に対する理解の促進に関する施策についてのご意見・ご提案】(49件)

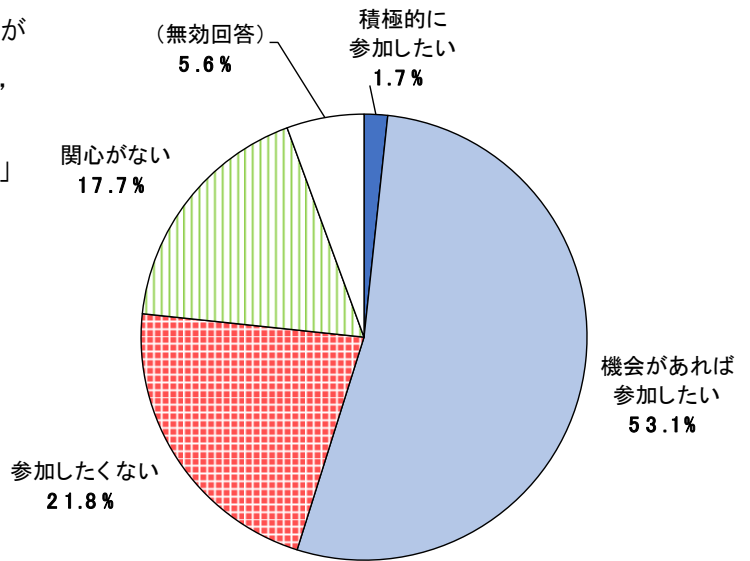
- ・学校教育で先生が生徒へ正しく伝えるための先生や指導者への教育。先生や指導者では限界があるのならば専門家の講義を依頼する。
- ・LGBTの方の意見を聞く機会を設けるべき。

【市政等の情報について】

問 66) あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。

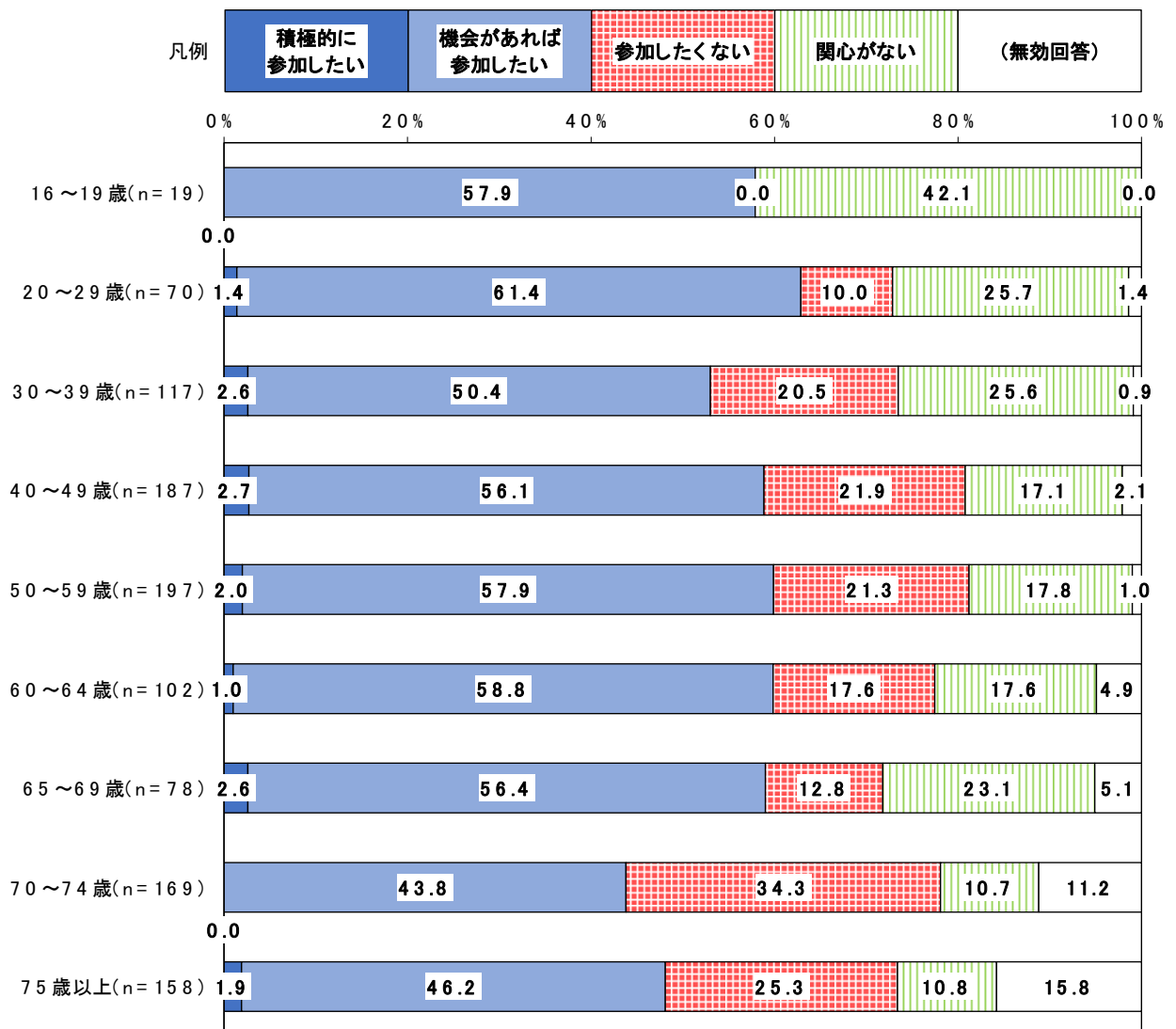
<全体 (n=1105) >

- 「積極的に参加したい」の1.7%と「機会があれば参加したい」の53.1%の合計は、54.8%を占めています。
- 「参加したくない」は21.8%、「関心がない」は17.7%となっています。



<年齢層別>

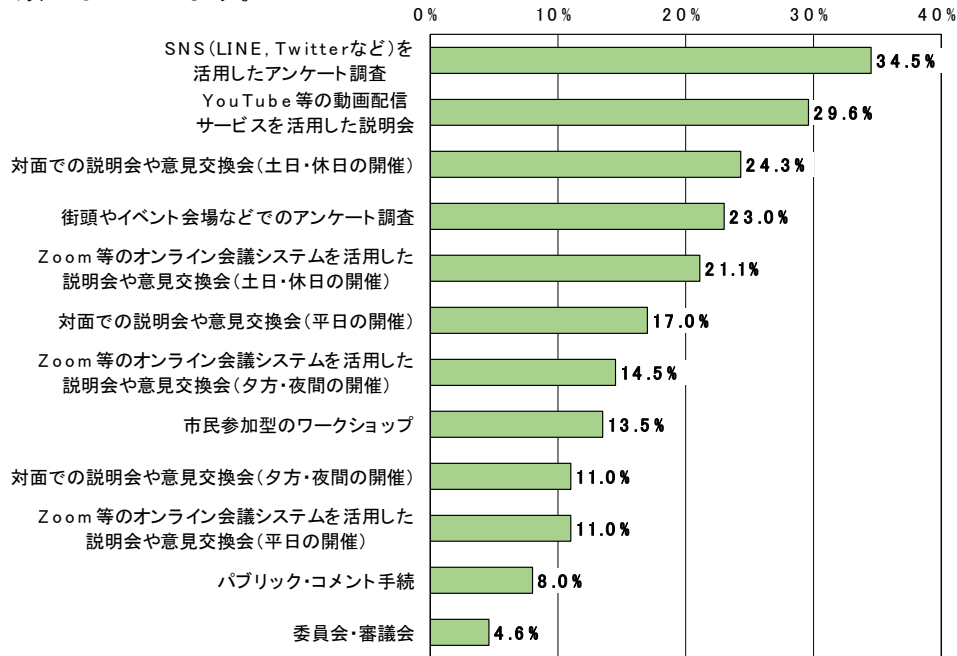
○「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、70歳以上で半数を下回っています。



問 67) あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。

<全体 (n=1105) >

○「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」が 34.5%で最も高く、次いで「YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会」の 29.6%, 「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」の 24.3%の順となっています。



<年齢層別>

○16～59 歳では、「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」や「YouTube などの動画配信サービスを活用した説明会」、60 歳以上では、「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」や「対面での説明会や意見交換会 (平日の開催)」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査☑ | 381 | 11 | 43 | 68 | 97 | 78 | 30 | 17 | 24 | 9 |
| | 34.5% | 57.9% | 61.4% | 58.1% | 51.9% | 39.6% | 29.4% | 21.8% | 14.2% | 5.7% |
| YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会☑ | 327 | 8 | 33 | 48 | 72 | 83 | 26 | 15 | 22 | 17 |
| | 29.6% | 42.1% | 47.1% | 41.0% | 38.5% | 42.1% | 25.5% | 19.2% | 13.0% | 10.8% |
| ☑面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催) ☑ | 269 | 6 | 27 | 32 | 43 | 56 | 31 | 16 | 25 | 32 |
| | 24.3% | 31.6% | 38.6% | 27.4% | 23.0% | 28.4% | 30.4% | 20.5% | 14.8% | 20.3% |
| 街頭やイベント会場などでのアンケート調査☑ | 254 | 6 | 17 | 36 | 41 | 54 | 21 | 16 | 32 | 26 |
| | 23.0% | 31.6% | 24.3% | 30.8% | 21.9% | 27.4% | 20.6% | 20.5% | 18.9% | 16.5% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (土日・休日の開催) ☑ | 233 | 7 | 24 | 32 | 51 | 58 | 20 | 13 | 12 | 15 |
| | 21.1% | 36.8% | 34.3% | 27.4% | 27.3% | 29.4% | 19.6% | 16.7% | 7.1% | 9.5% |
| 対面での説明会や意見交換会 (平日の開催) ☑ | 188 | 0 | 7 | 9 | 22 | 23 | 13 | 18 | 49 | 44 |
| | 17.0% | 0.0% | 10.0% | 7.7% | 11.8% | 11.7% | 12.7% | 23.1% | 29.0% | 27.8% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催) ☑ | 160 | 2 | 21 | 26 | 39 | 40 | 16 | 4 | 7 | 4 |
| | 14.5% | 10.5% | 30.0% | 22.2% | 20.9% | 20.3% | 15.7% | 5.1% | 4.1% | 2.5% |
| 市民参加型のワークショップ | 149 | 1 | 13 | 19 | 24 | 25 | 18 | 10 | 16 | 20 |
| | 13.5% | 5.3% | 18.6% | 16.2% | 12.8% | 12.7% | 17.6% | 12.8% | 9.5% | 12.7% |
| ☑面での説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催) ☑ | 121 | 2 | 17 | 15 | 22 | 31 | 12 | 7 | 7 | 8 |
| | 11.0% | 10.5% | 24.3% | 12.8% | 11.8% | 15.7% | 11.8% | 9.0% | 4.1% | 5.1% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (平日の開催) ☑ | 121 | 0 | 11 | 10 | 19 | 15 | 12 | 10 | 21 | 22 |
| | 11.0% | 0.0% | 15.7% | 8.5% | 10.2% | 7.6% | 11.8% | 12.8% | 12.4% | 13.9% |
| パブリック・コメント手続☑ | 88 | 1 | 6 | 12 | 18 | 18 | 6 | 1 | 12 | 14 |
| | 8.0% | 5.3% | 8.6% | 10.3% | 9.6% | 9.1% | 5.9% | 1.3% | 7.1% | 8.9% |
| 委員会・審議会☑ | 51 | 1 | 5 | 6 | 6 | 9 | 3 | 1 | 9 | 11 |
| | 4.6% | 5.3% | 7.1% | 5.1% | 3.2% | 4.6% | 2.9% | 1.3% | 5.3% | 7.0% |
| (無効回答) | 307 | 4 | 14 | 22 | 37 | 38 | 27 | 21 | 71 | 70 |
| | 27.8% | 21.1% | 20.0% | 18.8% | 19.8% | 19.3% | 26.5% | 26.9% | 42.0% | 44.3% |

(上段: 実数 (人), 下段: 構成比)

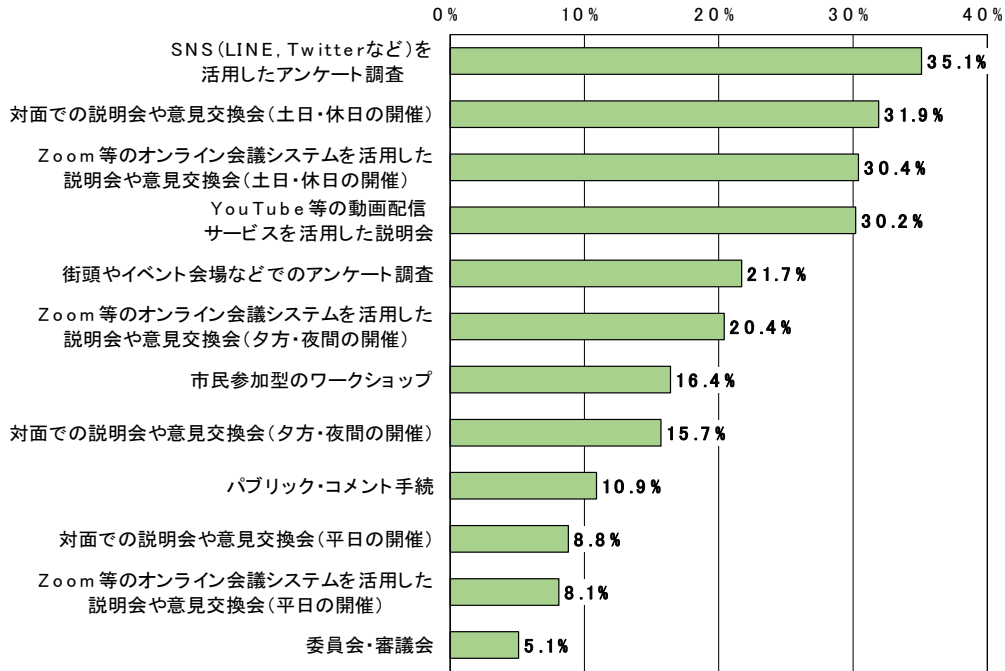
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 67) (続き) あなたは、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。

<全体 (n=1105) >

○「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」が 35.1%で最も高く、次いで「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」の 31.9%、「Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」の 30.4%の順となっています。



<年齢層別>

○16~59 歳では、「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」、60 歳以上では、「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> | 388 | 11 | 41 | 53 | 100 | 93 | 29 | 19 | 26 | 14 |
| | 35.1% | 57.9% | 58.6% | 45.3% | 53.5% | 47.2% | 28.4% | 24.4% | 15.4% | 8.9% |
| 対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 352 | 6 | 31 | 35 | 61 | 82 | 35 | 21 | 38 | 39 |
| | 31.9% | 31.6% | 44.3% | 29.9% | 32.6% | 41.6% | 34.3% | 26.9% | 22.5% | 24.7% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (土日・休日の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 336 | 5 | 32 | 37 | 66 | 86 | 25 | 18 | 31 | 33 |
| | 30.4% | 26.3% | 45.7% | 31.6% | 35.3% | 43.7% | 24.5% | 23.1% | 18.3% | 20.9% |
| YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会 <input checked="" type="checkbox"/> | 334 | 10 | 33 | 46 | 68 | 83 | 27 | 19 | 26 | 19 |
| | 30.2% | 52.6% | 47.1% | 39.3% | 36.4% | 42.1% | 26.5% | 24.4% | 15.4% | 12.0% |
| 街頭やイベント会場などでのアンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> | 240 | 5 | 19 | 29 | 43 | 59 | 24 | 13 | 28 | 18 |
| | 21.7% | 26.3% | 27.1% | 24.8% | 23.0% | 29.9% | 23.5% | 16.7% | 16.6% | 11.4% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 225 | 1 | 26 | 24 | 58 | 57 | 19 | 9 | 15 | 13 |
| | 20.4% | 5.3% | 37.1% | 20.5% | 31.0% | 28.9% | 18.6% | 11.5% | 8.9% | 8.2% |
| 市民参加型のワークショップ | 181 | 4 | 17 | 16 | 28 | 41 | 19 | 8 | 24 | 22 |
| | 16.4% | 21.1% | 24.3% | 13.7% | 15.0% | 20.8% | 18.6% | 10.3% | 14.2% | 13.9% |
| 対面での説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 174 | 1 | 20 | 14 | 39 | 41 | 17 | 7 | 17 | 15 |
| | 15.7% | 5.3% | 28.6% | 12.0% | 20.9% | 20.8% | 16.7% | 9.0% | 10.1% | 9.5% |
| パブリック・コメント手続 <input checked="" type="checkbox"/> | 120 | 3 | 9 | 12 | 19 | 27 | 8 | 4 | 22 | 15 |
| | 10.9% | 15.8% | 12.9% | 10.3% | 10.2% | 13.7% | 7.8% | 5.1% | 13.0% | 9.5% |
| 対面での説明会や意見交換会 (平日の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 97 | 1 | 6 | 12 | 25 | 18 | 12 | 2 | 7 | 14 |
| | 8.8% | 5.3% | 8.6% | 10.3% | 13.4% | 9.1% | 11.8% | 2.6% | 4.1% | 8.9% |
| Zoom 等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (平日の開催) <input checked="" type="checkbox"/> | 89 | 0 | 10 | 9 | 25 | 19 | 7 | 3 | 5 | 10 |
| | 8.1% | 0.0% | 14.3% | 7.7% | 13.4% | 9.6% | 6.9% | 3.8% | 3.0% | 6.3% |
| 委員会・審議会 <input checked="" type="checkbox"/> | 56 | 0 | 5 | 6 | 8 | 11 | 7 | 3 | 8 | 8 |
| | 5.1% | 0.0% | 7.1% | 5.1% | 4.3% | 5.6% | 6.9% | 3.8% | 4.7% | 5.1% |
| (無効回答) | 378 | 4 | 9 | 31 | 41 | 46 | 35 | 29 | 91 | 90 |
| | 34.2% | 21.1% | 12.9% | 26.5% | 21.9% | 23.4% | 34.3% | 37.2% | 53.8% | 57.0% |

(上段：実数 (人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 上記のように思う理由】(73件)

- ・ SNSは手軽に意見を言える。若い世代の意見を得やすい。
- ・ 若者や働く世代に意見を求めるならば夕方～夜もしくは休日の開催が妥当だと思います。
- ・ それぞれの世代ニーズに合う方法が必要かと思う。
- ・ より多くの市民の意見を聞くには、様々なツールで、意見を聞ける態勢をとる必要があると考えるので。

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 住民参加の取組に関する施策についてのご意見・ご提案】(43件)

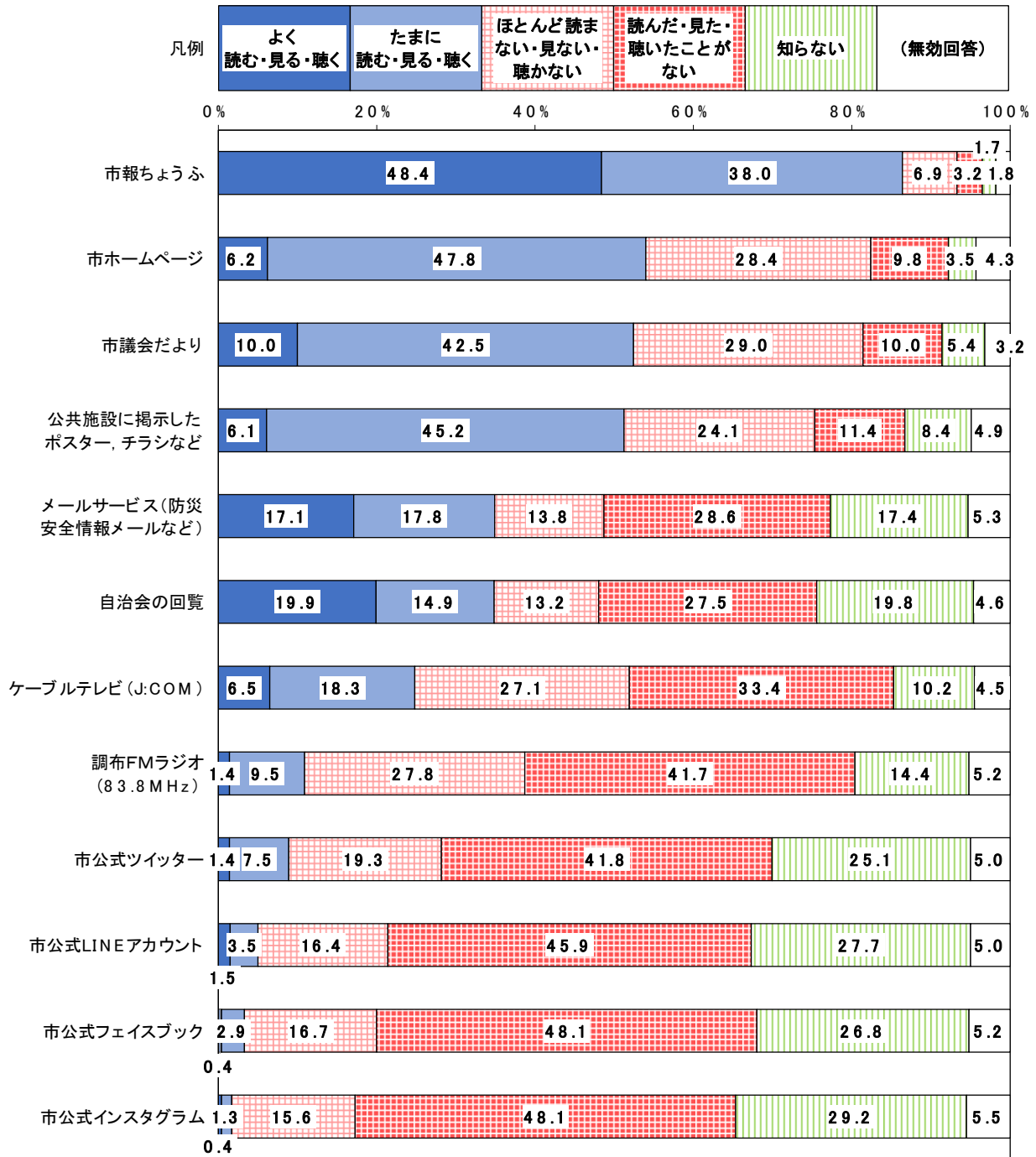
- ・ オンラインでの意見交換やSNSを活用したアンケートをどんどんやるべき。
- ・ 各年齢層によって、活動できる時間や日(平日や休日)がちがうので、どの年齢層の意見を知りたいかで、参加手法を考えてみては。

問 68) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。

<全体 (n=1105) >

○「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちょうふ」が86.4%で最も高く、次いで「市ホームページ」の54.0%、「市議会だより」の52.5%の順となっています。

○一方、「読んだことがない・見たことがない・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「調布FMラジオ (83.8MHz)」が69.5%で最も高く、次いで「市公式フェイスブック」の64.8%の順となっています。

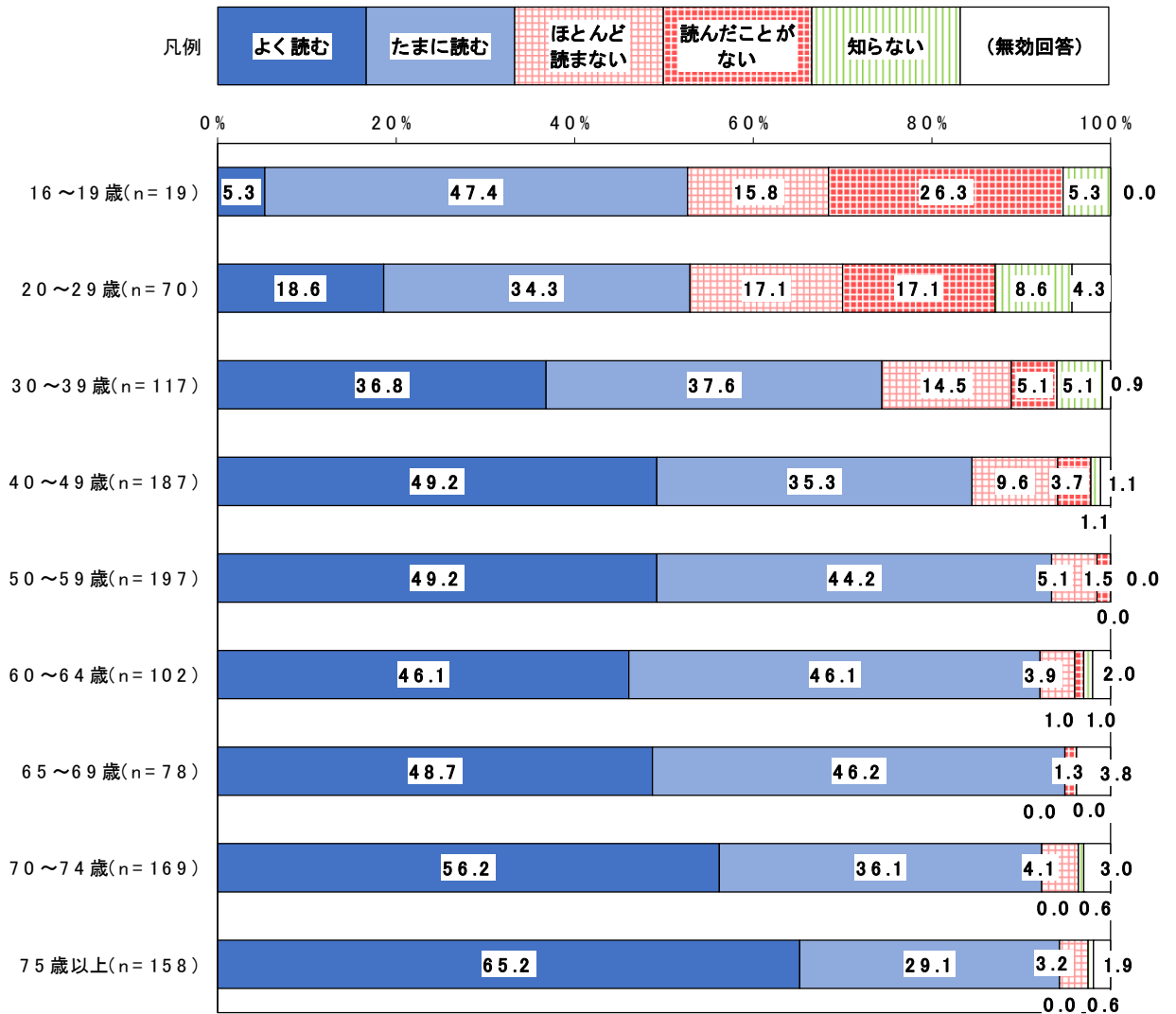


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

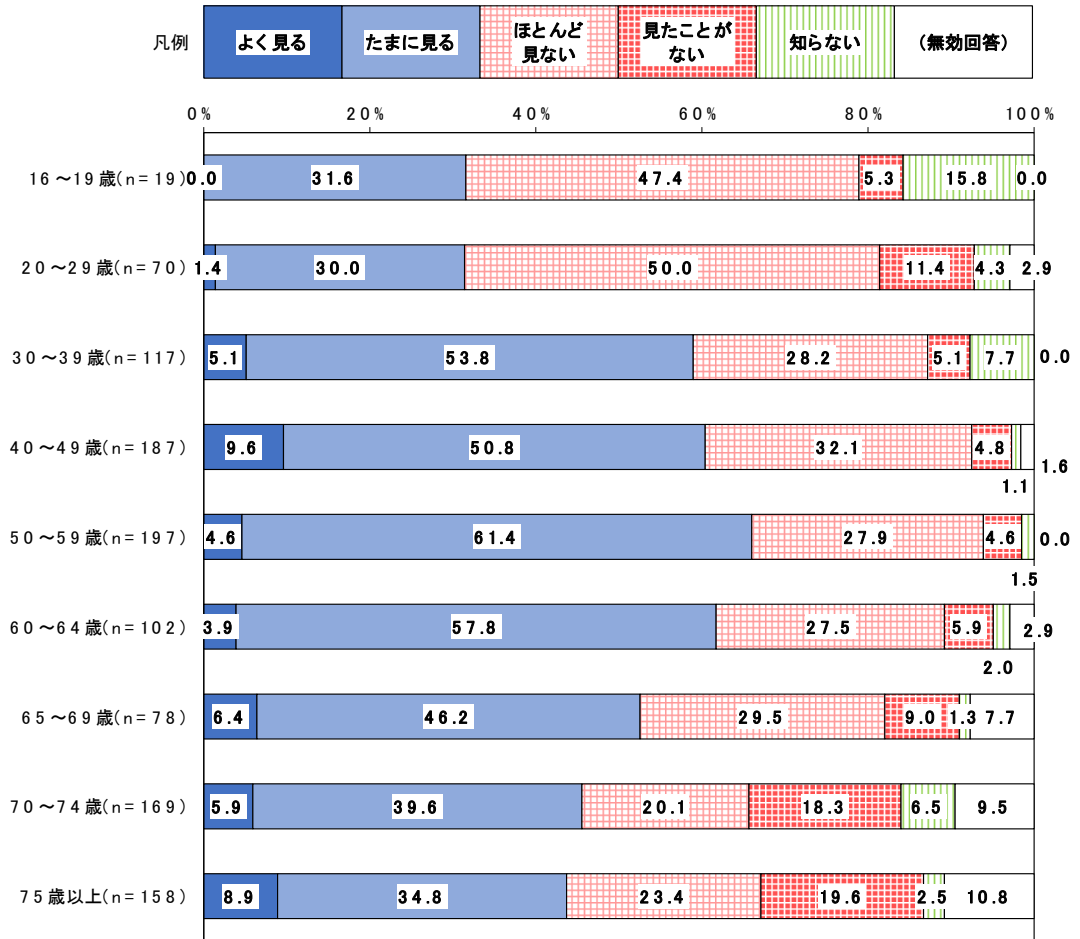
<年齢層別>

- 「ア 市報ちょうふ」,「サ 自治会の回覧」と「シ 市議会だより」については、年齢層が上がるにつれて「よく読む・見る」と「たまに読む・見る」の合計が高くなる傾向となっており、特に「市報ちょうふ」は40歳以上の年齢層で80%を超えています。
- 「ケ メールサービス」では、40～59歳の年齢層の「よく見る」と「たまに見る」合計が、他の年齢層に比べて高くなっています。

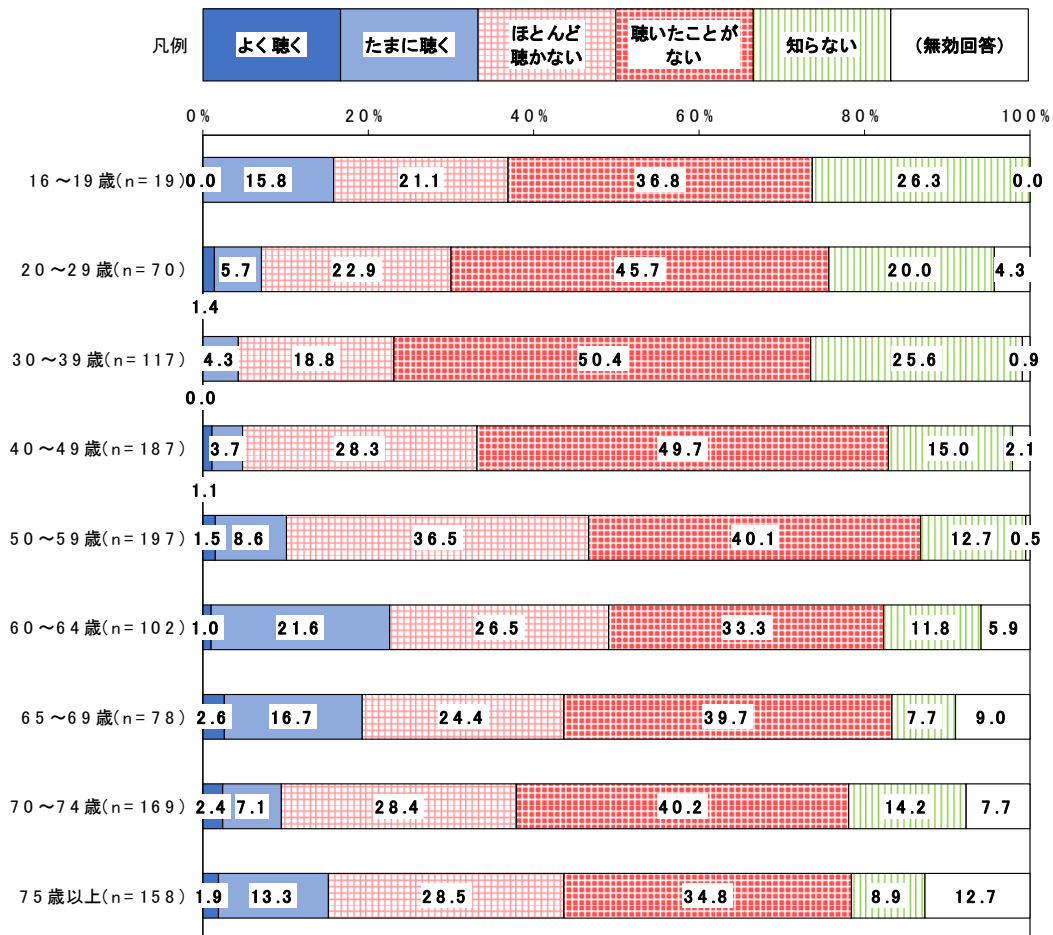
ア 市報ちょうふ



イ 市ホームページ

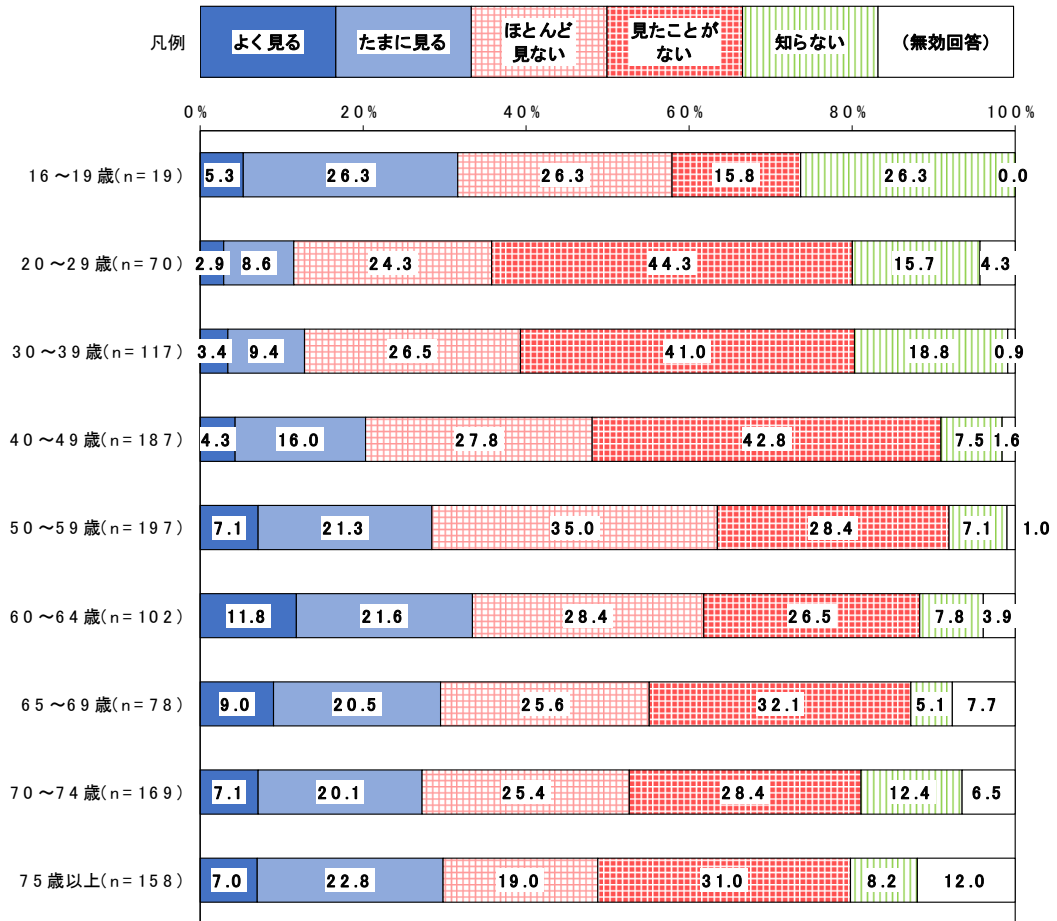


ウ 調布 FM ラジオ (83.8MHz)

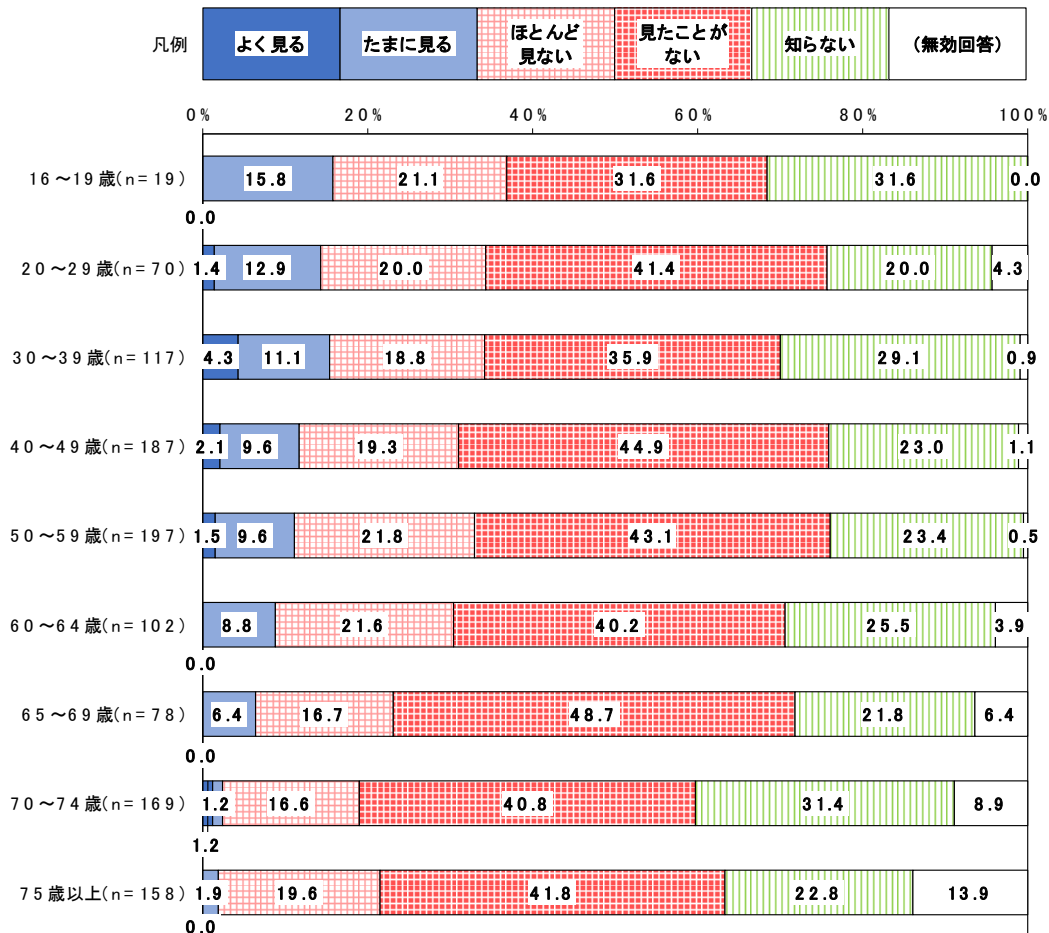


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

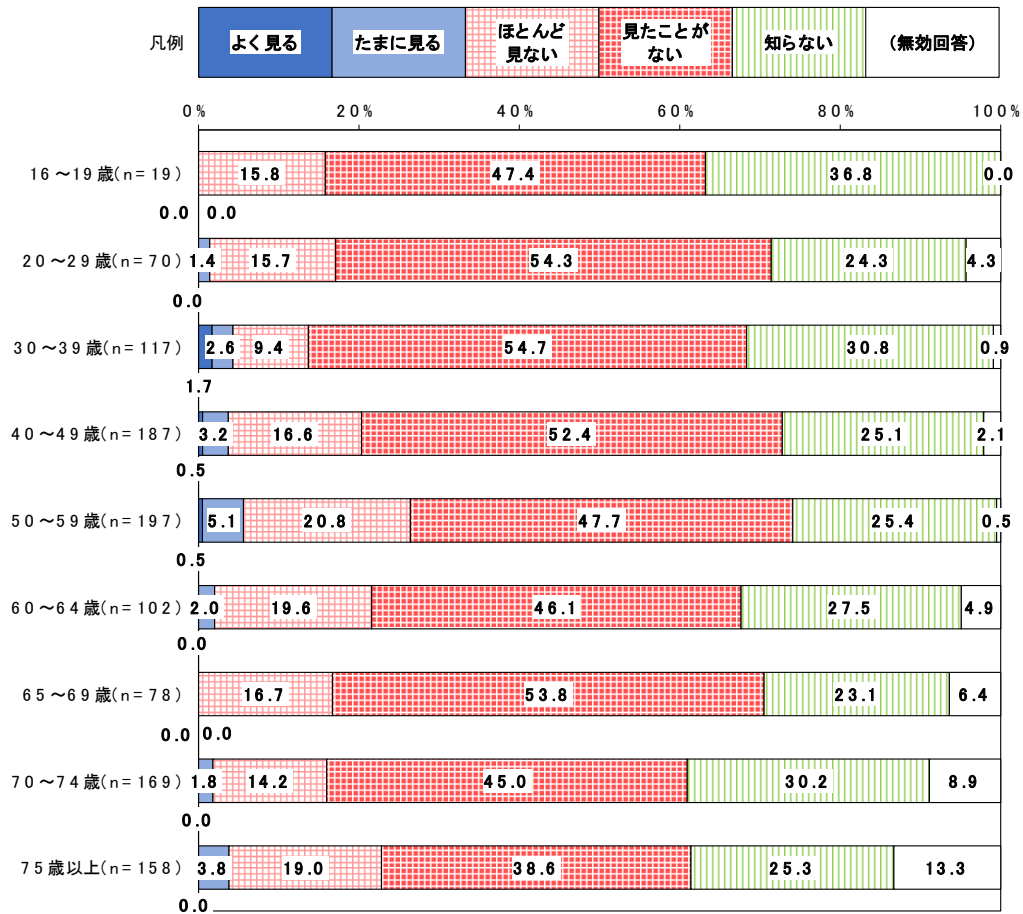
エ ケーブルテレビ (J:COM)



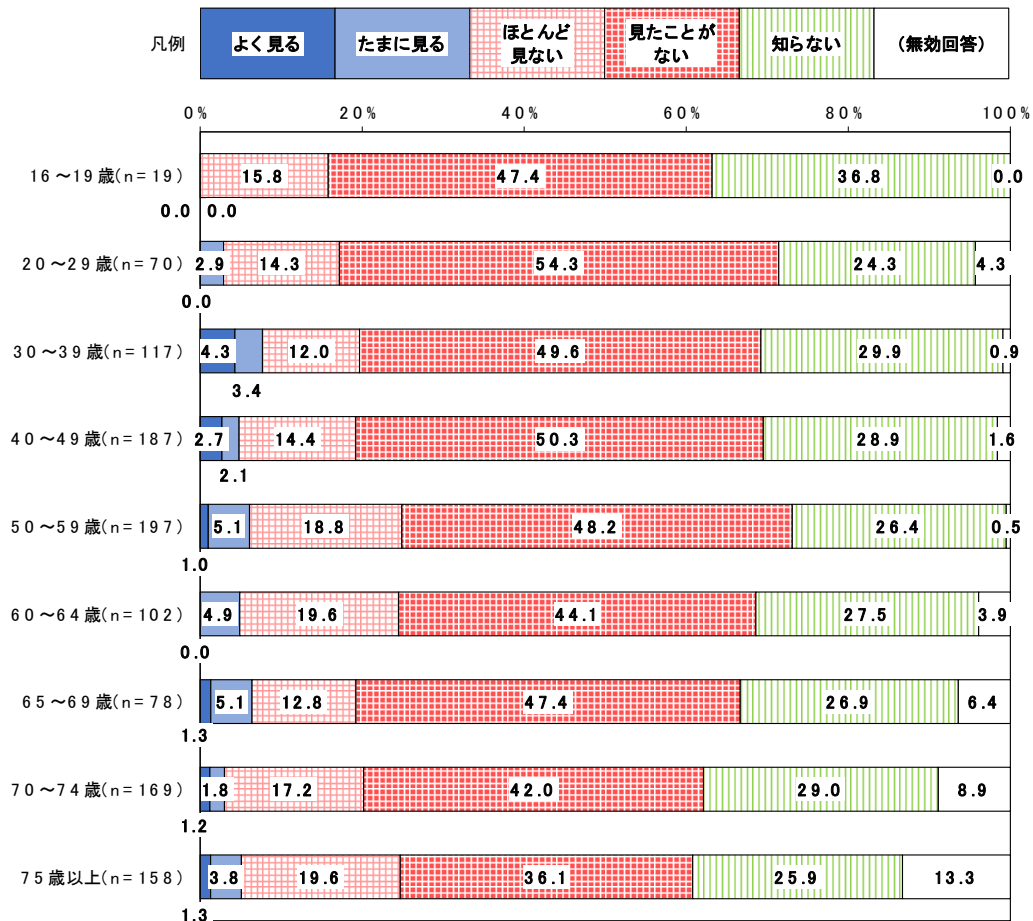
オ 市公式ツイッター



カ 市公式フェイスブック

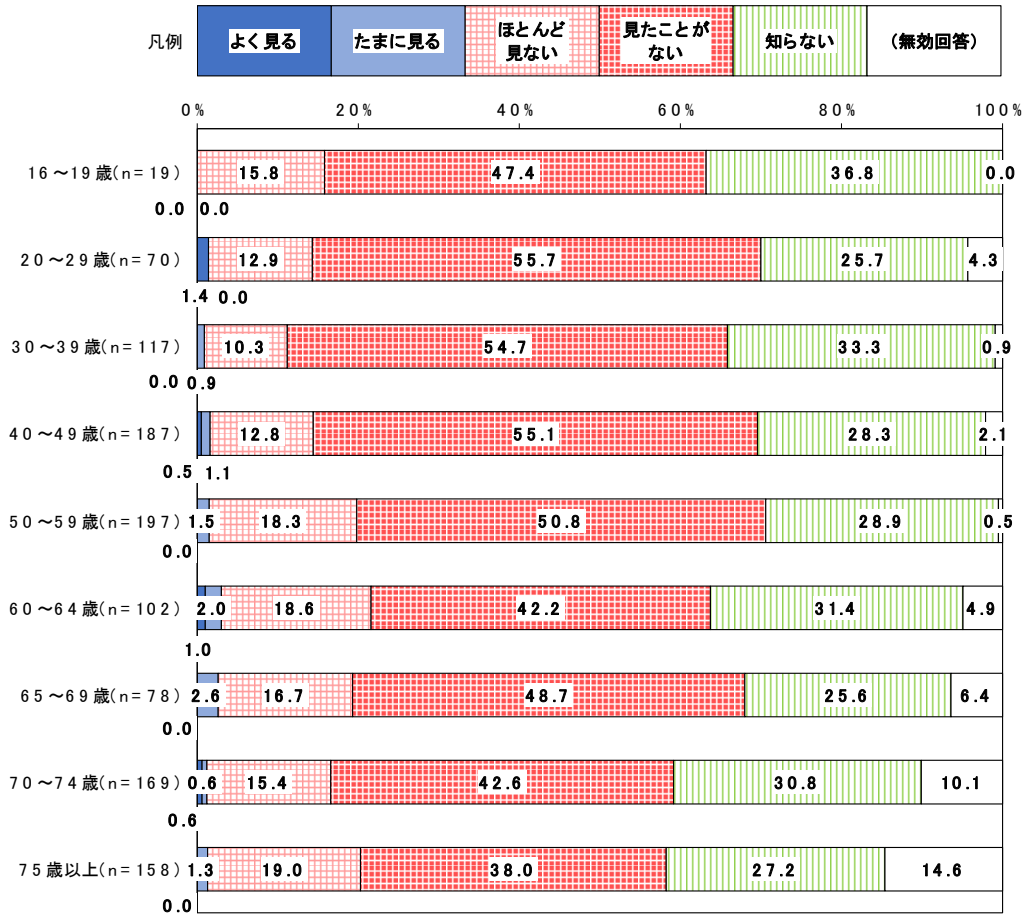


キ 市公式LINEアカウント

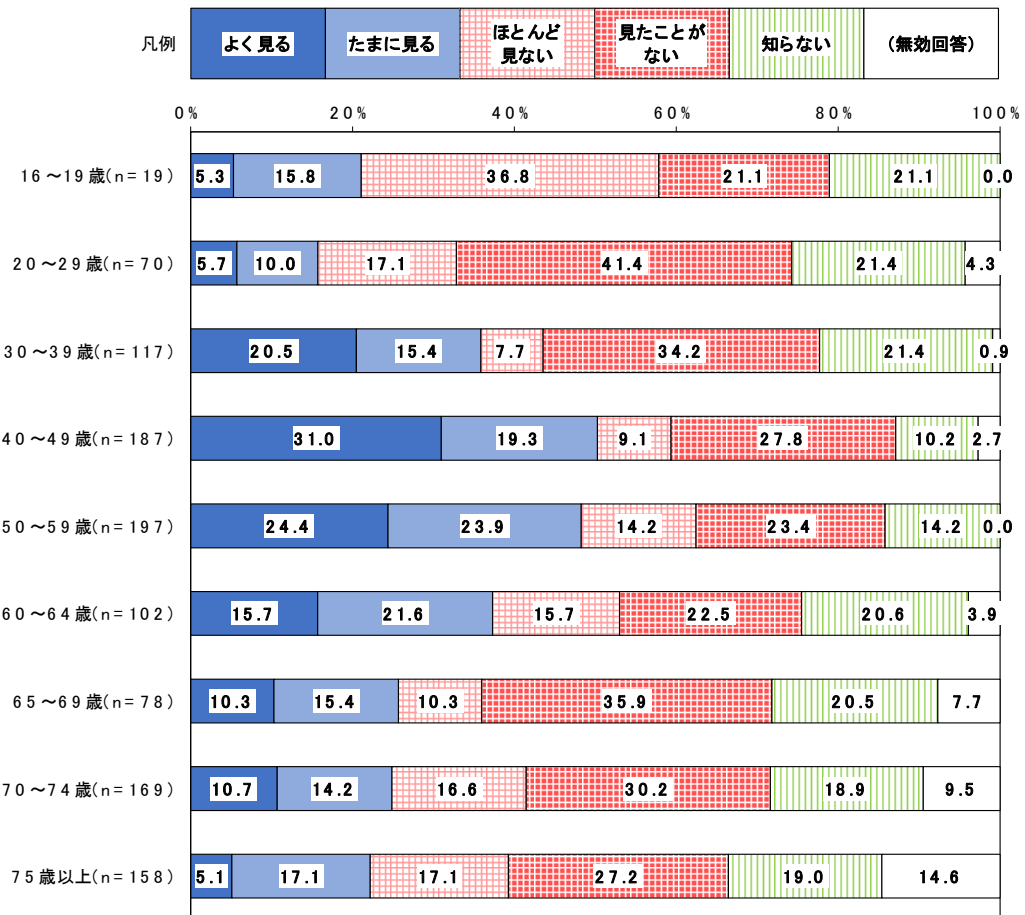


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

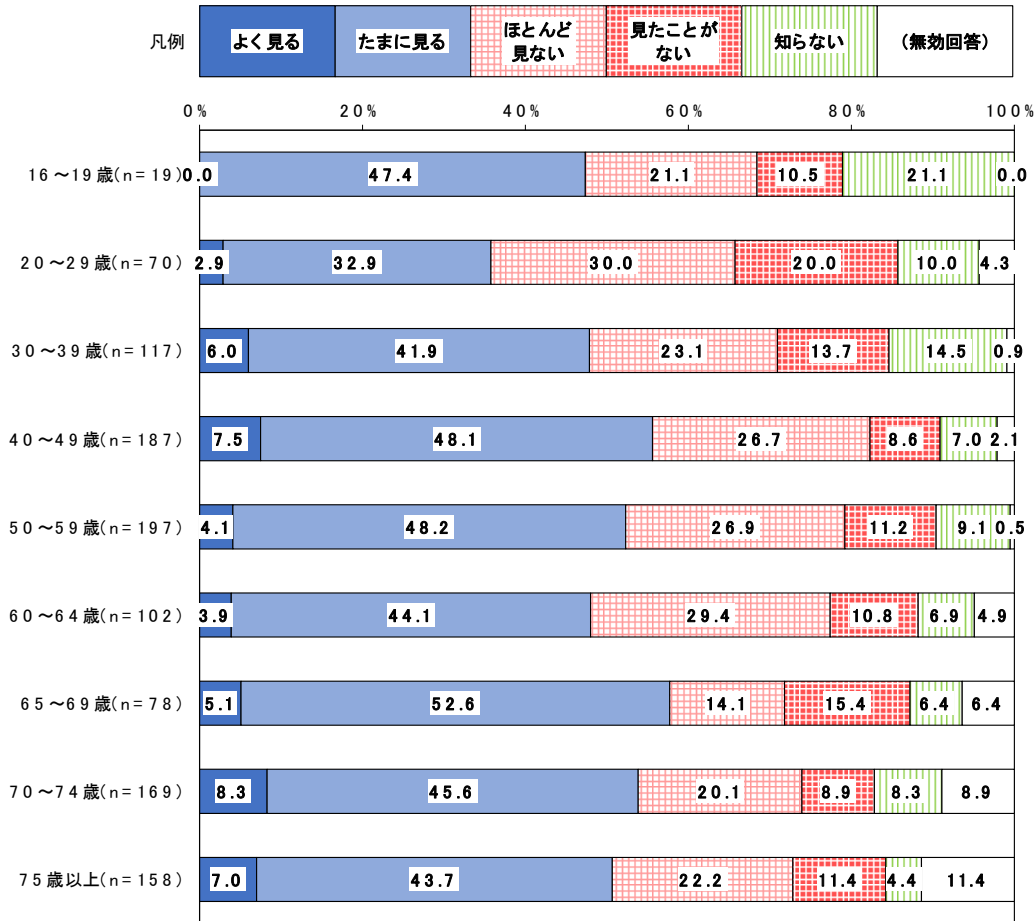
ク 市公式インスタグラム



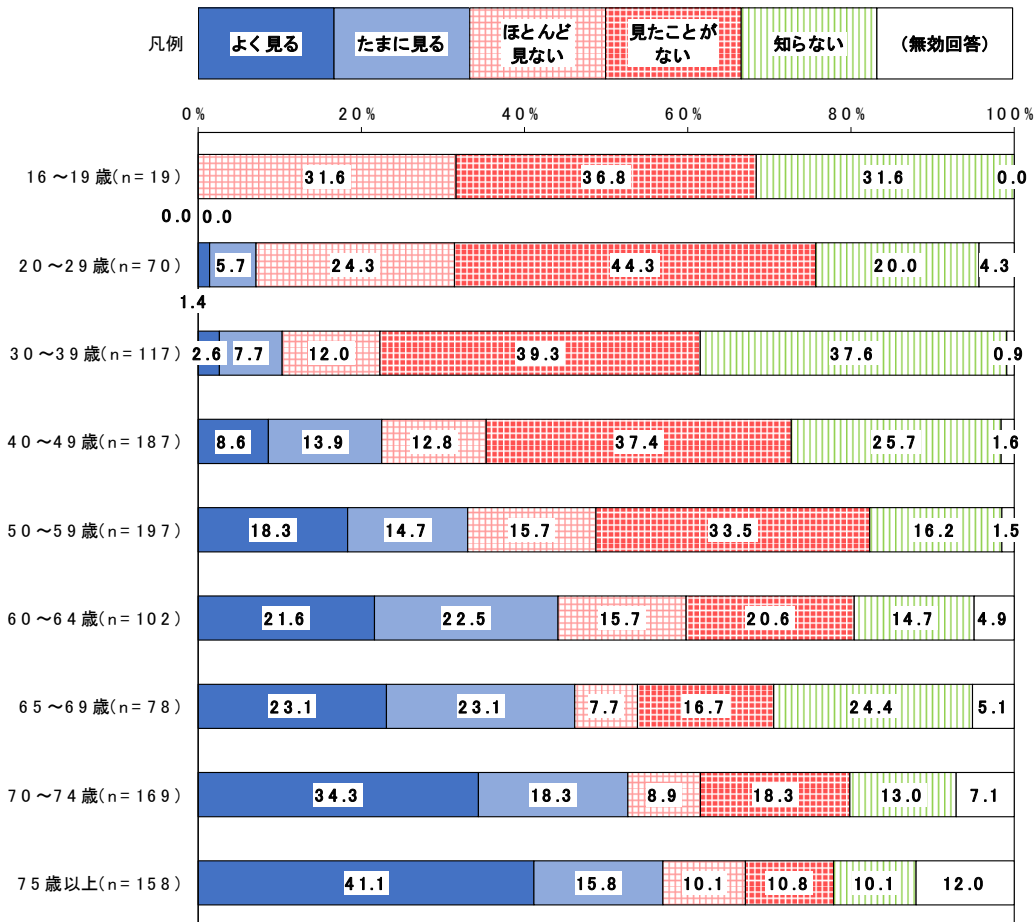
ケ メールサービス



コ 公共施設に掲示したポスター、チラシなど

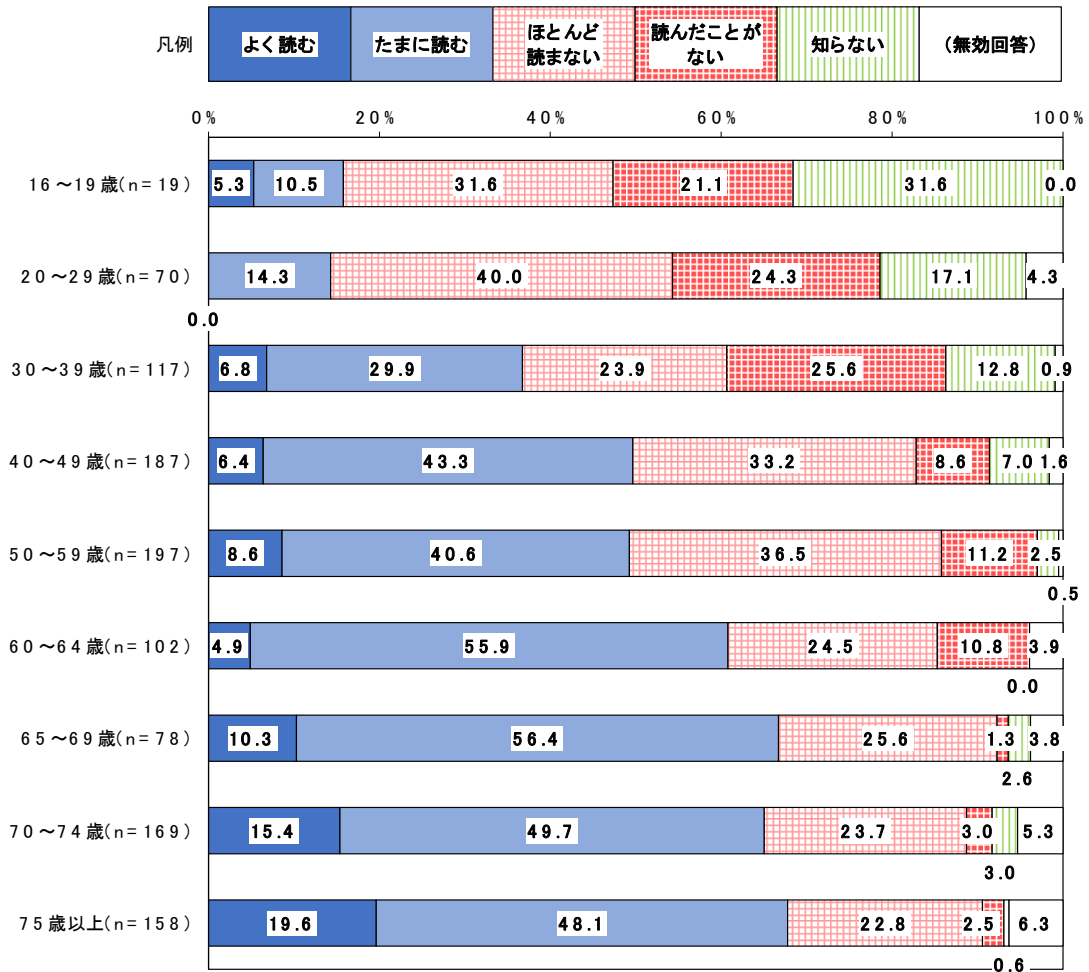


サ 自治会の回覧



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

シ 市議会だより



<自由記述>主な意見を抜粋

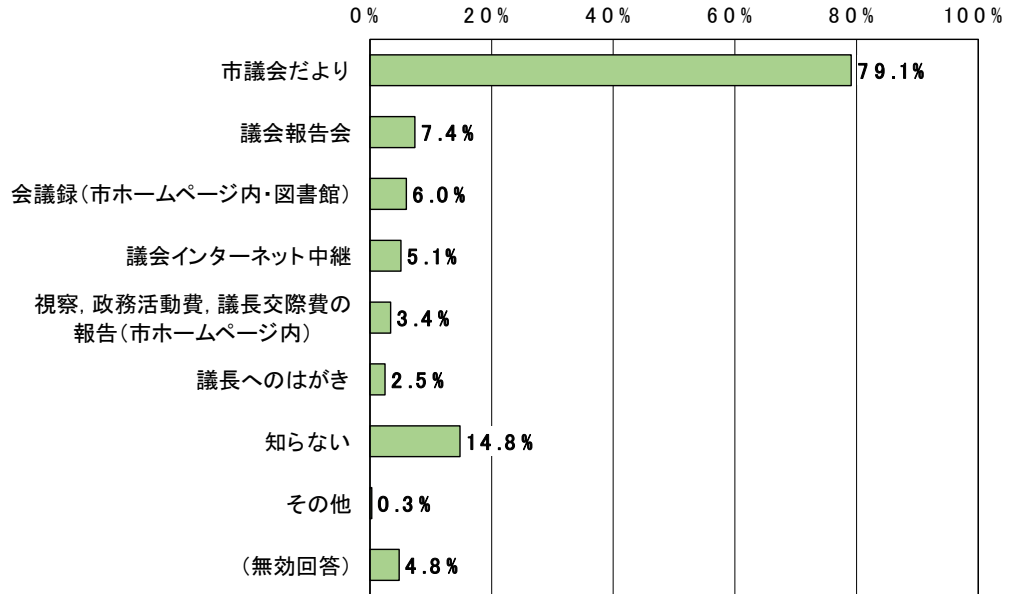
【図表 市政の情報発信についてのご意見・ご提案】(29件)

- ・市公式ツイッター，市公式フェイスブック，市公式LINEアカウント，市公式インスタグラム
→存在をもっとアピールしてほしいです。
- ・市のホームページの利便性を上げて行ってもらえると助かります。
- ・市報ちょうふは紙とweb選択制でも良いのでは，と思った。

問 69) 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

<全体 (n=1105) >

○「市議会だより」が79.1%で最も高く、次いで「議会報告会」の7.4%、「会議録(市ホームページ内・図書館)」の6.0%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「市議会だより」が最も高くなっています。特に、50歳以上では80%以上を占めています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 市議会だより | 874 | 9 | 37 | 77 | 147 | 170 | 83 | 68 | 139 | 138 |
| | 79.1% | 47.4% | 52.9% | 65.8% | 78.6% | 86.3% | 81.4% | 87.2% | 82.2% | 87.3% |
| 議会報告会 | 82 | 1 | 4 | 2 | 6 | 11 | 3 | 7 | 23 | 24 |
| | 7.4% | 5.3% | 5.7% | 1.7% | 3.2% | 5.6% | 2.9% | 9.0% | 13.6% | 15.2% |
| 会議録(市ホームページ内・図書館) | 66 | 2 | 6 | 10 | 11 | 11 | 5 | 3 | 9 | 9 |
| | 6.0% | 10.5% | 8.6% | 8.5% | 5.9% | 5.6% | 4.9% | 3.8% | 5.3% | 5.7% |
| 議会インターネット中継 | 56 | 0 | 4 | 4 | 11 | 14 | 8 | 6 | 5 | 3 |
| | 5.1% | 0.0% | 5.7% | 3.4% | 5.9% | 7.1% | 7.8% | 7.7% | 3.0% | 1.9% |
| 視察, 政務活動費, 議長交際費の報告(市ホームページ内) | 38 | 0 | 1 | 2 | 8 | 11 | 2 | 3 | 6 | 5 |
| | 3.4% | 0.0% | 1.4% | 1.7% | 4.3% | 5.6% | 2.0% | 3.8% | 3.6% | 3.2% |
| 議長へのはがき | 28 | 1 | 2 | 0 | 5 | 5 | 3 | 2 | 6 | 4 |
| | 2.5% | 5.3% | 2.9% | 0.0% | 2.7% | 2.5% | 2.9% | 2.6% | 3.6% | 2.5% |
| 知らない | 163 | 9 | 27 | 38 | 28 | 19 | 14 | 3 | 17 | 7 |
| | 14.8% | 47.4% | 38.6% | 32.5% | 15.0% | 9.6% | 13.7% | 3.8% | 10.1% | 4.4% |
| その他 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.5% | 0.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% |
| (無効回答) | 53 | 1 | 5 | 1 | 7 | 7 | 5 | 7 | 10 | 9 |
| | 4.8% | 5.3% | 7.1% | 0.9% | 3.7% | 3.6% | 4.9% | 9.0% | 5.9% | 5.7% |

(上段:実数(人), 下段:構成比)

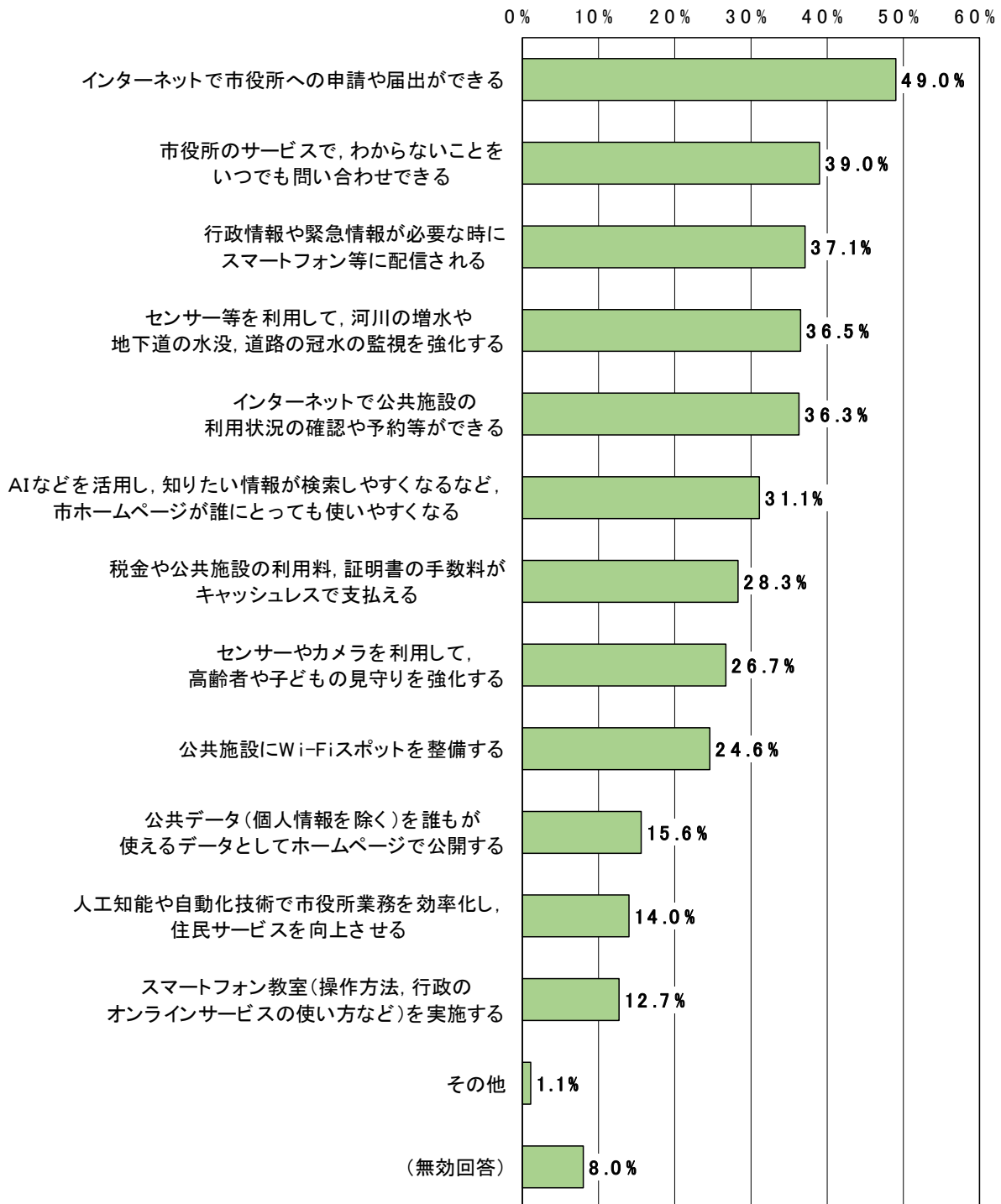
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 70) あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。

<全体 (n=1105) >

○「インターネットで市役所への申請や届出ができる」が49.0%で最も高く、次いで「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」の39.0%、「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」の37.1%の順となっています。



<年齢層別>

○16～64歳で「インターネットで市役所への申請や届出ができる」、65歳以上で「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| インターネットで市役所への申請や届出ができる | 541 | 10 | 42 | 78 | 116 | 126 | 52 | 33 | 45 | 35 |
| | 49.0% | 52.6% | 60.0% | 66.7% | 62.0% | 64.0% | 51.0% | 42.3% | 26.6% | 22.2% |
| 市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる | 431 | 7 | 17 | 38 | 60 | 88 | 45 | 35 | 71 | 69 |
| | 39.0% | 36.8% | 24.3% | 32.5% | 32.1% | 44.7% | 44.1% | 44.9% | 42.0% | 43.7% |
| 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される | 410 | 7 | 21 | 42 | 72 | 99 | 41 | 22 | 56 | 48 |
| | 37.1% | 36.8% | 30.0% | 35.9% | 38.5% | 50.3% | 40.2% | 28.2% | 33.1% | 30.4% |
| センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する | 403 | 7 | 20 | 39 | 73 | 94 | 38 | 27 | 51 | 52 |
| | 36.5% | 36.8% | 28.6% | 33.3% | 39.0% | 47.7% | 37.3% | 34.6% | 30.2% | 32.9% |
| インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約ができる | 401 | 8 | 35 | 59 | 82 | 94 | 36 | 24 | 31 | 28 |
| | 36.3% | 42.1% | 50.0% | 50.4% | 43.9% | 47.7% | 35.3% | 30.8% | 18.3% | 17.7% |
| AIなどを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが誰に | 344 | 9 | 20 | 34 | 66 | 69 | 36 | 27 | 49 | 33 |
| | 31.1% | 47.4% | 28.6% | 29.1% | 35.3% | 35.0% | 35.3% | 34.6% | 29.0% | 20.9% |
| 税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える | 313 | 5 | 30 | 56 | 74 | 71 | 21 | 17 | 19 | 20 |
| | 28.3% | 26.3% | 42.9% | 47.9% | 39.6% | 36.0% | 20.6% | 21.8% | 11.2% | 12.7% |
| センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する | 295 | 3 | 10 | 36 | 52 | 64 | 32 | 19 | 43 | 35 |
| | 26.7% | 15.8% | 14.3% | 30.8% | 27.8% | 32.5% | 31.4% | 24.4% | 25.4% | 22.2% |
| 公共施設にWi-Fiスポットを整備する | 272 | 8 | 26 | 22 | 59 | 63 | 26 | 18 | 28 | 18 |
| | 24.6% | 42.1% | 37.1% | 18.8% | 31.6% | 32.0% | 25.5% | 23.1% | 16.6% | 11.4% |
| 公共データ（個人情報を除く）を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する | 172 | 6 | 13 | 20 | 23 | 36 | 17 | 11 | 24 | 21 |
| | 15.6% | 31.6% | 18.6% | 17.1% | 12.3% | 18.3% | 16.7% | 14.1% | 14.2% | 13.3% |
| 人工知能や自動化技術で市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる | 155 | 2 | 10 | 17 | 24 | 36 | 14 | 8 | 21 | 22 |
| | 14.0% | 10.5% | 14.3% | 14.5% | 12.8% | 18.3% | 13.7% | 10.3% | 12.4% | 13.9% |
| スマートフォン教室（操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など）を実施する | 140 | 0 | 7 | 4 | 17 | 18 | 9 | 9 | 36 | 39 |
| | 12.7% | 0.0% | 10.0% | 3.4% | 9.1% | 9.1% | 8.8% | 11.5% | 21.3% | 24.7% |
| その他 | 12 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 4 |
| | 1.1% | 0.0% | 0.0% | 0.9% | 0.0% | 0.5% | 2.0% | 1.3% | 1.2% | 2.5% |
| （無効回答） | 88 | 1 | 3 | 3 | 5 | 2 | 4 | 5 | 24 | 39 |
| | 8.0% | 5.3% | 4.3% | 2.6% | 2.7% | 1.0% | 3.9% | 6.4% | 14.2% | 24.7% |

（上段：実数（人）、下段：構成比）

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



<自由記述> 主な意見を抜粋

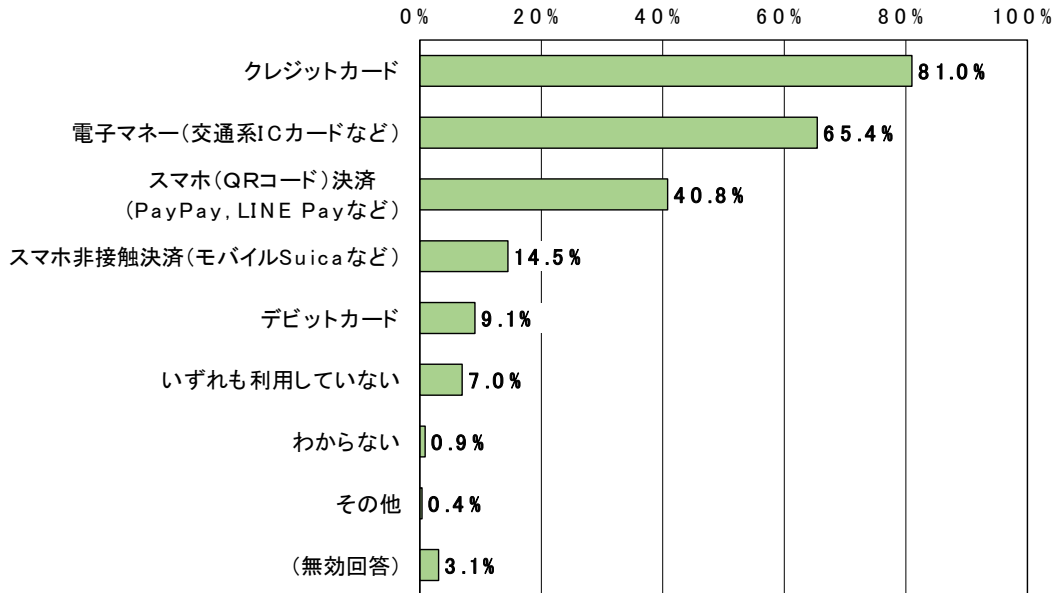
【図表 行政のデジタル化の推進に関する施策についてのご意見・ご提案】（67件）

- ・ デジタル化についていけないお年寄りへのレクチャーを増やしたほうがいい。
- ・ 行政情報・緊急情報をスマホで入手しやすくしてほしい。
- ・ デジタル化は必要と思うが、それだけのアクセス方法になるのは止めてほしい。
- ・ 市役所等に行かなくても申請などの手続きができるようになれば、とても便利だと思います。

問71) あなたが使っているキャッシュレス決済について、あてはまるものはどれですか。

<全体 (n=1105) >

○「クレジットカード」が81.0%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系ICカードなど）」の65.4%、「スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Pay など）」の40.8%の順となっています。



<年齢層別>

○16~19歳で「電子マネー（交通系ICカードなど）」, 20歳以上で「クレジットカード」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| クレジットカード | 895 | 2 | 59 | 102 | 164 | 182 | 89 | 61 | 122 | 108 |
| | 81.0% | 10.5% | 84.3% | 87.2% | 87.7% | 92.4% | 87.3% | 78.2% | 72.2% | 68.4% |
| 電子マネー（交通系ICカードなど） | 723 | 13 | 58 | 86 | 150 | 165 | 72 | 49 | 79 | 46 |
| | 65.4% | 68.4% | 82.9% | 73.5% | 80.2% | 83.8% | 70.6% | 62.8% | 46.7% | 29.1% |
| スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Payなど） | 451 | 7 | 49 | 77 | 109 | 104 | 33 | 29 | 25 | 15 |
| | 40.8% | 36.8% | 70.0% | 65.8% | 58.3% | 52.8% | 32.4% | 37.2% | 14.8% | 9.5% |
| スマホ非接触決済（モバイルSuicaなど） | 160 | 0 | 16 | 36 | 36 | 38 | 11 | 9 | 11 | 3 |
| | 14.5% | 0.0% | 22.9% | 30.8% | 19.3% | 19.3% | 10.8% | 11.5% | 6.5% | 1.9% |
| デビットカード | 101 | 2 | 13 | 12 | 15 | 26 | 5 | 13 | 13 | 2 |
| | 9.1% | 10.5% | 18.6% | 10.3% | 8.0% | 13.2% | 4.9% | 16.7% | 7.7% | 1.3% |
| いずれも利用していない | 77 | 3 | 1 | 6 | 3 | 3 | 4 | 5 | 25 | 27 |
| | 7.0% | 15.8% | 1.4% | 5.1% | 1.6% | 1.5% | 3.9% | 6.4% | 14.8% | 17.1% |
| わからない | 10 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| | 0.9% | 0.0% | 0.0% | 0.9% | 0.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.8% | 2.5% |
| その他 | 4 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 0.4% | 5.3% | 0.0% | 0.0% | 1.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% |
| (無効回答) | 34 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 2 | 5 | 7 | 14 |
| | 3.1% | 0.0% | 2.9% | 0.0% | 1.6% | 0.0% | 2.0% | 6.4% | 4.1% | 8.9% |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



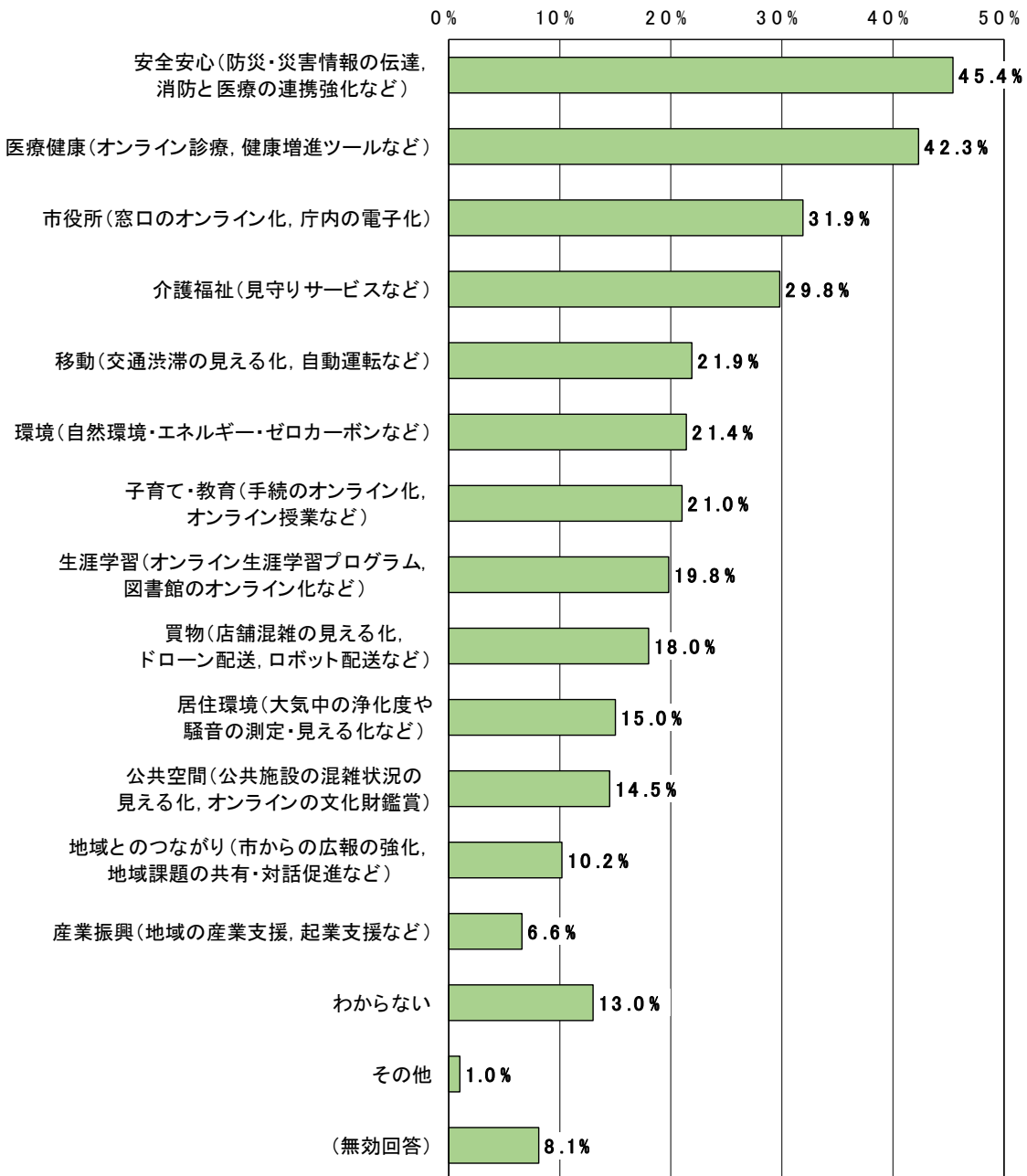
回答割合が2番目に高い：



問 72) 調布市がスマートシティを目指すに当たって、ICTを活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野を教えてください。

<全体 (n=1105) >

○「安全安心(防災・災害情報の伝達, 消防と医療の連携強化など)」が45.4%で最も高く、次いで「医療健康(オンライン診療, 健康増進ツールなど)」の42.3%, 「市役所(窓口のオンライン化, 庁内の電子化)」の31.9%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○20～29歳と40歳以上では、おおむね「安全安心（防災・災害情報の伝達、消防と医療の連携強化など）」や「医療健康（オンライン診療、健康増進ツールなど）」、「市役所（窓口のオンライン化、庁内の電子化）」が高くなっていますが、16～19歳では「移動（交通渋滞の見える化、自動運転など）」、30～39歳では「子育て・教育（手続のオンライン化、オンライン授業など）」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 安全安心（防災・災害情報の伝達、消防と医療の連携強化など） | 502 | 7 | 28 | 45 | 87 | 114 | 52 | 39 | 64 | 62 |
| | 45.4% | 36.8% | 40.0% | 38.5% | 46.5% | 57.9% | 51.0% | 50.0% | 37.9% | 39.2% |
| 医療健康（オンライン診療、健康増進ツールなど） | 467 | 7 | 28 | 50 | 83 | 107 | 53 | 33 | 53 | 51 |
| | 42.3% | 36.8% | 40.0% | 42.7% | 44.4% | 54.3% | 52.0% | 42.3% | 31.4% | 32.3% |
| 市役所（窓口のオンライン化、庁内の電子化） | 352 | 6 | 29 | 46 | 73 | 84 | 36 | 21 | 31 | 24 |
| | 31.9% | 31.6% | 41.4% | 39.3% | 39.0% | 42.6% | 35.3% | 26.9% | 18.3% | 15.2% |
| 介護福祉（見守りサービスなど） | 329 | 2 | 13 | 24 | 41 | 71 | 39 | 31 | 55 | 50 |
| | 29.8% | 10.5% | 18.6% | 20.5% | 21.9% | 36.0% | 38.2% | 39.7% | 32.5% | 31.6% |
| 移動（交通渋滞の見える化、自動運転など） | 242 | 9 | 24 | 28 | 49 | 67 | 24 | 8 | 19 | 13 |
| | 21.9% | 47.4% | 34.3% | 23.9% | 26.2% | 34.0% | 23.5% | 10.3% | 11.2% | 8.2% |
| 環境（自然環境・エネルギー・ゼロカーボンなど） | 237 | 5 | 15 | 28 | 47 | 48 | 24 | 14 | 22 | 32 |
| | 21.4% | 26.3% | 21.4% | 23.9% | 25.1% | 24.4% | 23.5% | 17.9% | 13.0% | 20.3% |
| 子育て・教育（手続のオンライン化、オンライン授業など） | 232 | 8 | 23 | 56 | 68 | 35 | 8 | 8 | 12 | 11 |
| | 21.0% | 42.1% | 32.9% | 47.9% | 36.4% | 17.8% | 7.8% | 10.3% | 7.1% | 7.0% |
| 生涯学習（オンライン生涯学習プログラム、図書館のオンライン化など） | 219 | 8 | 15 | 24 | 41 | 40 | 23 | 9 | 31 | 27 |
| | 19.8% | 42.1% | 21.4% | 20.5% | 21.9% | 20.3% | 22.5% | 11.5% | 18.3% | 17.1% |
| 買物（店舗混雑の見える化、ドローン配送、ロボット配送など） | 199 | 7 | 17 | 32 | 47 | 51 | 15 | 7 | 13 | 9 |
| | 18.0% | 36.8% | 24.3% | 27.4% | 25.1% | 25.9% | 14.7% | 9.0% | 7.7% | 5.7% |
| 居住環境（大気中の浄化度や騒音の測定・見える化など） | 166 | 5 | 7 | 17 | 41 | 40 | 15 | 9 | 17 | 15 |
| | 15.0% | 26.3% | 10.0% | 14.5% | 21.9% | 20.3% | 14.7% | 11.5% | 10.1% | 9.5% |
| 公共空間（公共施設の混雑状況の見える化、オンラインの文化財鑑賞） | 160 | 7 | 15 | 19 | 37 | 40 | 13 | 6 | 14 | 9 |
| | 14.5% | 36.8% | 21.4% | 16.2% | 19.8% | 20.3% | 12.7% | 7.7% | 8.3% | 5.7% |
| 地域とのつながり（市からの広報の強化、地域課題の共有・対話促進など） | 113 | 2 | 4 | 5 | 16 | 26 | 14 | 5 | 17 | 23 |
| | 10.2% | 10.5% | 5.7% | 4.3% | 8.6% | 13.2% | 13.7% | 6.4% | 10.1% | 14.6% |
| 産業振興（地域の産業支援、起業支援など） | 73 | 3 | 3 | 8 | 18 | 17 | 6 | 3 | 3 | 12 |
| | 6.6% | 15.8% | 4.3% | 6.8% | 9.6% | 8.6% | 5.9% | 3.8% | 1.8% | 7.6% |
| わからない | 144 | 2 | 6 | 15 | 10 | 14 | 13 | 10 | 34 | 39 |
| | 13.0% | 10.5% | 8.6% | 12.8% | 5.3% | 7.1% | 12.7% | 12.8% | 20.1% | 24.7% |
| その他 | 11 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | 1.0% | 0.0% | 0.0% | 2.6% | 0.5% | 0.5% | 1.0% | 1.3% | 0.6% | 1.9% |
| （無効回答） | 90 | 1 | 2 | 3 | 10 | 6 | 5 | 6 | 25 | 30 |
| | 8.1% | 5.3% | 2.9% | 2.6% | 5.3% | 3.0% | 4.9% | 7.7% | 14.8% | 19.0% |

（上段：実数（人）、下段：構成比）

回答割合が最も高い： 47.4%

回答割合が2番目に高い： 42.1%

<自由記述> 主な意見を抜粋

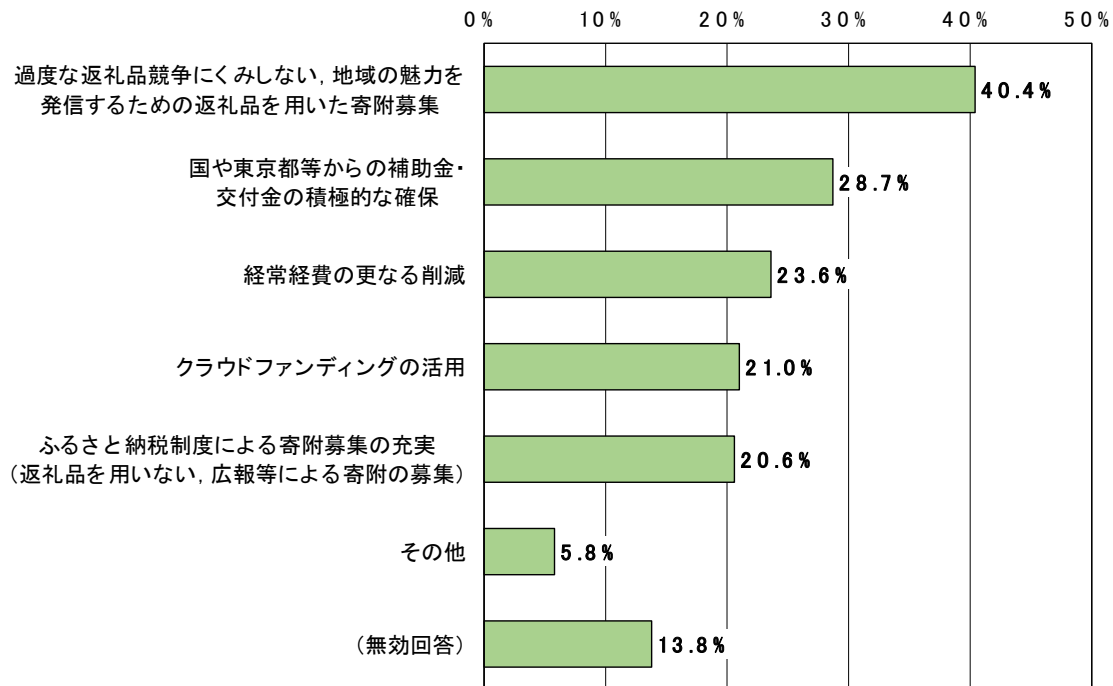
【図表 市がスマートシティを目指すに当たり、ICTを活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野について、そのように思う理由】（45件）

- ・スマートシティは、弱者（幼児、子ども、妊産婦、障害者、マイノリティなど）を守ること。その利便に貢献することを軸に設計してほしい。
- ・新しい技術を使って良くなる可能性があるならどんどん使うべき。
- ・電通大が市内にある強みを活かして欲しい、実験的な取り組みをしてほしい。

問 73) ふるさと納税に伴う個人市民税の税額控除による、市税の減収影響が大きな問題となっています。財源確保のため、今後市が取り組むべきだと思うものはどれですか。

<全体 (n=1105) >

○「過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集」が 40.4%で最も高く、次いで「国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保」の 28.7%、「経常経費の更なる削減」の 23.6%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層もおおむね「過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集」もしくは「国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|--|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 1,105 | 19 | 70 | 117 | 187 | 197 | 102 | 78 | 169 | 158 |
| 過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集 | 446 | 5 | 27 | 54 | 89 | 89 | 41 | 36 | 56 | 46 |
| 国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保 | 317 | 6 | 28 | 38 | 46 | 46 | 32 | 23 | 53 | 42 |
| 経常経費の更なる削減 | 261 | 2 | 11 | 25 | 41 | 54 | 22 | 21 | 39 | 45 |
| クラウドファンディングの活用 | 232 | 5 | 21 | 32 | 37 | 49 | 21 | 10 | 31 | 23 |
| ふるさと納税制度による寄附募集の充実 (返礼品を用いない, 広報等による寄附の募集) | 228 | 7 | 23 | 29 | 40 | 39 | 15 | 15 | 35 | 25 |
| その他 | 64 | 0 | 1 | 8 | 13 | 16 | 6 | 4 | 10 | 6 |
| (無効回答) | 153 | 2 | 3 | 4 | 16 | 14 | 8 | 12 | 37 | 54 |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

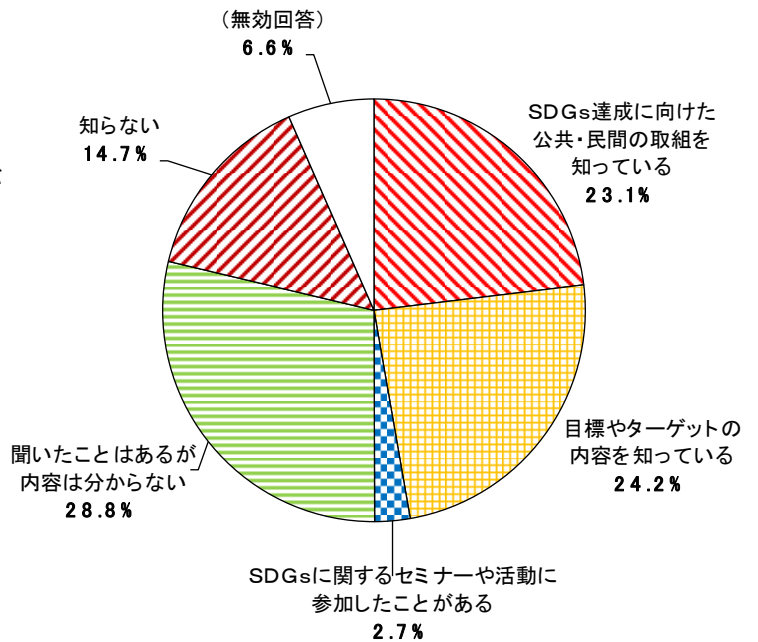
回答割合が2番目に高い：

【SDGsについて】

問 74) あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標SDGsを知っていますか。

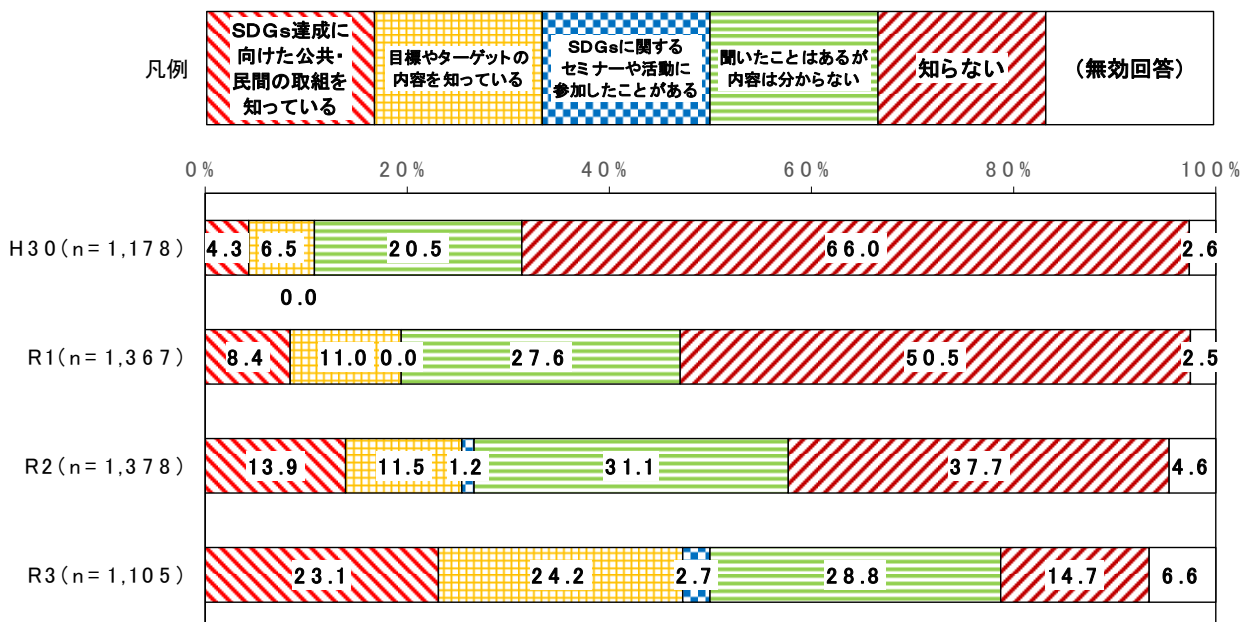
<全体 (n=1105) >

○「SDGs達成に向けた公共・民間の取組を知っている」が23.1%、「目標やターゲットの内容を知っている」が24.2%、「SDGsに関するセミナーや活動に参加したことがある」が2.7%で合計50.0%、また、「知らない」は14.7%となっています。



<経年比較>

○「SDGs達成に向けた公共・民間の取組を知っている」と「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGsに関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、令和3年度(50.0%)は令和2年度(26.6%)に比べ23.4ポイント増加しています。

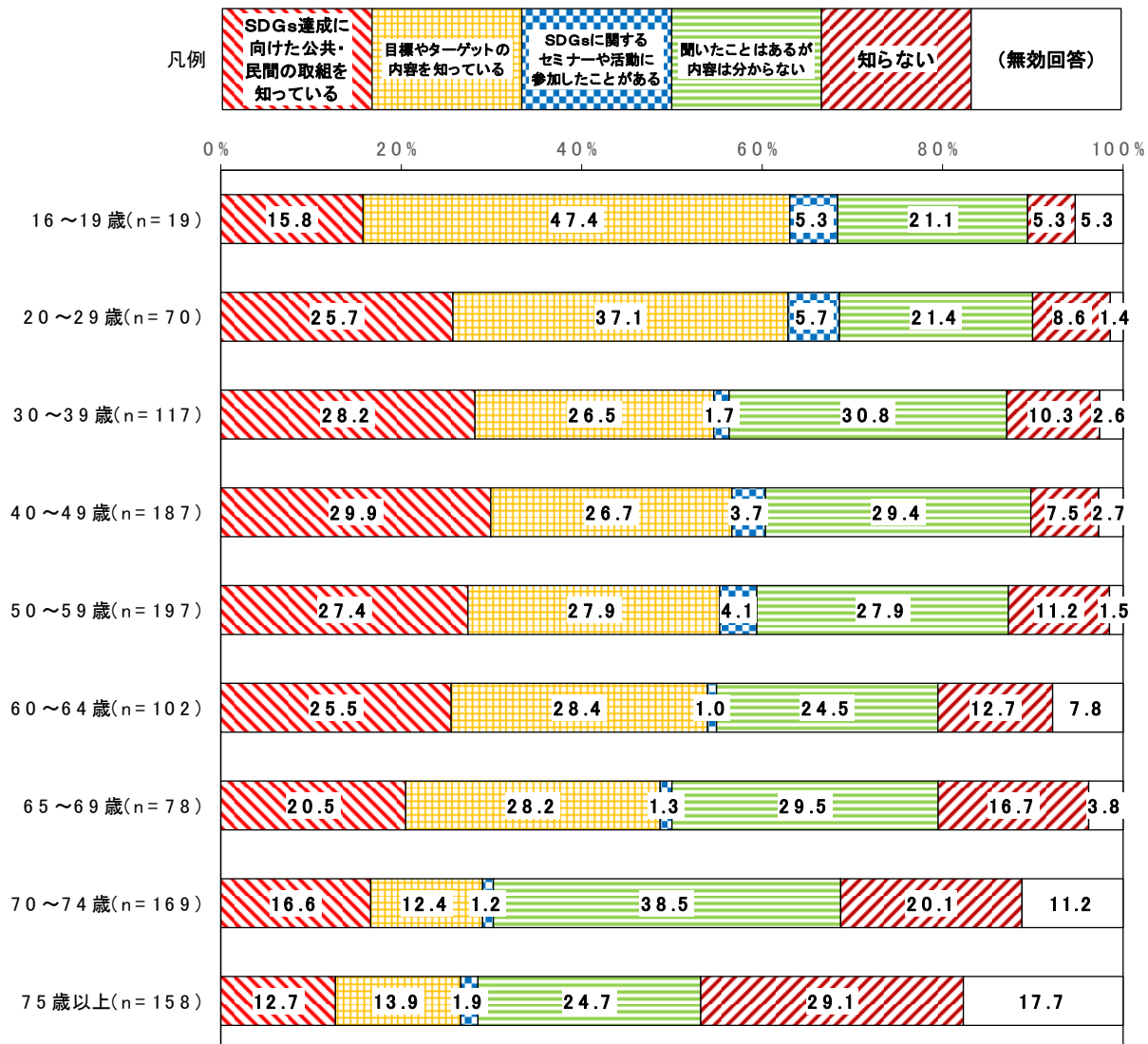


※平成30年度は「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(調査期間: H30.12.28~H31.1.18)」による把握値

※「SDGsに関するセミナーや活動に参加したことがある」は令和2年度から設定した選択肢です。

<年齢層別>

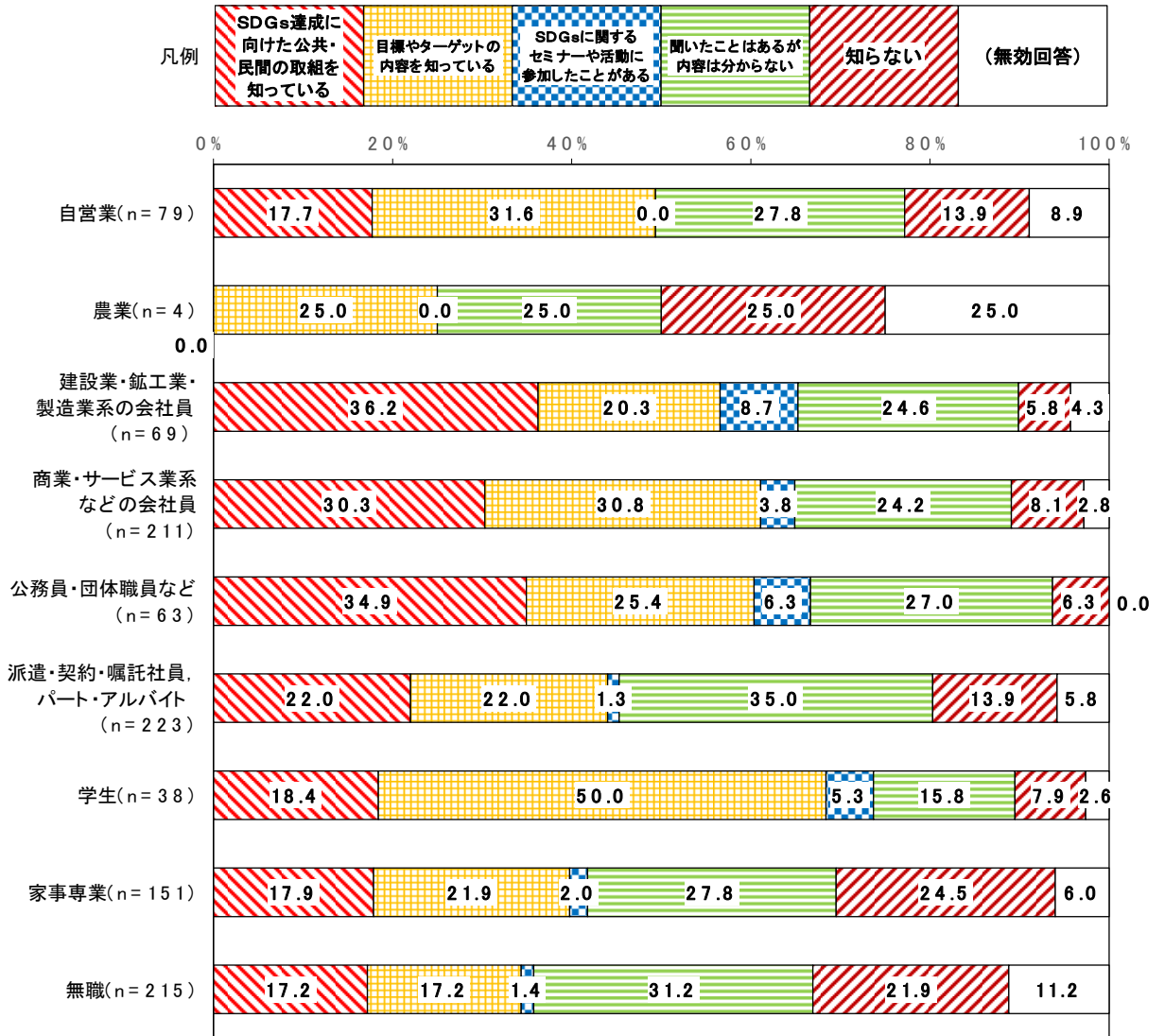
○「SDGs達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGsに関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、16～19歳、20～29歳が68.5%で最も高く、次いで40～49歳の60.3%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<職業別>

○「SDGs達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGsに関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、学生が73.7%で最も高く、次いで公務員・団体職員などの66.6%、建設業・鉱工業・製造業系の会社員の65.2%の順となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 SDGsに関するご意見・ご提案】(41件)

- ・具体的に身近にできること、とりくみやすいものがあれば様々な方法で市民に伝えるべき。
- ・市に合った項目にフォーカスして、メリハリをつけて推進するべき。他の自治体やトレンドに不用意に惑わされないようにしてほしい。